

令和7年度

# 教 育 要 項

(別冊)

## 総合教育選択科目



自治医科大学 医学部

学籍番号 (所属)

---

氏 名

---

# 教育要項別冊 総合教育選択科目 目次

1. 科目番号表 .....	1
2. 教育目標 .....	3
3. 履修要領 .....	3
4. 到達目標とコンピテンシー .....	4
5. 令和7年度開講日 .....	5
6. 令和7年度選択科目時間割 .....	7
7. 人文社会系科目 .....	9
8. 自然系科目 .....	55
9. 外国語系科目 .....	81

# 1. 総合教育選択科目番号表

科目番号	L1	総合教育選択科目	主任教授	菊地 元史
------	----	----------	------	-------

## L11 人文社会系

授 業 科 目	科目番号／科目名	責任者	ページ
L111 哲学	L1111-6 西洋音楽史Ⅰ	吹 田 映 子	10
	L1111-7 西洋音楽史Ⅱ	吹 田 映 子	11
	L1111-8 西洋音楽史Ⅲ	吹 田 映 子	12
	L1111-9 西洋音楽史Ⅳ	吹 田 映 子	13
	L1113-1 医学・医療と芸術	吹 田 映 子	14
	L1113-6 西洋美術史	吹 田 映 子	15
	L1113-7 アートセラピー入門	吹 田 映 子	16
	L1114-4 仏教思想史Ⅰ	小 野 純 一	17
	L1114-5 仏教思想史Ⅱ	小 野 純 一	18
	L1115-1 キリスト教思想史Ⅰ	小 野 純 一	19
	L1119-1 はじめての哲学	小 野 純 一	20
	L1119-2 哲学の入門	小 野 純 一	21
	L1119-5 言語文化論Ⅰ	小 野 純 一	22
	L1119-6 言語文化論Ⅱ	小 野 純 一	23
	L1119-7 言語文化論Ⅲ	小 野 純 一	24
	L1119-8 言語文化論Ⅳ	小 野 純 一	25
	L1119-9 地域文化論Ⅰ	小 野 純 一	26
	L1119-10 地域文化論Ⅱ	小 野 純 一	27
	L1119-11 地域文化論Ⅲ	小 野 純 一	28
	L1119-12 地域文化論Ⅳ	小 野 純 一	29
L112 心理学	L1122-3 対人交流の臨床心理学	佐々木 裕子	30
	L1122-5 事例から学ぶ心理臨床	佐々木 裕子	31
	L1123-3 自己理解の心理アセスメント	佐々木 裕子	32
	L1124-1 カウンセリング実習	佐々木 裕子	33
	L1124-2 カウンセリング概論	佐々木 裕子	34
L114 医学古典語	L1140-1 医学古典語Ⅰ	小 野 純 一	35
	L1140-2 医学古典語Ⅱ	小 野 純 一	36
L115 社会学	L1150 高齢社会論	青 山 泰 子	37
	L1151 社会を診る方法	青 山 泰 子	38
	L1153 医療人類学	田 中 大 介	39
	L1154 異文化理解入門	田 中 大 介	40
	L1155 社会学概論	田 中 大 介	41
	L1156 文化人類学概論	田 中 大 介	42
	L1157 医療と民俗学	菊 地 元 史	43
	L1158-3 国際社会論	山 邊 昭 則	44
	L1158-7 学術と社会	山 邊 昭 則	45
	L1159 医師としての社会学	宮 道 亮 輔	46
	L116 倫理学	L1161 応用倫理学	小 野 純 一
L1162 公共倫理学		小 野 純 一	48
L1163 実践倫理学		小 野 純 一	49
L117 芸術学	L1170 文学的探索	吹 田 映 子	50
	L1171 ジェンダー文化論	吹 田 映 子	51
	L1172 モダン・アート考	吹 田 映 子	52
	L1173 文学への誘い	吹 田 映 子	53

## L12 自然系

授 業 科 目	科目番号／科目名	責任者	ページ
L121 数学	L1210 医学・医療における数学	奥 田 浩	57
	L1212 基礎数理遺伝学演習	奥 田 浩	58
	L1215 臨床医学と数学	奥 田 浩	59
	L1216 ゲノム医療がもたらすもの	奥 田 浩	60
	L1217 パソコン・IT (インターネット) で学ぶゲノム医療	奥 田 浩	61
L122 物理学	L1220-4 光科学の医学・生命科学への応用	佐 藤 文 菜	62
	L1220-5 疾病関連タンパク質概論	山 本 直 樹	63
L124 生物学	L1241-1 発生メカニズム	佐 藤 滋	64
	L1242-3 「形」から学ぶヒトの生物学1	菊 地 元 史	65
	L1242-4 「形」から学ぶヒトの生物学2	菊 地 元 史	66
	L1243 生物多様性を考える	菊 地 元 史	67
	L1245 系統発生学入門	菊 地 元 史	68
L125 保健体育	L1254-1 体育学演習1	板 井 美 浩	71
	L1254-2 体育学演習2	板 井 美 浩	72
	L1254-3 体育学演習3	板 井 美 浩	73
	L1254-4 体育学演習4	板 井 美 浩	74
L126 医療安全学	L1261-1 シミュレーション学習入門	宮 道 亮 輔	75
	L1262-1 医療における「学習」と「教育」	浅 田 義 和	76
	L1262-2 ICT時代の情報活用力	浅 田 義 和	77
	L1263 医療安全のための理論と実践	前 田 佳 孝	78
L127 薬理学	L1270 医薬品研究の歴史	興 水 崇 鏡	79

## L13 外国語系

授 業 科 目	科目番号／科目名	責任者	ページ
L131 英語	L1315-7 World Countries and Cultures	R.Dilenschneider	83
	L1316-7 Critical Thinking	R.Dilenschneider	84
	L1316-15 Music and Lyrics	R.Dilenschneider	85
	L1316-18 Creative Compositions	R.Dilenschneider	86
	L1316-19 Healthtalk	R.Dilenschneider	87
	L1316-20 Readings & Discussions (Society and Wellness)	R.Dilenschneider	88
	L1316-21 Readings & Discussions (Science & History)	R.Dilenschneider	89
	L1317-2 Cultural Tendencies of Nihon in English	A . J . L e b o w i t z	90
	L1317-5 Medical Ethics Topics English Discussion	A . J . L e b o w i t z	91
	L1317-6 Intro to Research Paper Reading	A . J . L e b o w i t z	92
	L1317-7 Medical History Topics English Discussion	A . J . L e b o w i t z	93
	L1318 英語音声学入門～正しい発声を学ぼう～	A . J . L e b o w i t z	94
	L132 ドイツ語	L1320-3 はじめてのドイツ語	小 野 純 一
L1320-4 ドイツ語初級		小 野 純 一	96
L135 フランス語	L1350-7 フランス語文法Ⅰ	吹 田 映 子	97
	L1350-8 フランス語文法Ⅱ	吹 田 映 子	98
	L1350-9 フランス語を読む	吹 田 映 子	99
	L1350-10 フランス語で歌う	吹 田 映 子	100
	L1350-11 フランス語会話Ⅰ	吹 田 映 子	101
	L1350-12 フランス語会話Ⅱ	吹 田 映 子	102

## 2. 総合教育科目の教育目標

総合教育の目標は、さまざまな学問分野に触れて、自己と社会について多様な視点および接点を獲得し、心と体と知性の全てにわたって調和のとれた個性あふれる自己形成を行うことにある。学生は一人一人の関心と個性とに応じて、主体性を持って選択科目を構成し、自己教育さらには生涯教育への第一歩を踏み出すことが期待される。

## 3. 総合教育選択科目履修要領

### 1) 科目構成

総合教育選択科目は、人文社会系、自然系、外国語系の三つの系に分類され、100前後の科目が開講される。

### 2) 選択科目の履修単位

総合教育選択科目は10単位以上履修しなければならない。選択科目はすべて1単位である。開講予定の科目は100前後あるが、その中から1年次に11単位履修する。開講されている科目の数に比べて履修しなければならない単位数が少ないので、選択の自由度が高いのが総合教育選択科目の特徴である。

### 3) 科目選択の多様性を旨すること

総合教育選択科目には人文社会系、自然系、外国語系の三つの系がある。それぞれの系から多様性のある選択をし、自己学習あるいは生涯学習の第一歩を踏み出すにふさわしい内容とすることが望ましい。科目には科目番号が付いている。科目番号の後に付いているA、B、C、などのアルファベットはその番号の科目が2回以上開講されていることを示すためであり、別の科目を意味するものではない。同じ科目番号の科目を間違って複数履修しないこと。

### 4) 受講人数の制限

授業内容の性質などの事情により、科目ごとに定員が決められている。定員の詳細は各系別の科目一覧あるいは各科目の要項にある。定員を超えた場合でも、なるべく希望に添えるよう配慮するが、やむを得ない場合には、抽選で受講者を決める。

### 5) 選択科目履修登録の仕方

入学前に、インターネットを利用して履修登録を行う。登録方法、締切日等については別途通知する。

### 6) 履修登録の変更

(1) 1学期に行われる科目については履修登録後の変更は原則として認めない。

(2) 履修科目の抹消は認めない。

(3) 2学期の履修科目の登録変更は、2科目まで受け付ける。ただし変更予定科目がすでに定員に達しているときには、別の科目を選択しなければならない。

(4) 履修登録の変更の受付期間は、掲示にて学事課が指定する。

### 7) 出席の確認

各科目責任者によって異なるが、原則として毎回の授業の際に出席簿に署名し、担当教員が捺印することによって出席が確認される。

### 8) 成績評価ならびに再試験・再履修について

(1) 原則として講義は授業回数の3分の2を超える（10回中7回以上）出席、演習および実習は5分の4を超える（10回中9回以上）出席をした者を、受験資格（評価を受ける資格）を有する者とする。

(2) 単位取得資格を有する学生に対して、試験、レポート、平常点（日常テスト、態度評価、

出席点等を含む)のいずれかもしくは二つ以上を組み合わせて成績評価を行なう。詳細は各科目の当該欄を参照願いたい。

- (3) 評価が60点に達せず、不合格になった場合は、原則として試験期間終了後、2週間以内に、各科目責任者の指導のもと、再試験、レポート再提出、その他の方法によって、再評価を受ける。この期間内に合格点が得られない場合、もしくは評価が完了しない場合、その科目の単位は修得できない。
- (4) 1学年終了時まで選択科目10単位以上を取得することが、2学年への進級要件である。

※ 上記の履修登録方法については、変更されることもあるので掲示等に注意すること。

## 4. 到達目標とコンピテンシー

### 1) 到達目標 (モデルコアカリキュラム 対応項目)

- PR-01-01 誠実さ
- PR-01-02 省察
- PR-02-01 思いやり
- PR-02-02 他者理解と自己理解
- PR-02-03 品格・礼儀
- PR-03-01 教養
- PR-04-01 臨床倫理
- RE-01-01 能動的姿勢
- RE-01-02 探究心
- IT-01-01 情報・科学技術に向き合うための準備
- IT-01-02 情報・科学技術利用にあたっての倫理観とルール
- PS-01-01 生命現象の科学
- PS-01-02 個体の構成と機能
- PS-01-03 個体の反応

### 2) コンピテンシー (ディプロマポリシー 対応項目)

- I - 1 医師になるための自覚
- I - 2 他者への理解
- I - 3 自己評価と研鑽
- I - 4 自己決定の尊重と個人情報保護
- I - 5 規律ある行動と説明責任
- I - 6 倫理的行動と社会規範の順守
- II - 1 医師に必要な教養と医学的知識

## 5. 令和7年度 総合教育選択科目 開講日

	1 学期	2 学期
火曜日	3 時限／A	1 時限／F 2 時限／G
	2025年 4月15日(火) 4月22日(火) 5月13日(火) 5月20日(火) 5月27日(火) 6月 3日(火) 6月10日(火) 6月17日(火) 6月24日(火) 7月 1日(火)	2025年 9月 9日(火) 9月16日(火) 9月30日(火) 10月 7日(火) 10月14日(火) 10月21日(火) 10月28日(火) 11月 4日(火) 11月11日(火) 11月18日(火)
水曜日	1 時限／B 5 時限／C	1 時限／H 3 時限／I
	2025年 4月16日(水) 4月23日(水) 5月 7日(水) 5月14日(水) 5月21日(水) 5月28日(水) 6月11日(水) 6月18日(水) 6月25日(水) 7月 2日(水)	2025年 9月10日(水) 9月17日(水) 9月24日(水) 10月 1日(水) 10月 8日(水) 10月15日(水) 10月22日(水) 10月29日(水) 11月 5日(水) 11月12日(水)
木曜日	2 時限／D 3 時限／E	1 時限／J 2 時限／K
	2025年 4月10日(木) 4月17日(木) 4月24日(木) 5月 8日(木) 5月15日(木) 5月22日(木) 5月29日(木) 6月12日(木) 6月19日(木) 6月26日(木)	2025年 9月11日(木) 9月18日(木) 9月25日(木) 10月 2日(木) 10月16日(木) 10月23日(木) 10月30日(木) 11月 6日(木) 11月13日(木) 11月20日(木)

# 令和7年度 総合教育選択科目 開講予定時間割

## 1 学年 1 学期

	月	火	水	木	金
1 時限			総合教育 B		
2 時限				総合教育 D	
3 時限		総合教育 A		総合教育 E	
4 時限					
5 時限			総合教育 C		

## 1 学年 2 学期

	月	火	水	木	金
1 時限		総合教育 F	総合教育 H	総合教育 J	
2 時限		総合教育 G		総合教育 K	
3 時限			総合教育 I		
4 時限					
5 時限					

## 6. 令和7年度総合教育選択科目時間割

### 1 学 期

開講曜日		火 曜 日	
3 時 限 A	人文社会系	L1111-6	※ 西洋音楽史 I (加藤)
		L1119-7	言語文化論Ⅲ (小野)
		L1123-3	自己理解の心理アセスメント (佐々木)
		L1151A	社会を診る方法 (青山)
		L1154A	異文化理解入門 (渥美)
		L1173A	文学への誘い (鈴木)
	自然系	L1210	医学・医療における数学 (奥田)
		L1254-1A	体育学演習 1 (板井)
		L1262-2A	ICT時代の情報活用力 (浅田)
外国語系	L1316-15A	Music and Lyrics (Dilenschneider)	
	L1317-2A	Cultural Tendencies of Nihon in English 英語で日本文化 (Lebowitz)	
	L1350-11	※ フランス語会話 I (マイエル)	

開講曜日		水 曜 日		木 曜 日			
1 時 限 B	人文社会系	L1113-6A	西洋美術史 (吹田)	2 時 限 D	L1111-7	※ 西洋音楽史Ⅱ (加藤)	
		L1140-1	※ 医学古典語 I (小野)		L1113-7A	アートセラピー入門 (吹田)	
		L1154B	異文化理解入門 (渥美)		L1119-5	言語文化論 I (小野)	
	自然系	L1216A	ゲノム医療がもたらすもの (奥田)		L1124-1A	カウンセリング実習 (佐々木)	
		L1242-4	※ 「形」から学ぶヒトの生物学2 (菊地)		L1155A	社会学概論 (渥美)	
		L1270A	医薬品研究の歴史 (輿水)		L1162A	公共倫理学 (山川)	
	外国語系	L1316-19	Healthtalk (Dilenschneider)	L1241-1	発生メカニズム (佐藤滋)		
		L1317-7A	Medical History Topics English Discussion 医学史英語ディスカッション (Lebowitz)	L1261-1A	シミュレーション学習入門 (宮道)		
		L1320-3	はじめてのドイツ語 (中山)	L1262-1A	医療における「学習」と「教育」(浅田)		
	5 時 限 C	人文社会系	L1114-4	仏教思想史 I (林)	3 時 限 E	L1113-7B	アートセラピー入門 (吹田)
			L1119-1	はじめての哲学 (中山)		L1115-1	キリスト教思想史 I (加藤)
			L1119-8	言語文化論Ⅳ (小野)		L1119-6	言語文化論Ⅱ (小野)
L1150			高齢社会論 (青山)	L1124-1B		カウンセリング実習 (佐々木)	
L1154C			異文化理解入門 (田中)	L1153A		医療人類学 (田中)	
L1159			医師としての社会学 (宮道)	L1158-3		国際社会論 (山邊)	
L1161A			応用倫理学 (山川)	L1163A		実践倫理学 (山川)	
L1170A			文学的探索 (鈴木)	E		L1242-3	※ 「形」から学ぶヒトの生物学1 (菊地)
L1171			ジェンダー文化論 (吹田)			L1254-2A	体育学演習 2 (板井)
自然系		L1215A	臨床医学と数学 (奥田)		L1261-1B	シミュレーション学習入門 (宮道)	
		L1270B	医薬品研究の歴史 (輿水)		L1350-7B	フランス語文法 I (鈴木)	
		外国語系	L1316-20		Readings & Discussions (Society and Wellness) (Dilenschneider)		
L1317-6A			Intro to Research Paper Reading 論文読入門 (Lebowitz)				

科目番号の A、B 等の記号はその科目が他の時間にも開講されていることを示す。

※がついている科目は、履修条件が設定されているため、各科目の紹介ページをよく読むこと。

## 2 学 期

開講曜日		火 曜 日	
1 時 限	人文社会系	L1122-3A L1154D L1157 L1170B	対人交流の臨床心理学 (佐々木) 異文化理解入門 (渥美) 医療と民俗学 (立石) 文学的探索 (鈴木)
	自然系	L1216B L1254-1B	ゲノム医療がもたらすもの(奥田) 体育学演習 1 (板井)
	F 外国語系	L1316-21 L1317-7B L1350-12A	Readings & Discussions (Science & History) (Dilenschneider) Medical History Topics English Discussion 医学史英語ディスカッション (Lebowitz) フランス語会話 II (マイエル)
2 時 限	人文社会系	L1111-8 ※ L1122-3B L1154E L1173B	西洋音楽史Ⅲ (加藤) 対人交流の臨床心理学 (佐々木) 異文化理解入門 (渥美) 文学への誘い (鈴木)
	自然系	L1217 L1220-5 L1243A L1262-2B	パソコン・IT(インターネット)で学ぶゲノム医療(奥田) 疾病関連タンパク質概論 (山本) 生物多様性を考える (菊地) ICT時代の情報活用力 (浅田)
	G 外国語系	L1316-15B L1317-2B L1350-12B ※	Music and Lyrics (Dilenschneider) Cultural Tendencies of Nihon in English 英語で日本文化 (Lebowitz) フランス語会話 II (マイエル)

開講曜日		水 曜 日		木 曜 日		
1 時 限 H	人文社会系	L1113-6B L1124-2A L1140-2 ※ L1154F	西洋美術史 (吹田) カウンセリング概論 (佐々木) 医学古典語Ⅱ (小野) 異文化理解入門 (渥美)	1 時 限 J	L1113-1A L1119-11 L1122-5A L1151B L1155B L1162B	医学・医療と芸術 (吹田) 地域文化論Ⅲ (小野) 事例から学ぶ心理臨床 (佐々木) 社会を診る方法 (青山) 社会学概論 (渥美) 公共倫理学 (山川)
	自然系	L1212 L1245 ※ L1254-3	基礎数理遺伝学演習 (奥田) 系統発生学入門 (菊地) 体育学演習 3 (板井)		L1254-2B L1261-1C	体育学演習 2 (板井) シミュレーション学習入門(宮道)
	外国語系	L1317-6B L1320-4 ※ L1350-8A ※	Intro to Research Paper Reading 論文読入門(Lebowitz) ドイツ語初級 (中山) フランス語文法Ⅱ (鈴木)		L1315-7 L1317-5B L1350-10 ※	World Countries and Cultures(Dilenschneider) Medical Ethics Topics English Discussion 臨床倫理英語ディスカッション (Lebowitz) ※ フランス語で歌う (鈴木)
3 時 限 I	人文社会系	L1114-5 L1119-2 L1119-9 L1119-12 L1124-2B L1156 L1161B L1172	仏教思想史Ⅱ (林) 哲学の入門 (中山) 地域文化論Ⅰ (小野) 地域文化論Ⅳ (古賀) カウンセリング概論 (佐々木) 文化人類学概論 (田中) 応用倫理学 (山川) モダン・アート考 (吹田)	2 時 限 K	L1111-9 ※ L1113-1B L1119-10 L1122-5B L1153B L1158-7 L1163B	西洋音楽史Ⅳ (加藤) 医学・医療と芸術 (吹田) 地域文化論Ⅱ (小野) 事例から学ぶ心理臨床 (佐々木) 医療人類学 (田中) 学術と社会 (山邊) 実践倫理学 (山川)
	自然系	L1215B L1243B L1254-4 L1262-1B	臨床医学と数学 (奥田) 生物多様性を考える (菊地) 体育学演習 4 (板井) 医療における「学習」と「教育」(浅田)		L1220-4 L1261-1D L1263	光科学の医学・生命科学への応用 (佐藤文) シミュレーション学習入門(宮道) 医療安全のための理論と実践 (前田)
	外国語系	L1350-8B ※	フランス語文法Ⅱ (鈴木)		L1316-18 L1318B L1350-9 ※	Creative Compositions (Dilenschneider) 英語音声学入門～正しい発声を学ぼう～(清水) ※ フランス語を読む (鈴木)

科目番号の A、B 等の記号はその科目が他の時間にも開講されていることを示す。

※がついている科目は、履修条件が設定されているため、各科目の紹介ページをよく読むこと。

〔L11〕 人文社会系科目

## 人文社会系科目一覧

科目番号／授業科目	責任者	学期／曜／時限	授業形態	単位	定員	評価
L1111-6 西洋音楽史Ⅰ	吹田	I・火・3	講義	1	15	出席・レポート・態度
L1111-7 西洋音楽史Ⅱ	吹田	I・木・2	講義	1	15	出席・レポート・態度
L1111-8 西洋音楽史Ⅲ	吹田	II・火・2	講義	1	15	出席・レポート・態度
L1111-9 西洋音楽史Ⅳ	吹田	II・木・2	講義	1	15	出席・レポート・態度
L1113-1 医学・医療と芸術	吹田	A・II・木・1 B・II・木・2	講義	1	15	出席・レポート他
L1113-6 西洋美術史	吹田	A・I・水・1 B・II・水・1	講義	1	15	出席・レポート他
L1113-7 アートセラピー入門	吹田	A・I・木・2 B・I・木・3	講義	1	15	出席・レポート他
L1114-4 仏教思想史Ⅰ	小野	I・水・5	講義	1	20	レポート
L1114-5 仏教思想史Ⅱ	小野	II・水・3	講義	1	20	レポート
L1115-1 キリスト教思想史Ⅰ	小野	I・木・3	演習	1	12	レポート
L1119-1 はじめての哲学	小野	I・水・5	講義	1	20	レポート
L1119-2 哲学の入門	小野	II・水・3	講義	1	20	レポート
L1119-5 言語文化論Ⅰ	小野	I・木・2	講義	1	20	試験
L1119-6 言語文化論Ⅱ	小野	I・木・3	講義	1	20	試験
L1119-7 言語文化論Ⅲ	小野	I・火・3	講義	1	20	試験
L1119-8 言語文化論Ⅳ	小野	I・水・5	講義	1	20	試験
L1119-9 地域文化論Ⅰ	小野	II・水・3	講義	1	20	試験
L1119-10 地域文化論Ⅱ	小野	II・木・2	講義	1	20	試験
L1119-11 地域文化論Ⅲ	小野	II・木・1	講義	1	20	試験
L1119-12 地域文化論Ⅳ	小野	II・水・3	講義	1	20	レポート
L1122-3 対人交流の臨床心理学	佐々木	A・II・火・1 B・II・火・2	講義	1	30	態度・レポート他
L1122-5 事例から学ぶ心理臨床	佐々木	A・II・木・1 B・II・木・2	講義	1	20	態度他
L1123-3 自己理解の心理アセスメント	佐々木	I・火・3	演習	1	20	態度・レポート
L1124-1 カウンセリング実習	佐々木	A・I・木・2 B・I・木・3	演習	1	20	レポート他
L1124-2 カウンセリング概論	佐々木	A・II・水・1 B・II・水・3	講義	1	20	レポート他
L1140-1 医学古典語Ⅰ	小野	I・水・1	講義	1	20	小テスト
L1140-2 医学古典語Ⅱ	小野	II・水・1	講義	1	20	小テスト
L1150 高齢社会論	青山	I・水・5	講義	1	30	態度・課題・レポート
L1151 社会を診る方法	青山	A・I・火・3 B・II・木・1	講義	1	30	課題・態度
L1153 医療人類学	田中	A・I・木・3 B・II・木・2	講義	1	30	課題・態度・レポート他
L1154 異文化理解入門	田中	A・I・火・3 B・I・水・1 C・I・水・5 D・II・火・1 E・II・火・2 F・II・水・1	講義	1	10	平常点・試験他
L1155 社会学概論	田中	A・I・木・2 B・II・木・1	講義	1	10	平常点・試験他
L1156 文化人類学概論	田中	II・水・3	講義	1	30	課題・レポート他
L1157 医療と民俗学	菊地	II・火・1	講義	1	20	出席・レポート・態度
L1158-3 国際社会論	山邊	I・木・3	講義	1	30	態度他
L1158-7 学術と社会	山邊	II・木・2	講義	1	30	態度他
L1159 医師としての社会学	宮道	I・水・5	講義	1	30	出席・レポート・態度
L1161 応用倫理学	小野	A・I・水・5 B・II・水・3	講義	1	15	試験
L1162 公共倫理学	小野	A・I・木・2 B・II・木・1	講義	1	15	試験
L1163 実践倫理学	小野	A・I・木・3 B・II・木・2	講義	1	15	試験
L1170 文学的探索	吹田	A・I・水・5 B・II・火・1	講義	1	5	出席・レポート
L1171 ジェンダー文化論	吹田	I・水・5	講義	1	20	出席・態度・課題
L1172 モダン・アート考	吹田	II・水・3	講義	1	20	出席・態度・課題他
L1173 文学への誘い	吹田	A・I・火・3 B・II・火・2	講義	1	5	出席・レポート

科目番号	科目名	責任者	学年
L1111-6	西洋音楽史 I	吹田 映子	1 学年

○開講時期 [1] 学期 [火・3] 時限 [A]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

本科目はバロック後期から古典派を経て、ロマン派中期に至る西洋音楽の歴史を扱う。1コマにつき、原則として1名の作曲家を取り上げ、その生涯と作品、活動の背景となる当時の社会とその思想的背景、キリスト教信仰ならびに教会との関係などについて解説する。また代表的な作品については、作曲の経緯や技法など鑑賞に資すると思われる事柄についても解説する。鑑賞する作品については、一曲ごとに感想を書いていただく。さしあたり言葉にはならない印象や感動、連想される風景や作曲者の思いなどを、他者の思いをくみ取りつつ、自分の言葉で表現してみることによって、自分自身を発見することもこの授業の大切なねらいとなる。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

資料配付

○参考書

なし

○評価の方法

レポート提出、出席ならびに授業への参加態度。

○履修上の注意

希望者が履修定員を超える場合には、西洋音楽史Ⅱを併せて受講したい人を優先します。授業が始まってから20分以内は遅刻扱い（半出席）、それ以降は欠席扱いとします。

○フィードバックの方法

レポートにコメントを返す

○準備学修（予習・復習）

前回の配布資料を読み返す（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	バッハ 1	加 藤 直 克	外 来 講 師
2	ヘンデル	加 藤 直 克	外 来 講 師
3	モーツァルト 1	加 藤 直 克	外 来 講 師
4	ベートーヴェン 1	加 藤 直 克	外 来 講 師
5	シューベルト	加 藤 直 克	外 来 講 師
6	メンデルスゾーン	加 藤 直 克	外 来 講 師
7	ショパン	加 藤 直 克	外 来 講 師
8	ワーグナー	加 藤 直 克	外 来 講 師
9	ブラームス	加 藤 直 克	外 来 講 師
10	ブルックナー	加 藤 直 克	外 来 講 師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1111-7	西洋音楽史Ⅱ	吹田映子	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

本科目はバロック後期から古典派を経て、ロマン派中期に至る西洋音楽の歴史を扱う。1コマにつき、原則として1名の作曲家を取り上げ、その生涯と作品、活動の背景となる当時の社会とその思想的背景、キリスト教信仰ならびに教会との関係などについて解説する。また代表的な作品については、作曲の経緯や技法など鑑賞に資すると思われる事柄についても解説する。鑑賞する作品については、一曲ごとに感想を書き添えていただく。さしあたり言葉にはならない印象や感動、連想される風景や作曲者の思いなどを、自分の言葉で表現してみることによって、他者の思いをくみ取りつつ、自分自身を発見することもこの授業の大切なねらいとなる。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

資料配付

○参考書

なし

○評価の方法

レポート提出、出席ならびに授業への参加態度。

○履修上の注意

希望者が履修定員を超える場合には、西洋音楽史Ⅰを併せて受講したい人を優先します。授業が始まってから20分以内は遅刻扱い（半出席）、それ以降は欠席扱いとします。

○フィードバックの方法

レポートにコメントを返す

○準備学修（予習・復習）

前回の配布資料を読み返す（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	ヴィヴァルディ	加藤直克	外 来 講 師
2	バッハ2	加藤直克	外 来 講 師
3	ハイドン	加藤直克	外 来 講 師
4	モーツァルト2	加藤直克	外 来 講 師
5	ベートーヴェン2	加藤直克	外 来 講 師
6	ベルリオーズ	加藤直克	外 来 講 師
7	シューマン	加藤直克	外 来 講 師
8	リスト	加藤直克	外 来 講 師
9	ヴェルディ	加藤直克	外 来 講 師
10	チャイコフスキー	加藤直克	外 来 講 師

科目番号	科目名	責任者	学年
L1111-8	西洋音楽史Ⅲ	吹田映子	1学年

○開講時期 [2] 学期 [火・2] 時限 [G]

○授業形式 講義

○履修定員 [15] 名

○ねらい

本科目は19世紀半ば、ロマン派後期から20世紀前半に掛けての西洋音楽の歴史を扱う。1コマにつき、原則として1名の作曲家を取り上げ、その生涯と作品、活動の背景となる当時の社会とその思想的背景、キリスト教信仰ならびに教会との関係などについて解説する。また代表的な作品については、作曲の経緯や技法など鑑賞に資すると思われる事柄についても解説する。鑑賞する作品については、一曲ごとに感想を書いていただく。さしあたり言葉にはならない印象や感動、連想される風景や作曲者の思いなどを、他者の思いをくみ取りつつ、自分の言葉で表現してみることによって、自分自身を発見することもこの授業の大切なねらいとなる。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

資料配付

○参考書

なし

○評価の方法

レポート提出、出席ならびに授業への参加態度。

○履修上の注意

受講希望者が定員を超える場合は、西洋音楽史Ⅳを併せて受講したい人を優先します。授業が始まってから20分以内は遅刻扱い（半欠席）、それ以降は欠席扱いとします。

○フィードバックの方法

レポートにコメントを返す

○準備学修（予習・復習）

前回の配布資料を読み返す（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	ドヴォルザーク	加藤直克	外来講師
2	ビゼー	加藤直克	外来講師
3	フォーレ	加藤直克	外来講師
4	プッチーニ	加藤直克	外来講師
5	ドビュッシー	加藤直克	外来講師
6	ラフマニノフ	加藤直克	外来講師
7	バルトーク	加藤直克	外来講師
8	ストラヴィンスキー	加藤直克	外来講師
9	ハチャトリアン	加藤直克	外来講師
10	シェーンベルク	加藤直克	外来講師

科目番号	科目名	責任者	学年
L1111-9	西洋音楽史Ⅳ	吹田映子	1学年

○開講時期 [2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

本科目は19世紀半ば、ロマン派後期から20世紀前半に掛けての西洋音楽の歴史を扱う。1コマにつき、原則として1名の作曲家を取り上げ、その生涯と作品、活動の背景となる当時の社会とその思想的背景、キリスト教信仰ならびに教会との関係などについて解説する。また代表的な作品については、作曲の経緯や技法など鑑賞に資すると思われる事柄についても解説する。鑑賞する作品については、一曲ごとに感想を書き添えていただく。さしあたり言葉にはならない印象や感動、連想される風景や作曲者の思いなどを、他者の思いをくみ取りつつ、自分の言葉で表現してみることによって、自分自身を発見することもこの授業の大切なねらいとなる。西洋音楽史ⅣではⅢで扱わなかった同時代の作曲家を扱う。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

資料配付

○参考書

なし

○評価の方法

レポート提出、出席ならびに授業への参加態度。

○履修上の注意

受講希望者が定員を超える場合は、西洋音楽史Ⅲを併せて受講したい人を優先します。授業が始まってから20分以内は遅刻扱い（半欠席）、それ以降は欠席扱いとします。

○フィードバックの方法

レポートにコメントを返す

○準備学修（予習・復習）

前回の配布資料を読み返す（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	グリーグ	加藤直克	外来講師
2	エルガー	加藤直克	外来講師
3	マーラー	加藤直克	外来講師
4	シベリウス	加藤直克	外来講師
5	ラベル	加藤直克	外来講師
6	ロシア国民楽派	加藤直克	外来講師
7	リヒャルト・シュトラウス	加藤直克	外来講師
8	プロコフィエフ	加藤直克	外来講師
9	ガーシュイン	加藤直克	外来講師
10	ショスタコーヴィチ	加藤直克	外来講師

科目番号	科目名	責任者	学年
L1113-1	医学・医療と芸術	吹田 映子	1 学年

- 開講時期 [2] 学期 [木・1] 時限 [J]  
[2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

医学「と」芸術、医療「と」芸術。一見かけ離れた分野のあいだには、どのような関係があるのだろうか。近代の合理主義を通じて別物と認識されるようになったこれら人間の営為は、実際にはいつの時代・どの地域においても分かちがたい関係を結んでいるように思われる。この授業では、ルネサンス期イタリアの絵画における医学的関心を足がかりに、西洋美術史と西洋医学史の接点に分け入る。舞台は15世紀のイタリアから17世紀のオランダへ、さらに18世紀の日本へ。本講義を通じて芸術一般および医学史への関心を高めるとともに、医学・医療を文化として、より広い視野で捉える姿勢を身につけたい。また、医師としての将来の自己像を広い歴史のなかに位置づけることもできるだろう。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

資料を配布する。

○参考書

岡田温司・池上英洋『レオナルド・ダ・ヴィンチと受胎告知』平凡社  
小池寿子『内臓の発見 西洋美術における身体とイメージ』筑摩書房  
坂井建雄『医学の歴史』医学書院

○評価の方法

出席、発言、提出物

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

授業中に講評する。

○準備学修（予習・復習）

前回までの資料を読み返す（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	イタリア・ルネサンスにおける受胎告知図の流行と医学（1）	吹田 映子	文 学
2	イタリア・ルネサンスにおける受胎告知図の流行と医学（2）	吹田 映子	文 学
3	ダ・ヴィンチ《モナ・リザ》の謎	吹田 映子	文 学
4	ダ・ヴィンチの解剖デッサン	吹田 映子	文 学
5	解剖学とオルガン	吹田 映子	文 学
6	ボス《石の切除手術》（15世紀末）から考える医学の制度化	吹田 映子	文 学
7	レンブラントの絵画に見る17世紀オランダの市民社会と医学（1）	吹田 映子	文 学
8	レンブラントの絵画に見る17世紀オランダの市民社会と医学（2）	吹田 映子	文 学
9	杉田玄白『蘭学事始』を読む（1）	吹田 映子	文 学
10	杉田玄白『蘭学事始』を読む（2）	吹田 映子	文 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1113-6	西洋美術史	吹田映子	1 学 年

- 開講時期 [1] 学期 [水・1] 時限 [B]  
[2] 学期 [水・1] 時限 [H]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

図画工作や美術の授業を通して作る楽しみは経験したものの、美術作品を鑑賞する楽しみについては今一つわからない、という人はいませんか。旧石器時代の洞窟壁画から現代の幅広い「アート」まで、造形作品は歴史的な資料でもあります。学問としての美術史は、その作品がいつ、どこで、誰が、何のために制作したのかを問題にします。いわば一つのナゾとして作品と対峙するのです。美術のジャンルには彫刻や版画など様々ありますが、例えば絵画では、描かれた人物の服装や、背景にある建築物など、見過ごしがちな細部に着目することでナゾを解く鍵を得られることがよくあります。この授業では西洋絵画史において特に謎めいた作品を紹介し、頭を捻りながら美術史を学びましょう。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

資料を配布します。

○参考書

中野京子『怖い絵』『怖い絵 2』『怖い絵 3』朝日出版社

○評価の方法

出席、発言、提出物

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

授業中に講評する。

○準備学修（予習・復習）

前回までの資料を読み返す（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	好きな絵（1）	吹田映子	文 学
2	好きな絵（2）	吹田映子	文 学
3	ナゾの絵 I	吹田映子	文 学
4	15世紀 フランドル 北方ルネサンス	吹田映子	文 学
5	ナゾの絵 II	吹田映子	文 学
6	16世紀 イタリア ルネサンス	吹田映子	文 学
7	ナゾの絵 III	吹田映子	文 学
8	17世紀 スペイン バロック	吹田映子	文 学
9	ナゾの絵 IV	吹田映子	文 学
10	15世紀 イタリア ルネサンス	吹田映子	文 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1113-7	アートセラピー入門	吹田映子	1 学 年

- 開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]  
[1] 学期 [木・3] 時限 [E]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

医療を広く「癒し」という視点で捉えるなら、そこには様々な営みが含まれる。なかでも芸術はアートセラピー（芸術療法）という実践においてその効果が注目されている。この傾向は20世紀後半に現われ、その重要性は現代社会においてますます高まっているようだ。デジタル化や感染症の流行等に伴い、私たちが自らの、そして他者の身体と向き合う機会を急速に失いつつあるとすれば、他者との関わりのなかで心身の解放を目指すアートセラピーの役割はかつてなく大きいと言える。この授業ではアートセラピーに携わっている方々を講師に招き、具体的な実践例を学ぶとともに、体験を通してその意義や課題について考える。取り上げる芸術分野は、演劇、絵画、音楽、ダンスなどを予定している。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

なし

○参考書

荒井裕樹『生きていく絵 アートが人を〈癒す〉とき』ちくま文庫  
関則雄・三脇康生・井上リサ・編集部編『アート×セラピー潮流』フィルムアート社

○評価の方法

出席、参加態度、提出物

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

授業中に講評する。

○準備学修（予習・復習）

前回までの内容を振り返り（1時間）、次回の内容を想像しながら心身をリラックスさせる（2時間）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	アートセラピーとは何か	吹田映子	文 学
2	演劇情動療法	NPO法人日本演劇情動療法協会 吹田映子	外来講師、文学
3	精神科病院の中の造形教室	吹田映子 他（調整中）	外来講師、文学
4	アートセラピーの歴史	吹田映子	文 学
5	自然生クラブの取り組み（1）	NPO法人自然生クラブ 吹田映子	外来講師、文学
6	自然生クラブの取り組み（2）	NPO法人自然生クラブ 吹田映子	外来講師、文学
7	音楽療法	山下晃弘 吹田映子	外来講師、文学
8	ダンス・セラピーの試み	岩吹下映 吹田映子	外来講師、文学
9	音楽 × ダンス	吹田映子	文 学
10	振り返り	吹田映子	文 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1114-4	仏教思想史 I	小野純一	1 学年

○開講時期 [1] 学期 [水・5] 時限 [C]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

紀元前 6 世紀頃にゴータマがインドで仏教を創始した。現在も南インドや東南アジア、中央アジア、北東アジアの文化に深く根を張る。その教えは、神を絶対者として崇めるセム的な宗教とは一線を画すると考えられる。では、それはどのような特徴を持つ信仰だろうか。この問いを携えつつ、各時代と各地域の特徴を押さえ、違いを超えて通底する普遍的な理念は何か、いかにして現在の形になったのかを考えていきたい。このような問いを基本に据えて、原始仏教や上座部仏教、大乘仏教、特に中観、唯識、華嚴、天台、浄土、密教、禅などを通覧する。本講義ではこれら数多くの部派・宗派を歴史の中に位置づけ、いかなる原動力がそれらの文化を生み出し発展させたのかを考察する。仏教思想史 I では主としてインドから東南アジアや北東アジアまでの伝播を扱う。本講義には仏教思想史 II もあるが、単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

木村清孝『教養としての仏教思想史』筑摩書房、2021年。  
三枝充憲『インド仏教思想史』講談社、2013年。  
佐藤厚『はじめての韓国仏教』佼成出版社、2019年。  
白石凌海『仏陀 南伝の旅』講談社、2010年。  
竹村牧男『インド仏教の歴史』講談社、2004年。  
吉村均『チベット仏教入門』筑摩書房、2018年。  
デール・S・ライト『エッセンシャル仏教』みすず書房、2021年。  
ジャン＝ノエル・ロベール『仏教の歴史』講談社、2023年。

○評価の方法

レポート提出

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生への講評

○準備学修（予習・復習）

配布資料を読み、理解を深める（予習90分、復習90分）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	仏教の成立	林 東 洋	外 来 講 師
2	部派仏教の展開	林 東 洋	外 来 講 師
3	大乘仏教の成立	林 東 洋	外 来 講 師
4	中観派とその思想	林 東 洋	外 来 講 師
5	瑜伽行派の形成	林 東 洋	外 来 講 師
6	密教の成立と展開	林 東 洋	外 来 講 師
7	テーラヴァーダ仏教	林 東 洋	外 来 講 師
8	チベット仏教	林 東 洋	外 来 講 師
9	中国仏教	林 東 洋	外 来 講 師
10	朝鮮仏教	林 東 洋	外 来 講 師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1114-5	仏教思想史Ⅱ	小野純一	1学年

○開講時期 [2] 学期〔水・3〕 時限〔1〕

○授業形式 講義

○履修定員 [20] 名

○ねらい

6世紀に日本に伝来して以来、仏教は儒教や道教などと共に日本文化の形成をになってきた。仏教なしには、神道の形成を語ることもできない。本講義は、最初期に日本に伝来した様子から、聖徳太子を代表とする飛鳥時代の仏教、さらに奈良において国家運営や学問を担った仏教、平安時代の最澄、空海、明恵や、鎌倉の親鸞、道元、日蓮など、日本文化の中核となった名僧たちの活躍を紹介する。それらと同時に、共に発展した神道文化をも紹介する。これらを重ね合わせることで、日本仏教と神道（さらに儒教や道教）を中核として形成される日本文化の本質や特質を検討してゆく。この検証なしに、日本文化を語ることも、現代日本人の特徴や問題、その無意識を語ることもできない。本講義は、日本そのものを学ことを目的とすると言える。本講義は仏教思想史Ⅰを受講しなくとも、単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

伊藤聡他『中世神道入門』勉誠社、2022年。

大角修『基本史料でよむ日本仏教全史』KADOKAWA、2023年。

末木文美士『日本思想史』岩波書店、2020年。

末木文美士編『日本仏教再入門』講談社、2024年。

松尾剛次『日本仏教史入門』平凡社、2022年。

袁輪顕量『日本仏教史』春秋社、2015年。

○評価の方法

レポート提出

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生への講評

○準備学修（予習・復習）

配布資料を読み、理解を深める（予習90分、復習90分）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	仏教と神道、儒教、道鏡	林 東 洋	外 来 講 師
2	飛鳥仏教から奈良仏教	林 東 洋	外 来 講 師
3	平安前期の仏教と神道	林 東 洋	外 来 講 師
4	平安後期の仏教と神道	林 東 洋	外 来 講 師
5	鎌倉時代の仏教と新たな神格たち	林 東 洋	外 来 講 師
6	禅宗と法華宗	林 東 洋	外 来 講 師
7	南北朝・室町・戦国時代の神仏	林 東 洋	外 来 講 師
8	江戸時代の仏教と神道	林 東 洋	外 来 講 師
9	神仏分離と近代仏教	林 東 洋	外 来 講 師
10	現代の仏教と神道	林 東 洋	外 来 講 師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1115-1	キリスト教思想史 I	小野 純 一	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [木・3] 時限 [E]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 12 ] 名

○ねらい

本科目では、ユダヤ人の歴史と旧約聖書の成立事情を中心にその思想の核心を探る。つぎにイエスの誕生の背景と福音書に見られる活動と教えを概観する。そしてイエスの受難と復活が意味するものを弟子たちの活動を通して見てゆく。最後にキリスト教が日本人に問いかけているものを「宗教とは何か」という問いの中で考えてみる。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

小田垣雅也『キリスト教の歴史』講談社、1995年。

○参考書

新共同訳『新旧約聖書』

○評価の方法

レポート提出

○履修上の注意

授業内で伝える

○フィードバックの方法

毎回の感想レポートを提出し、その感想や疑問に対して、毎回コメントを書いて返却する。

○準備学修（予習・復習）

毎回の授業の準備学習としては、前回の講義内容を読み返す（予習90分、復習90分）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	旧約聖書の成立とユダヤ人の歴史	加 藤 直 克	外 来 講 師
2	天地創造から楽園追放まで：アダムとイブ	加 藤 直 克	外 来 講 師
3	アブラハム、イサク、ヤコブ：神との契約	加 藤 直 克	外 来 講 師
4	モーセと出エジプト、十戒	加 藤 直 克	外 来 講 師
5	イエスの誕生とその前後	加 藤 直 克	外 来 講 師
6	荒野の試練、山上の垂訓、イエスの奇跡	加 藤 直 克	外 来 講 師
7	最後の晩餐、イエスの死と復活	加 藤 直 克	外 来 講 師
8	弟子たちの宣教：ペテロとパウロ	加 藤 直 克	外 来 講 師
9	ローマ帝国によるキリスト教の弾圧と国教化	加 藤 直 克	外 来 講 師
10	キリスト教と日本人	加 藤 直 克	外 来 講 師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1119-1	はじめての哲学	小野純一	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [水・5] 時限 [C]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

社会思想史は現代においてロールズ以前以後で大きく変わったと言って良い。彼は「原初状態」という従来の概念に加えて、「無知のヴェール」や「重なり合うコンセンサス」といった独創的な概念を導入して、正義の二原理を導きだし、リベラル・デモクラシーの正統性を探究した。しかしそこから、新たな論争もまた始まった。彼の議論に対する批判に、いかにして応答し、現在の理論にいかなる貢献をなしたのか。本講義では、価値の多元性を許容する「政治的リベラリズム」の構想を解説しながら、現代社会の問題を描き出し、我々の解決すべき問題を意識化するとともに、「平等な自由」「公正な社会」を探究することを目的とする。本講義は「哲学の入門」を履修せずとも単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

ジョン・ロールズ『万民の法』岩波書店、2022年。  
 ジョン・ロールズ『公正としての正義 再説』岩波書店、2020年。  
 ジョン・ロールズ『ロールズ政治哲学史講義 I』岩波書店、2020年。  
 ジョン・ロールズ『ロールズ政治哲学史講義 II』岩波書店、2020年。  
 ジョン・ロールズ『正義論』紀伊国屋書店、2010年。  
 神島裕子『正義とは何か』中央公論新社、2018年。  
 齋藤純一他『ジョン・ロールズ』中央公論新社、2021年。  
 坂本達哉『社会思想史の歴史』名古屋大学出版会、2014年。  
 玉手慎太郎『今を生きる思想 ジョン・ロールズ』講談社、2024年。  
 森村進『正義とは何か』講談社、2024年。

○評価の方法

レポート

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

参考書を読み、教科書の理解を深める（予習90分、復習90分）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	万民の法	中山純一	外来講師
2	なぜ民衆であって国家ではないのか	中山純一	外来講師
3	原初状態	中山純一	外来講師
4	民主的平和とその安定性	中山純一	外来講師
5	公共的理性	中山純一	外来講師
6	異なる民衆への寛容	中山純一	外来講師
7	人権と交戦権	中山純一	外来講師
8	分配的正義	中山純一	外来講師
9	宗教と公共的理性	中山純一	外来講師
10	家族	中山純一	外来講師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1119-2	哲学の入門	小野純一	1学年

○開講時期 [2] 学期 [水・3] 時限 [1]

○授業形式 講義

○履修定員 [20] 名

○ねらい

この講義では哲学の主要なテーマのひとつである「自由」について考察します。哲学はさまざまな概念を創出してきました。例えば、人権、人格、平等、尊厳、公正（社会的正義）などです。これらの概念を創出することなしに、人類社会の発展も改善もありませんでした。これらの概念を構築し維持することは、私たちの生命の安全を確保し、人間的な生を維持し、社会をより良く保つことを実現する基盤に他なりません。ところが、こういった概念は常に変容、崩壊、悪化の契機にさらされています。こういった概念への無理解だけでなく、誤用や悪用も横行します。私たちは日常的に、人を暴力に駆り立てる言論を経験しています。私たちはどこまで許されどこから許されないのか、明確に線を引くことができるのでしょうか。この講義では、特に「言論・表現の自由」に着目し、思想史的な事例から現代の問題まで取り上げ、「自由」をめぐって論じ、思考していきます。本講義は「はじめての哲学」を履修せずとも単独で受講・単位認定可能とします。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

マイケル・サンデル『リベラリズムと正義の限界』勁草書房、2009年。

マイケル・サンデル『公共哲学』筑摩書房、2011年。

マイケル・サンデル『これから「正義」の話をしよう』早川書房、2011年。

マイケル・ウォルツァー『正義の領分—多元性と平等の擁護』而立書房、1999年。

マイケル・ウォルツァー『寛容について』みすず書房、2003年。

アマタイ・エツイオーニ『ネクスト：善き社会への道』麗澤大学出版会、2005年。

ウィル・キムリッカ『土着語の政治』法政大学出版局、2012年。

ウィリアム・コノリー『ブルーラリズム』岩波書店、2008年。

チャールズ・テイラー『自我の源泉：近代的アイデンティティの形成』名古屋大学出版会、2010年。

ジェラード・デランティ『コミュニティ：グローバル化と社会理論の変容』NTT出版、2006年。

アラスデア・マッキンタイア『美徳なき時代』みすず書房、1993年。

○評価の方法

レポート

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

参考文献を読解し教科書の理解を深める（予習90分、復習90分）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	自由とは何か	中山純一	外来講師
2	現在の「言論の自由」をめぐって	中山純一	外来講師
3	自由論の起源	中山純一	外来講師
4	真理と尊重	中山純一	外来講師
5	冒涇と寛大	中山純一	外来講師
6	ヘイトスピーチ	中山純一	外来講師
7	性犯罪	中山純一	外来講師
8	精神的危害と身体的危害	中山純一	外来講師
9	ネット社会の問題	中山純一	外来講師
10	まとめ	中山純一	外来講師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1119-5	言語文化論 I	小 野 純 一	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

インドの宗教思想は古代のバラモン教を超えて四千年前のインダス文明にまで遡るとされる。その教えは、瞑想や密教儀礼、絶対者への帰依、宇宙論や社会論、生命論、言語論、論理学など多岐にわたる。この講義では、歴史の変遷、地域的広がり、社会的な重層性に注意しながら、原典テキストの読解を行う。ただし基本的に和訳を用い、原語はその都度説明する。これらによって本講義は、ヴェーダやウパニシャッドに始まるインド思想の源流を抑え、正統バラモン哲学の諸派にも目を配りながら、インド諸宗教との関連の中でヒンドゥー教の思考および実践をとらえることを目的とする。本講義は他の言語文化論 (II, III, IV) を受講せざとも、単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布史料

○参考書

赤松明彦『インド哲学10講』岩波書店、2018年。

赤松明彦『ヒンドゥー教10講』岩波書店、2021年。

伊藤邦武他『世界哲学史』全8巻・別巻、筑摩書房、2020年。

立川武蔵『ヒンドゥー教の歴史』山川出版社、2014年。

長尾雅人他『岩波講座 東洋思想』全16巻、岩波書店、1988年。

奈良康明他『新アジア仏教史 全15巻』佼成出版社、2010-2011年。

ロイ・W・ペレット『インド哲学入門』ミネルヴァ書房、2023年。

保坂俊司『インド宗教興亡史』筑摩書房、2022年。

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修 (予習・復習)

配布資料の講読を予習として90分、講義ノートを用いて原典読解の理解を深める復習を90分とする。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	ヒンドゥー教の流れと広がり	小 野 純 一	哲 学
2	信仰の形	小 野 純 一	哲 学
3	死後の観念	小 野 純 一	哲 学
4	現世拒否	小 野 純 一	哲 学
5	ヨーガ	小 野 純 一	哲 学
6	バクティ	小 野 純 一	哲 学
7	タントラ	小 野 純 一	哲 学
8	シヴァ教	小 野 純 一	哲 学
9	ヴィシュヌ教との関わり	小 野 純 一	哲 学
10	ヒンドゥー教とは何か	小 野 純 一	哲 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1119-6	言語文化論Ⅱ	小野純一	1学年

○開講時期 [1] 学期 [木・3] 時限 [E]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

今日、道教は後漢末の太平道と五斗米道から始まる中国の伝統宗教とされる。しかし古代に現れた諸子百家に分類される老子や荘子などは「道家」とされ、その教えを尊重しながら、古代神仙思想そして五斗米道や太平道、六朝知識人の修養法など、さまざまな思想・運動をとりこみながら道家思想は形成されてゆく。そして六朝時代後半に儒仏を「儒教」「仏教」と呼ぶ流れと連動して、道家が「道教」とも呼ばれるようになる。本講義は、これら中国三大教学の一角を担う思考と実践の様式として道教の思想と実践を学ぶことを目的とする。本講義では「漢文を読む」という形式で、原典テキストの読解をも行いつつ、テキスト読解に基づいて文化現象の総合的な知見を得ることを目的とする。本講義は他の言語文化論 (I, III, IV) を受講せずとも、単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

伊藤邦武他『世界哲学史』全8巻・別巻、筑摩書房、2020年。  
 神塚淑子『道教思想10講』岩波書店、2020年。  
 中島隆博『中国哲学史』中央公論新社、2022年。  
 長尾雅人他『岩波講座 東洋思想』全16巻、岩波書店、1988年。  
 奈良康明他『新アジア仏教史 全15巻』佼成出版社、2010・2011年。  
 湯浅邦弘『よくわかる中国思想』ミネルヴァ書房、2022年。  
 横手裕『中国道教の展開』山川出版社、2008年。  
 横手裕『道教の歴史』山川出版社、2015年。

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修 (予習・復習)

配布資料の講読を予習として90分、講義ノートを用いて原典読解の理解を深める復習を90分とする。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	道教の流れと広がり	小野純一	哲 学
2	『老子』『荘子』	小野純一	哲 学
3	道と気と生命	小野純一	哲 学
4	宇宙：世界を統べる原理	小野純一	哲 学
5	救済：自己救済から他者救済へ	小野純一	哲 学
6	修養：内丹への道	小野純一	哲 学
7	社会：倫理政治の知的体系	小野純一	哲 学
8	仏教と儒教との関わり	小野純一	哲 学
9	文藝の源泉として	小野純一	哲 学
10	日本における道教文化	小野純一	哲 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1119-7	言語文化論Ⅲ	小野純一	1 学年

○開講時期 [1] 学期〔火・3〕 時限〔A〕

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

ギリシア文学は、ホメロスの叙事詩に始まって、抒情詩、悲劇喜劇、歴史、哲学、詩論、弁論、小説、随筆など、次々に新しいジャンルを開拓し、現代においても傑作として名高い数々の作品を残した。その影響下で発展したラテン文学は、ギリシア古典の精髓をヨーロッパに伝え、ヨーロッパ文化の源流となっただけでなく、ギリシア文学に対してローマ独自の文学を作り上げてゆく。とりわけラテン語はローマ帝国崩壊後にヨーロッパの宗教・政治・文化の共通語となり、学術語になり、最終的にヨーロッパ的教養の源泉として、近代ヨーロッパはギリシア・ローマを自己の起源として選択する。このため、ヨーロッパ文化を知る上でも欠かすことのできない基礎がギリシア・ローマの文藝である。その概観を捉えることがこの講義の目的である。本講義は他の言語文化論 (I, II, IV) を受講せずとも、単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

逸身喜一郎『ギリシャ・ラテン文学』研究社、2018年。  
 小川正廣『ホメロスの逆襲：それは西洋の古典か』名古屋大学出版会、2021年。  
 葛西康徳他『古典の挑戦：古代ギリシア・ローマ研究ナビ』知泉書館、2021年。  
 高津春繁『ギリシア・ローマの文学』講談社、2023年。  
 高橋宏幸編著『はじめて学ぶラテン文学史』ミネルヴァ書房、2008年。  
 松本仁助他『ギリシア文学を学ぶ人のために』世界思想社、1991年。  
 松本仁助他『ラテン文学を学ぶ人のために』世界思想社、1992年。

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修 (予習・復習)

配布資料の講読を予習として90分、講義ノートを用いて原典読解の理解を深める復習を90分とする。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	ギリシア叙事詩と神話の時代	小野純一	哲 学
2	ギリシア抒情詩と啓蒙の時代	小野純一	哲 学
3	ギリシア悲劇	小野純一	哲 学
4	ギリシア喜劇	小野純一	哲 学
5	ギリシア散文、詩論、学術	小野純一	哲 学
6	ローマ共和政期 1	小野純一	哲 学
7	ローマ共和政期 2	小野純一	哲 学
8	ローマ黄金時代 1	小野純一	哲 学
9	ローマ黄金時代 2	小野純一	哲 学
10	ローマ白銀時代とその後	小野純一	哲 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1119-8	言語文化論Ⅳ	小野純一	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [水・5] 時限 [C]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

イスラーム文化は古代ペルシア、オリエント、インド、中国、エジプト、ギリシアなどの大文明を土台に、全く新しい文明を開拓した。その出現がなければ、ルネサンスどころか、ヨーロッパそのものの形成を語ることもできないし、現代につながるインドや中国を語ることもできない。それはユーラシア大陸全体の枠組みを変え、学術と文化を与え続けた。本講義は、その根本を形づくるクルアーンとハディースを紹介し、それらに由来する神学や法学、哲学、神秘主義といった知的体系の諸相を解説する。これらを学ぶことで、ヨーロッパから東アジア、東南アジアにまたがる文明の根幹を掴むことが目的である。本講義は他の言語文化論(I, II, III)を受講せずとも、単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

カレン・アームストロング『イスラームの歴史』中央公論新社、2017年。

大塚和夫他編『岩波イスラム辞典』岩波書店、2002年。

鎌田繁『イスラームの深層』NHK出版、2015年。

小杉泰『クルアーン』岩波書店、2009年。

中田考『イスラームの論理』筑摩書房、2016年。

中田考『増補新版イスラーム法とは何か?』作品社、2021年。

松山洋平『イスラーム思想を読みとく』筑摩書房、2017年。

山本直輝『スーフィズムとは何か』集英社、2023年。

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修 (予習・復習)

配布資料の講読を予習として90分、講義ノートを用いて原典読解の理解を深める復習を90分とする。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	オリエントとアラビア	小野純一	哲 学
2	セム的一神教と預言	小野純一	哲 学
3	クルアーン	小野純一	哲 学
4	ハディース	小野純一	哲 学
5	宗教の形態 1	小野純一	哲 学
6	宗教の形態 2	小野純一	哲 学
7	法と倫理 1	小野純一	哲 学
8	法と倫理 2	小野純一	哲 学
9	神学と合理精神	小野純一	哲 学
10	神秘主義と実践	小野純一	哲 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1119-9	地域文化論 I	小野純一	1 学年

○開講時期 [2] 学期 [水・3] 時限 [1]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

本講義は、ヨーロッパの古典作品を学ぶことを目的とする。ローマ帝国崩壊後、キリスト教と前キリスト教的文化の相剋の中で形作られる中世と、自覚的にギリシア・ローマを自己の起源として選択し近代化してゆくヨーロッパとの間には、どちらとも異なる豊穡な精神世界がある。それはイスラームとビザンツという新たな知識の流入、大航海時代による知の変容と重なるルネサンス期の文藝に確認できる。その精神は現実的で冷徹かつ諧謔に満ちた人間認識、横溢する創造力や個性、躍動する新時代の息吹を特徴とする。本講義は主要な作品群から、ルネサンス精神とその特徴を理解することを目的とする。そうすることで、前キリスト教的伝説とも近代的な知性とも異なる精神の豊かさを学び、ヨーロッパの古層への理解を深めることが目指される。本講義は他の地域文化論 (II, III, IV) を受講せずとも、単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

エウジェニオ・ガレン 『ルネサンス文化史』 平凡社、2011年。

エルンスト・ローベルト・クルツイウス 『ヨーロッパ文学とラテン中世』 みすず書房、2022年。

佐藤紀子 『イギリス・ルネサンス期の言語と文化』 英宝社、2010年。

清水孝純 『ルネサンスの文学』 講談社、2007年。

マイケル・スクリーチ 『ラブレール：笑いと叡智のルネサンス』 白水社、2009年。

根占献一 『ルネサンス精神への旅』 創文社、2010年。

ウィリアム・バウズマ 『ルネサンスの秋』 みすず書房、2012年。

リュシアン・フェーヴル 『ミシュレとルネサンス』 藤原書店、1996年。

ヤーコプ・ブルクハルト 『イタリア・ルネサンスの文化』 筑摩書房、2007年。

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修 (予習・復習)

配布資料の講読を予習として90分、講義ノートを用いて原典読解の理解を深める復習を90分とする。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	ダンテ、ペトラルカ、ボッカチオ	小野純一	哲 学
2	チョーサー 『カンタベリー物語』	小野純一	哲 学
3	エラスムス 『痴愚神礼讃』	小野純一	哲 学
4	マキャヴェッリ 『君主論』	小野純一	哲 学
5	ルドヴィーコ・アリオスト 『狂えるオルランド』	小野純一	哲 学
6	トマス・モア 『ユートピア』	小野純一	哲 学
7	ラブレール 『ガルガンチュワとパンタグリユエル』	小野純一	哲 学
8	ミシェル・ド・モンテーニュ 『エッセー』	小野純一	哲 学
9	エドモンド・スペンサー 『妖精の女王』	小野純一	哲 学
10	セルバンテス 『ドン・キホーテ』	小野純一	哲 学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1119-10	地域文化論Ⅱ	小野純一	1学年

○開講時期 [2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

キリスト教が広まる前のヨーロッパに存在していたケルト文化は、現在ではアイルランド、イギリスのウェールズ、スコットランド、マン島、コーンウォール、フランスのブルターニュに分散的に痕跡を止める。だが考古学的な観点からは、ローマやゲルマン、スラヴと並んでヨーロッパ全土に歴史の最初期から存在していた。近代になると幻想と謎のイメージで人心を魅了するようになる。近年ではこの「ケルト」概念の見直しが進んできた。本講義はケルト諸語を基盤としてケルト文化をとらえ、歴史・神話・美術・考古学など多角的観点からその全体像に迫り、それによってヨーロッパ文化の基層、中世の世界、近代的ナショナリズムやヨーロッパ主義の幻想を学術的に取り上げるものである。本講義は他の地域文化論 (I, III, IV) を受講せずとも、単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

木村正俊編『ケルトを知るための65章』明石書店、2018年。  
 フランク・デイレイニー『ケルトの神話・伝説』創元社、2000年。  
 日本ケルト学会編『ケルト学の現在』三元社、2024年。  
 疋田隆康『ケルトの世界：神話と歴史のあいだ』筑摩書房、2022年。  
 ジョン・ヘイウッド『ケルト歴史地図』東京書籍、2003年。  
 ベルンハルト・マイヤー『ケルト事典』創元社、2011年。  
 ジョン・マルカル『ケルト文化事典』大修館書店、2002年。  
 ロイド&ジェニファー・ラング『ケルトの芸術と文明』創元社、2008年。

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修 (予習・復習)

配布資料の講読を予習として90分、講義ノートを用いて原典読解の理解を深める復習を90分とする。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	総説：「ケルト」をめぐる近年の問題動向	小野純一	哲学
2	ブリテン諸島のケルト人	小野純一	哲学
3	ヨーロッパ大陸のケルト人	小野純一	哲学
4	インド＝ヨーロッパ語族とケルト人	小野純一	哲学
5	古代ケルト人の社会	小野純一	哲学
6	ケルト人の宗教	小野純一	哲学
7	ケルト人の神話	小野純一	哲学
8	ジェイムス・マクファーソンと『オシアン作品集』	小野純一	哲学
9	近代ヨーロッパにおける「ケルト」のイメージ	小野純一	哲学
10	まとめ：近年の発見と新たな認識	小野純一	哲学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1119-11	地域文化論Ⅲ	小 野 純 一	1 学 年

○開講時期 [2] 学期 [木・1] 時限 [J]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

この講義はヨーロッパの基礎を形成するゲルマン=北欧の古典エッダおよびサガを学び、またゲルマン=北欧の文化史を紹介するものである。そのことを通して、北欧古代、欧州中世を彩った非キリスト教的なヨーロッパ文化を学ぶことを目的とする。古代ではゲルマン系の人々はスペインやフランス、イタリアにすでに進出し、ヴァイキングはフランス、イタリア、さらにロシアを縦断してアラブやアジア地域、コロンブスより500年も前にアメリカ大陸に到達した。ゲルマン系の言語を話す人々の壮大な活動を確認しながら、その文化的中核をなす神話を学ぶことで、キリスト教化されていないヨーロッパの姿を学ぶことを目的とする。本講義は他の地域文化論 (I, II, IV) を受講せずとも、単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

尾崎和彦『北欧学：構想と主題』北樹出版、2018年。  
角谷英則『ヴァイキング時代』京都大学学術出版会、2006年。  
菅原邦城『北欧神話入門』東京書籍、2024年。  
武田龍夫『北欧を知るための43章』明石書店、2001年。  
武田龍夫『バイキングと北欧神話』明石書店、2005年。  
谷口幸男『エッダとサガ：北欧古典への案内』新潮社、2017年。  
谷口幸男『アイスランド サガ』新潮社、2024年。  
百瀬宏他『北欧史 上下』山川出版社、2022年。

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修 (予習・復習)

配布資料の講読を予習として90分、講義ノートを用いて原典読解の理解を深める復習を90分とする。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	総説：キリスト教以前のヨーロッパとゲルマン=北欧の神話	小 野 純 一	哲 学
2	ゲルマン=北欧の神話の神々と天地創造	小 野 純 一	哲 学
3	神話の主人公たち	小 野 純 一	哲 学
4	神々の黄昏	小 野 純 一	哲 学
5	エッダとサガ、『ニーバルンゲンの歌』	小 野 純 一	哲 学
6	アイスランド、グリーンランドへ	小 野 純 一	哲 学
7	アメリカ大陸の「発見」	小 野 純 一	哲 学
8	英国、北フランスの植民、そして地中海へ	小 野 純 一	哲 学
9	ビザンチン帝国、アラビア、アジアへ	小 野 純 一	哲 学
10	まとめ：近年の発見と新たな認識	小 野 純 一	哲 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1119-12	地域文化論Ⅳ	小 野 純 一	1 学 年

○開講時期 [2] 学期 [水・3] 時限 [1]

○授業形式 講義

○履修定員 [20] 名

○ねらい

この講義では東アジア文化圏を特徴付ける文化的現象を学ぶ。東アジアは漢字文化圏と呼ぶことができ、その生命力溢れる漢字という言語現象の豊かさと広がりを見ることで、私たちは東アジアの精神史や文化誌を縦横無尽に渡り歩くことができる。本来の漢字を敬いながらも単純化を試みたり、複雑な新作文字を生みだしたりしてきた漢字文化圏の人々の生活史、文藝から政治に分け入ることを目指す。例えば、重ね書きで往代の滲みと重層させる書の方法や、身体を書と同化するパフォーマンス書道といった現代の現象にも、古代からの精神性と革新性を読み取ることができる。各地の特徴や独自性、共通性を理解することが本講義の目的である。本講義は他の地域文化論 (I, II, III) を受講せずとも、単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

古賀弘幸『文字と書の世界』工作舎、2017年。

○参考書

井垣清明編他『書の総合事典』柏書房、2010年。

落合淳思『漢字の構造：古代中国の社会と文化』中央公論新社、2020年。

加藤重広編他『日本語文字論の挑戦』勉誠社、2021年。

金文京『漢字を使った文化はどう広がっていたのか』文学通信、2021年。

フロリアン・クルマス『文字の言語学』大修館書店、2014年。

新川登亀男『漢字文化の成り立ちと展開』山川出版社、2002年。

杉浦康平『文字の霊力』工作舎、2014年。

鈴木董『文字と組織の世界史』山川出版社、2018年。

藤堂明保『漢字文化の世界』

○評価の方法

毎回のミニレポートおよび最終レポート

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修 (予習・復習)

配布資料の講読を予習として90分、講義ノートを用いて分析した資料の理解を深める復習を90分とする。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	総説：漢字の発生・文字のありか	古 賀 弘 幸	外 来 講 師
2	漢字の歴史、江戸から東京へ	古 賀 弘 幸	外 来 講 師
3	西夏文字、チュノム、「擬似漢字」	古 賀 弘 幸	外 来 講 師
4	書の歴史 (中国)	古 賀 弘 幸	外 来 講 師
5	空海と「飛白体」	古 賀 弘 幸	外 来 講 師
6	仮名文字、吉祥文字	古 賀 弘 幸	外 来 講 師
7	五感の文字、オノマトペ、文字の霊力	古 賀 弘 幸	外 来 講 師
8	パフォーマンス書道、漢字の呪縛とアート	古 賀 弘 幸	外 来 講 師
9	文字とメディア	古 賀 弘 幸	外 来 講 師
10	まとめ：文字からブックデザインへ	古 賀 弘 幸	外 来 講 師

科目番号	科目名	責任者	学年
L1122-3	対人交流の臨床心理学	佐々木 裕子	1 学年

- 開講時期 [2] 学期 [火・1] 時限 [F]  
[2] 学期 [火・2] 時限 [G]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

臨床心理学とは、個人の心の成長・発達、人格形成、心の健康と病理（心理的不適応）を、その人を取り巻く人間関係（対人交流）から理解し、より適応的で自己実現的であるよう援助するための理論と技法を提供する学問分野です。本授業では、「親子関係」「友達関係」「仲間社会」の3領域の視点から重要概念・社会現象を取り上げて紹介します。これにより、臨床心理学では、人間をどのように理解し、心の健康と病理をどう捉えているのかについて、理解を深めることを目指します。

- 1) 臨床心理学における人間理解の基本的考え方を説明できる
- 2) 親子関係、友達関係、仲間社会にまつわる臨床心理学の重要概念を説明できる
- 3) 様々な社会現象を臨床心理学視点から理解することができる

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

必要に応じてプリントを配布します。

○参考書

授業内にて提示します。

○評価の方法

授業への貢献度（発言と出席状況）、授業レポート及び最終レポートの記入内容から評価します。

○履修上の注意

特になし

○フィードバックの方法

授業レポートにコメントを付けて返却します。

○準備学修（予習・復習）

予習：授業回のキーワードについて調べ、考えたこと疑問に思ったことをまとめてくる（90分）。

復習：返却された授業レポートのコメントに対するリプライとして、新たに調べたこと、考えたこと等をまとめてくる。（90分）。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	オリエンテーション：臨床心理学の定義と専門資格	佐々木 裕子	心理学
2	親子関係にまつわるキーワード（1） -愛着理論と甘え理論-：愛着外傷関連ワード（アダルト・チルドレンAC、毒親、親ガチャ）	佐々木 裕子	心理学
3	親子関係にまつわるキーワード（2） -イマジナリー・コンパニオン-：母子関係とファンタジー	佐々木 裕子	心理学
4	親子関係にまつわるキーワード（3） -メンタライジング-：自己と他者の心の世界を想像する力	佐々木 裕子	心理学
5	友達関係にまつわるキーワード（1） -チャムシップ-：思春期の心の発達	佐々木 裕子	心理学
6	友達関係にまつわるキーワード（2） -MBTIブーム-：性格理解と性格占いの違い	佐々木 裕子	心理学
7	友達関係にまつわるキーワード（3） -ゲーム・ネット依存-：アディクションを理解する	佐々木 裕子 三宅 基治	心理学 外来講師
8	仲間社会にまつわるキーワード（1） -イニシエーション-：大人になるための入会儀礼	佐々木 裕子	心理学
9	仲間社会にまつわるキーワード（2） -自律と自立-：エリクソンの心理・社会的発達段階	佐々木 裕子	心理学
10	仲間社会にまつわるキーワード（3） -サクセスフル・エイジング-：高齢者理解のための生涯発達理論/最終レポート試験	佐々木 裕子	心理学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1122-5	事例から学ぶ心理臨床	佐々木 裕子	1 学年

- 開講時期 [2] 学期 [木・1] 時限 [J]  
[2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

本授業は、心理臨床実践において「心理的不適応（心の問題）」がどのようなものだと考えられているのか、また、カウンセリング（心理療法）では何がどのように行われているのかについて、事例検討ディスカッションを通して理解することを目的とします。本授業により、一般に耳にする不登校や摂食障害、パニック障害やうつ病、発達障害等について、臨床心理学的視点から理解できるようになることで、医学的視点による理解に統合していけることを目指します。

- 1) 心理的不適応（心の問題）事例の臨床心理学的理解の仕方がわかる
- 2) 心理臨床における心理的支援の基本的考え方を説明できる

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

川瀬正裕・松本真理子・松本英夫『心とかかわる臨床心理』ナカニシヤ出版  
その他、必要に応じて資料を配布します。

○参考書

授業内で提示します。

○評価の方法

事例検討ディスカッションへの取り組みと貢献度（発言と出席状況）、事例理解シートの記入内容によって評価します。

○履修上の注意

事例検討ディスカッション中心の授業です。積極的にディスカッションに参加してください。

○フィードバックの方法

事例理解シートにコメントを付して返却します。

○準備学修（予習・復習）

予習：教科書の該当ページを読んで、考えたこと疑問に思ったことをまとめてくる（90分）。

復習：事例理解のための発展学習課題に取り組み、次回の授業レポートにて報告する（90分）。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	心理的不適応事例（1） 情緒的問題による不安・抑うつ事例：事例はるこ（不登校）	佐々木 裕子	心理学
2	心理的不適応事例（2） 情緒的問題が習癖に顕れる事例：事例こうじ（チック）/事例みきお（抜毛）	佐々木 裕子	心理学
3	発達障害事例（1） 学習や適応が問題となる発達障害：事例まもる/事例H.S.（学習障害）	佐々木 裕子	心理学
4	発達障害事例（2） 対人関係が問題となる発達障害：事例かずや（ASD）/事例ともき（ADHD）	佐々木 裕子	心理学
5	愛着障害事例（1） 発達の問題と養育の問題が併存する事例：事例けんじ（発達障害/愛着障害）	佐々木 裕子	心理学
6	愛着障害事例（2） 情緒的養育の問題による発達の遅れ事例：事例みちお（嘔吐）	佐々木 裕子	心理学
7	不安障害事例（1） 情緒的問題が身体症状に現れる事例：事例あつこ（発熱）	佐々木 裕子	心理学
8	不安障害事例（2） 基底不安による不適応事例：事例のりこ（視線恐怖）	佐々木 裕子	心理学
9	人格障害事例（1） 人格形成と摂食の問題事例：事例ゆうこ/事例ふゆみ（摂食障害）	佐々木 裕子	心理学
10	人格障害事例（2） 人格形成と対人関係の問題事例：事例としお/事例ひさし（境界例）	佐々木 裕子	心理学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1123-3	自己理解の心理アセスメント	佐々木 裕子	1 学年

○開講時期 [1] 学期 [火・3] 時限 [A]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 20 (グループ・ワークを実施するため1名のみ場合は開講しない) ] 名

○ねらい

カウンセリング(心理療法)等の心理的支援では、対象者を理解し、どのような心理支援を提供していくかについて検討する作業として心理アセスメントを行います。この心理アセスメントは、その人の心的機能(認知や思考、情動の状態)や、行動傾向(感情表現の仕方や人間関係の築き方)、自己知覚(自分に対する認識)がどのような状態かを理解した上で、その人に適した心理支援を見立てることになります。本授業では、心理検査法を用いたアセスメントについて体験的に理解することを目指します。本授業での学びが、医療現場における心理臨床実践理解の基礎となることを期待します。

- 1) 心理アセスメントと性格占いの違いが分かる
- 2) 心理検査を用いた対象者理解の方法と考え方が説明できる
- 3) 心理検査を医療でどう活かすかがわかる

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

必要に応じてプリントを配布します。

○参考書

氏原寛他編「心理査定実践ハンドブック」創元社  
津川律子「これからの現場で役立つ臨床心理検査 解説編」金子書房

○評価の方法

授業への貢献度(出席含む)、毎回の課題レポートの内容により評価します。

○履修上の注意

実習授業のため、パートナーとの協働作業を積極的に行ってください。

○フィードバックの方法

毎回の課題レポートにコメントを付して返却します。

○準備学修(予習・復習)

予習: 授業で取り上げるアセスメント技法について調べ、疑問をまとめてくる(90分)。

復習: 学習した心理アセスメント技法の医療現場での発展的活用方法を考えてまとめる(90分)。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	心理アセスメントとは: 心的機能のアセスメントと心理検査	佐々木 裕子	心理学
2	心理検査とは: 占い(性格診断テスト)と本物の心理検査の違い	佐々木 裕子	心理学
3	自己評価式性格検査とは: 人格理論に基づいた性格検査と基づかない質問紙検査実習	佐々木 裕子	心理学
4	神経心理学検査とは: 認知症検査(MoCA/MEDE)と記銘力検査実習	佐々木 裕子	心理学
5	知能検査とは: 知能観と知能検査の関係	佐々木 裕子	心理学
6	知能検査実習(実施法): ウェクスラー式知能検査(WAIS)実習	佐々木 裕子	心理学
7	知能検査実習(解釈法): ウェクスラー式知能検査(WAIS)実習	佐々木 裕子	心理学
8	知能検査解釈演習: 知能検査を実施した事例検討	佐々木 裕子	心理学
9	パフォーマンス人格検査とは: 治療的関わりのある描画法(風景構成法)実習	佐々木 裕子	心理学
10	パフォーマンス人格検査解釈演習: 風景構成法を実施した事例検討/最終レポート	佐々木 裕子	心理学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1124-1	カウンセリング実習	佐々木 裕子	1 学年

- 開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]  
[1] 学期 [木・3] 時限 [E]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

本授業では、実際に行われているカウンセリング（心理療法）の中でも、自己表現技法を用いたカウンセリングを体験的に学習します。これにより、①カウンセリングでは、問題解決のための直接的な助言やアドバイスはしないことを理解し、②自己表現技法によるカウンセリングの理論的基盤と基礎技法について学び、③カウンセリングが、こころのケアとして機能するためには何が重要なのか各自の理解を深めることを目指します。本実習での学びが、全人的医療を実践するためのNarrative Based Medicine (NBM) のきっかけとなることを期待します。

- 1) カウンセリング（心理療法）の重要概念を説明できる
- 2) 様々な自己表現技法の基礎技法がわかる
- 3) カウンセリング（心理療法）がこころのケアとして機能する上で重要なことが何かを説明できる
- 4) 全人的医療のためのNarrative Based Medicineの基本的姿勢を習得する

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

授業内で資料を配布します。

○参考書

授業内で提示します。

○評価の方法

毎回の授業で提出するリフレクションシート80%、最終レポート20%により評価します。

○履修上の注意

実習授業であることを自覚した上で、カウンセリング（心理療法）の基本的態度や考え方の習得を目指して受講してください。

○フィードバックの方法

毎回の授業で提出するリフレクションシートにコメントをつけて返却します。

○準備学修（予習・復習）

予習：授業で取り上げる自己表現技法がどのような臨床現場でどのように用いられているか調べてくる（90分）。

復習：授業体験を基にカウンセリングがこころのケアとして機能する上で重要なことは何かまとめる（90分）。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	カウンセリング（心理療法）とは：カウンセリングについてのQ&A	佐々木 裕子	心理学
2	言語的カウンセリング（心理療法）とは：面接法による一般的カウンセリングの事例検討演習	佐々木 裕子	心理学
3	自己表現技法によるカウンセリング（心理療法）とは：様々な表現療法の基礎理論演習とDVD視聴	佐々木 裕子	心理学
4	描画法MSSMとは（1）：描画法解説DVD視聴とMSSM実習	佐々木 裕子	心理学
5	描画法MSSMとは（2）：描画法MSSMの事例検討演習	佐々木 裕子	心理学
6	コラージュ療法とは（1）：コラージュ療法実習	山上 榮子 佐々木 裕子	外来講師学
7	コラージュ療法とは（2）：コラージュ療法の基礎理論と解釈法演習	佐々木 裕子 山上 榮子	外来講師学
8	箱庭療法とは（1）：箱庭療法解説の基礎理論演習とDVD視聴	佐々木 裕子	心理学
9	箱庭療法とは（2）：グループ箱庭療法実習と箱庭療法ロールプレイ実習	佐々木 裕子	心理学
10	箱庭療法とは（3）：箱庭療法の事例検討演習／最終レポート	佐々木 裕子	心理学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1124-2	カウンセリング概論	佐々木 裕子	1 学年

- 開講時期 [2] 学期 [水・1] 時限 [H]  
[2] 学期 [水・3] 時限 [I]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

本授業では、カウンセリング（心理療法）とは一体何なのか、カウンセラーとクライアントとの間で何が行われているのか理解することを目標とします。講義では、主要なカウンセリング（心理療法）理論を概説するだけでなく、実際のカウンセリング事例を取り上げ、ディスカッションを通して検討することで、一般に誤解されているカウンセリングのイメージ（深層心理を読む、心を病んだ人を治療する、助言やアドバイスをする等）を修正し、目の前のクライアントの話を如何に「聴くか」についての理論と技法がカウンセリング（心理療法）であることを理解することを目指します。本授業での学びが、全人的医療を実践するためのNarrative Based Medicine (NBM) のきっかけとなることを期待します。

- 1) 主要なカウンセリング（心理療法）の理論を説明できる
- 2) 助言（アドバイス）することは、カウンセリング（心理療法）とは異なることが説明できる
- 3) 話を聴くための基本的スキルと考え方、態度を習得する
- 4) 全人的医療のためのNarrative Based Medicineの基本的姿勢を習得する

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

窪内節子・吉武光世（共著） やさしく学べる心理療法の基礎 培風館

○参考書

授業内にて提示します。

○評価の方法

授業内ディスカッションへの貢献度と授業で課せられるリフレクションシート70%、最終レポート試験30%によって評価します。

○履修上の注意

自分の考えを言葉にするディスカッションを通して理解を深めていくことを目指しています。積極的にディスカッションしてください。

○フィードバックの方法

リフレクションシートにコメントをつけて返却します。

○準備学修（予習・復習）

予習：教科書の該当ページを読み、授業で取り上げる事例を事前に読んで、疑問点をまとめる（90分）。  
復習：各アプローチでは、人の話の何を“聴こう”としているのか、授業を踏まえて考えをまとめる（90分）。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	カウンセリング（心理療法）とは：カウンセリング（心理療法）の全体像とカウンセラーと精神科医の違い	佐々木 裕子	心理学
2	話しを聴くスキルと基本理念 —マイクロ・カウンセリング技法と動機づけ面接—	佐々木 裕子	心理学
3	体験論的アプローチ（1）—来談者中心療法の事例検討—	佐々木 裕子	心理学
4	体験論的アプローチ（2）—来談者中心療法の基礎理論（自己一致、無条件の肯定的配慮、共感的理解）—	佐々木 裕子	心理学
5	力動論的アプローチ（1）—力動論的アプローチによる事例検討—	佐々木 裕子	心理学
6	力動論的アプローチ（2）—心理療法の基本的プロセスと転移・逆転移関係—	佐々木 裕子	心理学
7	行動論的アプローチ（1）—認知行動療法の事例検討—	佐々木 裕子	心理学
8	行動論的アプローチ（2）—認知行動療法の治療技法と治療プロセス—	佐々木 裕子	心理学
9	システムズ・アプローチ —システム論による家族療法の基礎理論と事例検討—	佐々木 裕子	心理学
10	その他のアプローチ／最終レポート試験	佐々木 裕子	心理学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1140-1	医学古典語 I	小野純一	1 学年

○開講時期 [1] 学期 [水・1] 時限 [B]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

医学用語のうち解剖用語はラテン語語源のものが多いが、一般的な医学用語、すなわち臨床や医学論文で用いられる用語はギリシャ語語源のものが多い。医学古典語は現在の医学における国際語である英語での臓器、身体部位、疾患等について、ギリシャ語およびラテン語由来の表現の構造と意味とをシステムティックに学ぶことを目標とする。具体的には、接頭辞、語根、接尾辞という構成要素を学ぶが、これは漢字における偏と旁を知ることによって語の成り立ちを推測しつつ、効果的に記憶していく方法に類似しているといえる。代表的な接頭辞、語根を学ぶことにより、医学のみならず、一般の英語語彙も飛躍的に増やすことができることを実感していただきたい。また、同時に医学用語の発音とアクセントをしっかり学ぶことで一般的な英語の綴りと発音についてもあらためて学ぶことができる。本講義は、医学古典語 I を履修せずとも、単独で受講可能である。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

G.L.Smith/P.E.Davis『プログラム学習による医学用語の学び方 第2版』裏田武夫訳、医学書院、資料配付

○参考書

適宜プリントを配布する。

○評価の方法

各回でミニテストを行い、その総合点で評価します。

○履修上の注意

医学古典語 I の履修希望者は医学古典語 II も併せて履修することが望ましいが、医学古典語 II を履修せず、本講義のみの受講も可能である。

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修 (予習・復習)

予習として、毎回の単語テストにむけて各自で調べ暗記すること (90分)。

復習として、単語テストで間違えた語彙の他に、授業で新たに学んだ語彙を確認すること (90分)。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
2	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
3	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
4	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
5	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
6	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
7	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
8	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
9	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
10	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1140-2	医学古典語Ⅱ	小野純一	1 学年

○開講時期 [2] 学期 [水・1] 時限 [H]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

医学用語のうち解剖用語はラテン語語源のものが多いが、一般的な医学用語、すなわち臨床や医学論文で用いられる用語はギリシャ語語源のものが多い。医学古典語は現在の医学における国際語である英語での臓器、身体部位、疾患等について、ギリシャ語およびラテン語由来の表現の構造と意味とをシステムティックに学ぶことを目標とする。具体的には、接頭辞、語根、接尾辞という構成要素を学ぶが、これは漢字における偏と旁を知ることによって語の成り立ちを推測しつつ、効果的に記憶していく方法に類似しているといえる。代表的な接頭辞、語根を学ぶことにより、医学のみならず、一般の英語語彙も飛躍的に増やすことができることを実感していただきたい。また、同時に医学用語の発音とアクセントをしっかり学ぶことで一般的な英語の綴りと発音についてもあらためて学ぶことができる。医学古典語ⅡはⅠに引き続いて、より多くの臨床用語、解剖用語を学ぶとともに、基本的な造語要素についての知識の定着を目指す。本講義は、医学古典語Ⅰを履修せずとも、単独で単位認定可能である。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

G.L.Smith/P.E.Davis『プログラム学習による医学用語の学び方 第2版』裏田武夫訳、医学書院、資料配付

○参考書

適宜プリントを配布する。

○評価の方法

各回でミニテストを行い、その総合点で評価します。

○履修上の注意

医学古典語Ⅱの履修希望者は医学古典語も併せて履修することが望ましいが、医学古典語Ⅰを履修せず、本講義のみの受講も可能である。

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

予習として、毎回の単語テストにむけて各自で調べ暗記すること（90分）。

復習として、単語テストで間違えた語彙の他に、授業で新たに学んだ語彙を確認すること（90分）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
2	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
3	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
4	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
5	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
6	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
7	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
8	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
9	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学
10	医学用語の語義と造語法、発音	小野純一	哲 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 1 5 0	高齢社会論	青 山 泰 子	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [水・5] 時限 [C]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

高齢化が進む社会で何が起きているのか。この講義では、介護問題に加え、高齢者を対象とした施設やサービス、住まい方、看取りの問題など、医師として必要な高齢社会の基礎知識を得る。また介護食や高齢者疑似体験、自助具の操作などの体験実習を通して、高齢者との接し方や配慮すべきポイントを自らの経験の中で学ぶ。高齢化が進む地域社会におけるリーダーには、住民の生活の実態に基づき、多職種と連携しながら、保健・医療・福祉をトータルでとらえる力が求められる。超高齢社会に医師としてかかわる学生たちに、今必要とされる知識と技術を吸収して、将来リーダーシップを発揮してほしい。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

特に指定はせず、毎回資料を配布する。

○参考書

自治医科大学監修，地域医療テキスト，医学書院，2009. 令和6年版 高齢社会白書.

○評価の方法

授業中の課題、体験レポート、受講態度により総合的に評価する。

○履修上の注意

体験実習は、変則的な日程で実施される場合があるので、その都度指示をよく確認すること。

○フィードバックの方法

授業全体を通じて、学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

一部メディア授業を活用して、準備学修を行う。（予習60分、復習120分）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	超高齢社会の変動と現状	青 山 泰 子	社 会 学
2	高齢者と介護問題 —介護食体験—	青 山 泰 子	社 会 学
3	高齢者の生活と福祉施設 —認知症を考える—	青 山 泰 子	社 会 学
4	福祉サービスの種類と特性 —自助具に触れる—	青 山 泰 子	社 会 学
5	高齢期の住まい方 —フレイルに対応する—	青 山 泰 子	社 会 学
6	看取りを考える	青 山 泰 子	社 会 学
7	高齢者疑似体験（1）	青 山 泰 子	社 会 学
8	高齢者疑似体験（2）	青 山 泰 子	社 会 学
9	高齢社会を支える仕組み —地域包括ケアを考える—	青 山 泰 子	社 会 学
10	講義と体験実習の振り返り、補足と総括	青 山 泰 子	社 会 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 1 5 1	社会を診る方法	青 山 泰 子	1 学 年

- 開講時期 [1] 学期〔火・3〕時限〔A〕  
[2] 学期〔木・1〕時限〔J〕

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

世の中には、さまざまな情報が溢れていて、私たちは日常的にそれを取捨選択して生活している。正当な調査手続きを踏んだ信頼性の高い情報もあるが、中にはかなり怪しいものもある。この講義は、溢れる情報に疑いの目を持ち、多角的な観点から社会を診断する目を養う。前半の授業では、さまざまな情報の基になる社会調査の基礎を学びつつ、思い込みを捨て、因果関係を考えるトレーニングを行う。後半では、実際に起きた事件、社会現象、歴史上の出来事を素材として、報道のされ方、映像が持つ力、情報が我々に与える影響力の考察を通して、的確な状況判断に基づいて行動する力を養う。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

特に指定はせず、毎回資料を配布する。

○参考書

「情報社会に生きる」医と知の航海, 永井良三監修, 自治医大総合教育編, 西村書店, 2016.  
新・社会調査へのアプローチ: 論理と方法, 大谷信介 他 編, ミネルヴァ書房, 2013.  
メディアは私たちを守るか?, 木村朗編著, 凱風社, 2007.

○評価の方法

授業中の課題の合計、受講態度により総合的に評価する。

○履修上の注意

特になし

○フィードバックの方法

提出課題に対して、授業で学生に講評する。

○準備学修 (予習・復習)

一部メディア授業を活用して、準備学修を行う。(予習60分、復習120分)

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	社会を診る ー情報の取捨選択ー	青 山 泰 子	社 会 学
2	思い込みを捨てる	青 山 泰 子	社 会 学
3	因果関係を考える	青 山 泰 子	社 会 学
4	社会調査の基礎 ー種類と方法ー	青 山 泰 子	社 会 学
5	量的質的データの特質と扱い方	青 山 泰 子	社 会 学
6	報道のされ方を考える	青 山 泰 子	社 会 学
7	社会的ネットワークと対人関係	青 山 泰 子	社 会 学
8	映像が持つ力	青 山 泰 子	社 会 学
9	人間の営みを診る・伝える	青 山 泰 子	社 会 学
10	データを扱う者の責務と心構え	青 山 泰 子	社 会 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 1 5 3	医療人類学	田 中 大 介	1 学 年

- 開講時期 [1] 学期 [木・3] 時限 [E]  
[2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

医療人類学とは文化人類学における下位領域の一つであり、疾病や健康に関する社会－文化的側面を扱うものとして位置づけられる。一方で医療人類学の研究対象は極めて多岐にわたり、たとえば各地の社会における民間療法的な実践から最先端の医療テクノロジーをめぐる動向に至るまで射程に含むことに加えて、「病い」の概念や医療の制度的変遷など広汎な問題群に関心が向けられている。これらの学術的傾向を踏まえて、この授業ではまず医療人類学の統一的な輪郭を象る基礎知識を学び、さらに現代の医療をめぐる個別の問題をケース・スタディとして議論しながら、特に今後の地域医療にとって必要不可欠とも言える人類学的視座の獲得を目指す。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

なし。毎回の授業で資料を配布する。

○参考書

なし。必要のある場合は、別途指示する。

○評価の方法

質疑応答・ディスカッション・課題・レポートなどによって総合的に評価を行う。

○履修上の注意

全ての回に出席することを評価の前提とする。無断欠席や遅刻などを含め、履修する意欲と態度の欠如がみられる場合は成績評価を行わないため十分に注意すること。

○フィードバックの方法

毎回の授業で課題を実施し、その内容を次回の授業中に講評することを通じて知見を共有する。

○準備学修（予習・復習）

次回授業の内容として予定されている題材に関して文献・論文・報道その他の多面的な情報収集を行い、合わせて授業で論じられた議論の内容を振り返りながら最新の関連動向を精査する（予習90分・復習90分）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	医療とケアの概念	田 中 大 介	文化人類学
2	医療とコミュニケーション（1）	田 中 大 介	文化人類学
3	医療とコミュニケーション（2）	田 中 大 介	文化人類学
4	医療とコミュニケーション（3）	田 中 大 介	文化人類学
5	ライフコースの視座	田 中 大 介	文化人類学
6	健康と病い（1）	田 中 大 介	文化人類学
7	健康と病い（2）	田 中 大 介	文化人類学
8	医師と患者の関係性（1）	田 中 大 介	文化人類学
9	医師と患者の関係性（2）	田 中 大 介	文化人類学
10	医療と社会保障	田 中 大 介	文化人類学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1154	異文化理解入門	田中大介	1学年

- 開講時期 [1] 学期 [火・3] 時限 [A]  
 [1] 学期 [水・1] 時限 [B]  
 [1] 学期 [水・5] 時限 [C]  
 [2] 学期 [火・1] 時限 [F]  
 [2] 学期 [火・2] 時限 [G]  
 [2] 学期 [水・1] 時限 [H]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 10 ] 名

○ねらい

異文化理解は如何にして可能か、その基本的な見方を考えるのが本講義の目的である。また、本講義は「医療人類学」「文化人類学概論」「社会学概論」などへの入門講義という意味も持つ。講義は「文化」にはどのような定義がなされているのかという枠組みづくりから始め、異文化の事例（アフリカ、アラブ、アジア、北米先住民等）を使いながら、「文化」について多様なものの見方の基礎を学んでいく。その過程で、学生自身が「文化」についてそれぞれの答えを出していくこと、さらには異文化の理解を妨げる「自文化」の存在とその影響力に目を向けて自分の所属する「文化」を相対的に捉えることを目指す。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

なし。毎回の授業で資料を配布する。

○参考書

渥美一弥『「共感」へのアプローチ：文化人類学への第一歩』（春風社）

○評価の方法

全講義出席を前提として、授業中の発言内容や積極性を基にテイクホーム試験の結果と総合して評価する。

○履修上の注意

C（1学期・水曜日・5時限）のみ田中が担当し、その他の時間割は渥美が担当する予定である。

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

授業に関連する内容について独自に資料を探し、理解に努める（予習90分、復習90分）。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	「文化」の定義	渥田 美中 一大 弥介	外来人講師学 文化人類学
2	「文化」と言語の関係	渥田 美中 一大 弥介	外来人講師学 文化人類学
3	ジェンダーと「文化」	渥田 美中 一大 弥介	外来人講師学 文化人類学
4	婚姻と「文化」	渥田 美中 一大 弥介	外来人講師学 文化人類学
5	通過儀礼について	渥田 美中 一大 弥介	外来人講師学 文化人類学
6	「文化」と「自然」「環境」について	渥田 美中 一大 弥介	外来人講師学 文化人類学
7	「文化」とシンボル	渥田 美中 一大 弥介	外来人講師学 文化人類学
8	「文化」の機能主義的理解と構造主義的理解	渥田 美中 一大 弥介	外来人講師学 文化人類学
9	他者を「シンボル化」・「記号化」とはどのようなことか	渥田 美中 一大 弥介	外来人講師学 文化人類学
10	「文化」と病・死について	渥田 美中 一大 弥介	外来人講師学 文化人類学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1155	社会学概論	田中大介	1学年

- 開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]  
[2] 学期 [木・1] 時限 [J]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 10 ] 名

○ねらい

社会学の基礎用語を紹介しながら、社会学のものの見方の基本を理解していくのが本講義の目標である。社会学者バーガーによれば、社会学は自分の生きている社会にある諸制度の「当たり前」を「暴き出すこと」または「仮面をはがすこと」という「暴露戦略」にある。ここでいう暴露戦略とは、我々が日常無意識に「当たり前」として「世界」を見ているその見方を分解・解体して、その成立のメカニズムを理解することを意味している。言い換えれば、「常識」を相対化することを目指しているのである。そこで、ここでは「権力」というキーワードの基に事例を紹介していく。ここで言う「権力」とは、いわゆる国家権力といった具体的な事柄ではなく、「他人の意思を無視してまでも自分の意思を貫き通そうとするあらゆる可能性」ということとしておく。授業では、参加者と共にさまざまな事例について話し合いながら、それぞれがこれまで自明としていた事柄に関する「気づき」を積み重ね、人間と社会もしくは自己自身を新たに理解し直すことを試みる。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

なし。毎回の授業で資料を配布する。

○参考書

なし。必要のある場合は、別途指示する。

○評価の方法

全講義出席を前提として、授業中の発言内容や積極性を基にテイクホーム試験の結果と総合して評価する。

○履修上の注意

講義の初日に参考文献一覧表を配布する。

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

授業に関連する内容について独自に資料を探し、理解に努める（予習90分、復習90分）。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	「権力」とは何か？日本の事例を通して	渥美一弥	外来講師
2	人間関係における「構造」とは何か？	渥美一弥	外来講師
3	「地位」と「役割」	渥美一弥	外来講師
4	「交換」と人間関係について	渥美一弥	外来講師
5	「象徴」と意味について（言語と人間、民族と宗教）	渥美一弥	外来講師
6	「権力」と「権威」（社会学は権力をどう捉えてきたか）	渥美一弥	外来講師
7	「階級」「階層」「身分」（一見権力者よく見ると服従者）	渥美一弥	外来講師
8	「合理化」とは（「時間」と「人間」）	渥美一弥	外来講師
9	「学校」と社会（教育と権力について）	渥美一弥	外来講師
10	「医療」と社会（普通であることの権力性）	渥美一弥	外来講師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 1 5 6	文化人類学概論	田 中 大 介	1 学 年

○開講時期 [2] 学期 [水・3] 時限 [1]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

我々は誰しも自分のことは自分が最もよく知っていると思いがちだが、自分という存在がどのような文化のなかで生きてきたかを省みる機会は少ない。だからこそ我々は「自己・自文化」と「他者・異文化」の間をつなぐ思考をどこかの時点で築き上げておく必要があり、同時にその思考は今後の地域医療を担う者にとって重要な資質でもある。この目論見に沿って、本授業では人間・社会・文化を深く見つめていくための視点と知識を、文化人類学の基礎理論や各地の文化的事象を通じて獲得することを目指す。また、学説史の理解なども重視するが、知識の摂取だけを重視するのではなく、文化人類学の流儀と技法を応用していくためのケース・スタディも盛り込む予定であり、全10回を通じて「自文化と異文化」を往復できる実践的な視点を深めていく。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

なし。毎回の授業で資料を配布する。

○参考書

なし。必要のある場合は、別途指示する。

○評価の方法

質疑応答・ディスカッション・課題・レポートなどによって総合的に評価を行う。

○履修上の注意

全ての回に出席することを評価の前提とする。無断欠席や遅刻などを含め、履修する意欲と態度の欠如がみられる場合は成績評価を行わないため十分に注意すること。

○フィードバックの方法

毎回の授業で課題を実施し、その内容を次回の授業中に講評することを通じて知見を共有する。

○準備学修（予習・復習）

次回授業の内容として予定されている題材に関して文献・論文・報道その他の多面的な情報収集を行い、合わせて授業で論じられた議論の内容を振り返りながら最新の関連動向を精査する（予習90分・復習90分）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	人間・社会・文化	田 中 大 介	文 化 人 類 学
2	文化人類学とは何か（1）	田 中 大 介	文 化 人 類 学
3	文化人類学とは何か（2）	田 中 大 介	文 化 人 類 学
4	文化人類学の黎明期	田 中 大 介	文 化 人 類 学
5	新進化主義	田 中 大 介	文 化 人 類 学
6	フィールドワークの神様と呼ばれた男	田 中 大 介	文 化 人 類 学
7	機能主義のひろがり	田 中 大 介	文 化 人 類 学
8	構造主義と人間観	田 中 大 介	文 化 人 類 学
9	自文化／異文化の理解に向けて	田 中 大 介	文 化 人 類 学
10	まとめ	田 中 大 介	文 化 人 類 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 1 5 7	医療と民俗学	菊 地 元 史	1 学 年

○開講時期 [2] 学期 [火・1] 時限 [F]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

日本人はいかに病と向き合ってきたのか、日本民俗学でこれを理解しようとするのが本講義の目的である。講義は民俗学の入門からはじまり、医療と民俗学のあゆみ、そしてこれまで、日本人が病に対してどのような民俗的想像力をもって接し、対処してきたかを通観する。民俗学は、自己内省の学ともされる。そしてその資料収集には、医師の問診同様、話者との対面調査という手法が用いられる。自らの立ち位置を知り、互いの信頼関係のなかで、はじめて理解しうることが多い学問でもある。各自が民俗学を通して、自分の足もとを見つめ直し、他との共通理解を深めることができることをめざす。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

毎回の授業で資料を配布する。

○参考書

授業の中で提示する。

○評価の方法

出席、受講態度、およびレポート

○履修上の注意

特になし。

○フィードバックの方法

提出された課題に対して総評をする。

○準備学修（予習・復習）

授業で提示する資料を用い、各自の興味を基づいた発展学習をする（3時間相当）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	「来るな」と「出て行け」	立 石 尚 之	外 来 講 師
2	民俗学とはどんな学問か	立 石 尚 之	外 来 講 師
3	民俗文化の分類と内容	立 石 尚 之	外 来 講 師
4	医療と民俗学のあゆみ	立 石 尚 之	外 来 講 師
5	病を見るまなざし	立 石 尚 之	外 来 講 師
6	疫神よ去れ	立 石 尚 之	外 来 講 師
7	河童の伝授した薬	立 石 尚 之	外 来 講 師
8	祈願と医療	立 石 尚 之	外 来 講 師
9	絵にあらわして見ること	立 石 尚 之	外 来 講 師
10	病や悪しきものとのつきあい方	立 石 尚 之	外 来 講 師

科目番号	科目名	責任者	学年
L1158-3	国際社会論	山邊 昭 則	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [木・3] 時限 [E]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

地域社会と国際社会は一見距離のあるテーマと捉えられる傾向がありますが、国際的概念への理解を深めることにより、両者の連続性を見渡せる視界が広がります。例えば、“Think globally, act locally”（地球規模で考え、足元から始めよう）、国連を中心に国際社会が目指すSDG3 “Good health and well-beings”（全ての人々に健康と福祉を）、医学領域では、“UHC: Universal health coverage”（全ての人々が、適切な予防、治療、リハビリ、緩和ケア等の必要な保健医療サービスを、各種障壁なく受けられる状態）等はその象徴といえます。本授業では、国際社会の様々な概念と事例への理解を深めることにより、自らの世界観を広げ、新しい時代の医師として主体的に社会へ貢献していくマインドを育みます。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

特に指定しない。

○参考書

視聴覚資料を含め、授業のなかで多数紹介する。

○評価の方法

フィードバックと受講姿勢の総合的評価。

○履修上の注意

本授業は、国際医療そのものを扱うものではなく、国際社会の新しい潮流への理解を深めることで、日本の持続可能な医療と社会への示唆を得ることを目的とします。（国際医療そのものは他の学習機会の探索を推奨します。）

○フィードバックの方法

全体講評、個別質問への対応等。

○準備学修（予習・復習）

各回のテーマの事前調査（90分）と事後考察（90分）を行う。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	授業の進め方、受講の留意事項等	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
2	国際社会の現況	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
3	国連憲章とSDGs	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
4	国連と専門機関	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
5	NGO / NPO	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
6	国際社会とメディア	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
7	Universal Health Coverage	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
8	記録映像とともに考える	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
9	国際社会と地域社会の連続性	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
10	授業全体のまとめ	山 邊 昭 則	学生生活支援センター

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1158-7	学術と社会	山 邊 昭 則	1 学 年

○開講時期 [2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

大学教育の新しい国際潮流の一つに、学術と社会との関係、学術の社会的影響等を学ぶことが挙げられます。複雑に構成される現代社会の様々な事象を、多角的に考察し、適切に判断し、行動へと移していくマインドを育むものともいえます。本授業では、科学技術、法律、メディアの3つのユニットを柱とし、その学びを深めます。必要に応じて、実務家による話題提供の機会を設けます。それらを通じ、新しい時代状況へ適切に対応し得る医師として社会貢献していく基盤となる広い視野と素養を身につけます。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

特に指定しない。

○参考書

視聴覚資料を含め、授業のなかで多数紹介する。

○評価の方法

フィードバックと受講姿勢の総合的評価。

○履修上の注意

特になし。

○フィードバックの方法

全体講評、個別質問への対応等。

○準備学修 (予習・復習)

各回のテーマの事前調査 (90分) と事後考察 (90分) を行う。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	授業の進め方、受講の留意事項等	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
2	"Society 5.0"と新しい地域医療	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
3	科学的知見の創出のプロセス	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
4	研究倫理を身につける	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
5	学生生活と法	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
6	リーガルマインドを身につける	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
7	フェイクニュース	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
8	番組制作とその背景	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
9	地域社会とメディア	山 邊 昭 則	学生生活支援センター
10	授業全体のまとめ	山 邊 昭 則	学生生活支援センター

科目番号	科目名	責任者	学年
L1159	医師としての社会学	宮道亮輔	1学年

○開講時期 [1] 学期 [水・5] 時限 [C]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

医学生としての学習や実習、卒業して医師になってからの初期研修、専門医や学位、その後の進路など、医師には特有のシステム・風習がある一方で、その場に直面しないと内容が伝わってきませんでした。国内外の様々な制度や調査を元に、医師人生の様々な場面について知り、ディスカッションを通して今後の考え方の基盤を作ってもらいます。非社会学者の医学者・教育工学者がお届けする当事者研究としての「医師アタマのつくり方」です。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

なし（適宜資料を配布します）

○参考書

尾藤 誠司編『医師アタマ 医師と患者はなぜすれ違うのか？』（医学書院）

○評価の方法

出席+レポート（60点）講義中の適切な発言（40点）

○履修上の注意

ある程度の自己開示を伴います。

○フィードバックの方法

レポートへの講評

○準備学修（予習・復習）

資料の下調べをする（予習150分、復習30分）

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	大学での学習	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
2	初期研修	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
3	診療科（専門科）の選択	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
4	専門医	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
5	研究（学会・学位）	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
6	医局	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
7	へき地医療と地域医療	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
8	進路	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
9	医療とカネ	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
10	まとめ	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター

科目番号	科目名	責任者	学年
L1161	応用倫理学	小野純一	1学年

- 開講時期 [1] 学期〔水・5〕時限〔C〕  
[2] 学期〔水・3〕時限〔I〕

○授業形式 講義

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

この講義は応用倫理学を主題とし、現代社会において出現してきた判断困難な倫理的問題をどう考え、どう判断し、どう行動するべきかを検討するものである。政府による「要請」は法的義務か、他者への危害を防ぐ倫理的行為か、自己利益か、道徳的・倫理的義務か。同じように、自ら死を選ぶことは自己利益か、自由か、個人を超えて社会的・倫理的問題にならないのか。常に誤謬の可能性が否定できない人間の判断によって、死刑を決定できるのか、死を与えることは罰ではない場合に、その判断は法的妥当性があるのか。このような社会的で実践的な問題を論じることで、普段の生活において倫理的判断・行動が社会の維持、個々の生命の維持を支えていることを理解し、知見を深めることが求められる。そのために、本講義では具体的な問題を取り上げ、その理解と対処に限定して関連する倫理理論の基礎を紹介する。目的は、日常で出会う倫理的問題に学問的な態度で臨む姿勢を身につけることである。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

赤林朗他『入門・医療倫理：公衆衛生倫理 I～III』勁草書房、2007～2017年。  
枝廣淳子『アニマルウェルフェアとは何か：倫理的消費と食の安全』岩波書店、2018年。  
久保田さゆり『動物のもつ倫理的な重み』勁草書房、2024年。  
児玉聡『実践・倫理学』勁草書房、2020年。  
スコット・ジェイムズ『進化倫理学入門』名古屋大学出版会、2018年。  
ピーター・シンガー『私たちはどう生きるべきか』筑摩書房、1995年。  
田上孝一『はじめての動物倫理学』集英社、2021年。  
田中美穂他『終の選択：終末期医療を考える』勁草書房、2017年。  
團藤重光『死刑廃止論 第六版』有斐閣、2000年。  
盛永審一郎他『いまを生きるための倫理学』丸善出版、2019年。

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

配布資料で予習90分、講義ノートを用いて原典の理解を深める復習90分を行うこと。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	善、自由、公共性	山 川 仁	外 来 講 師
2	死刑	山 川 仁	外 来 講 師
3	嘘をつくこと、約束を破ること	山 川 仁	外 来 講 師
4	自殺と安楽死	山 川 仁	外 来 講 師
5	他者危害、喫煙の自由	山 川 仁	外 来 講 師
6	肉食主義	山 川 仁	外 来 講 師
7	善を行う義務	山 川 仁	外 来 講 師
8	善を行う動機	山 川 仁	外 来 講 師
9	災害時の倫理	山 川 仁	外 来 講 師
10	法と道徳	山 川 仁	外 来 講 師

科目番号	科目名	責任者	学年
L1162	公共倫理学	小野純一	1学年

- 開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]  
[2] 学期 [木・1] 時限 [J]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

この講義は、社会契約説に焦点を当て、公共性の概念の生成、発展、現在の議論を通覧するものである。このことを通して、いかなる問題意識によって現代社会の倫理学的基礎が築かれてきたのか、そしてそれは現在、いかなる問題を抱え、いかにして対処しようとしているのかを学び、共に考えることを目的とする。従って、本講義はあくまで倫理学として公共性に関する理論的思考を扱う。現代社会は功利主義によって基礎付けられているが、ロールズやサンデルによれば、功利主義は社会の原理とはなり得ず、社会契約説こそが求められる。経済の分配・公正と貧困・飢餓の研究（アマルティア・セン）やリベタリアニズムからの批判（ロバート・ノージック）を理解するにも、社会契約説の基礎を理解する必要がある。そこで社会契約の系譜をたどり、その原理の倫理学的基礎についての確固たる見識を持つこと、公共性への広く深い理解を獲得することが目指される。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

宇佐美誠他『正義論：ベーシックからフロンティアまで』法律文化社、2019年。

児玉聡『功利主義入門：はじめての倫理学』筑摩書房、2012年。

重田園江『社会契約論』筑摩書房、2013年。

品川哲彦『倫理学入門：アリストテレスから生殖技術、AIまで』中央公論新社、2020年。

ミノーシュ・シャフィク『21世紀の社会契約』東洋経済新報社、2021年。

フィリップ・スコフィールド『ベンサム：功利主義入門』慶應義塾大学出版会、2013年。

鈴木健『なめらかな社会とその敵』筑摩書房、2022年。

関谷昇『近代社会契約説の原理』東京大学出版会、2003年。

デイヴィッド・バウチャー『社会契約説の系譜：ホブズからロールズまで』ナカニシヤ出版、1997年。

ミランダ・フリッカー『認識的不正義』勁草書房、2023年。

森村進『正義とは何か』講談社、2024年。

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

配布資料の講読による予習90分、講義ノートを用いて原典の理解を深める復習90分を行う。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	ホブズ：近代的な契約論の始まり	山 川 仁	外 来 講 師
2	ジョン・ロック：社会契約と政治人類学との対抗	山 川 仁	外 来 講 師
3	ヒューム：契約論批判	山 川 仁	外 来 講 師
4	ルソー：社会契約、近代のリヴァイアサン	山 川 仁	外 来 講 師
5	カント：新たな社会契約の理論	山 川 仁	外 来 講 師
6	ヘーゲル：社会契約論批判	山 川 仁	外 来 講 師
7	マルクス：さらなる社会契約批判	山 川 仁	外 来 講 師
8	ゴータイエ：契約論的道德性	山 川 仁	外 来 講 師
9	ロールズの格差原理と公正（社会的正義）	山 川 仁	外 来 講 師
10	ノージックとナーヴソン：現在の議論	山 川 仁	外 来 講 師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 1 6 3	実践倫理学	小 野 純 一	1 学 年

- 開講時期 [1] 学期 [木・3] 時限 [E]  
[2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

この講義は倫理的知見を実践するために確固たる見識を獲得することを目的とする。具体的な問題として、笑いを考察対象にする。笑いは嘲り・侮り・抑圧・懲罰にもなり、その力を覆すことにもなる。このことは、道徳・個人間の関係においても、また演劇や落語、漫才、テレビ番組、広告の社会性においても、道徳・倫理が求められることを意味する。極めて日常的であり、生活に不可欠の要素でもある笑いを起点とすれば、倫理の必要性を自分の問題や社会の問題として捉え、問題の重大さに気づくことも容易い。本講義はこういった理由から、笑いを観点として、何が道徳・倫理的に許され、評価され、あるいは許されないのか、〈倫理的に許容されること〉と〈倫理的に許容されないこと〉の境界は何を基準にし、どこに分水嶺があるのかを見極める練習を行うものであり、なおかつ倫理的な判断を実践するとはいかなることか考察するものである。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

配布資料

○参考書

岡田米蔵『広告倫理の行動原論：進化する応用倫理と「ふるまい」』三省堂書店／創英社、2021年。

河盛好蔵『エスプリとユーモア』岩波書店、1969年。

木村覚『笑いの哲学』講談社、2020年。

小林章夫『イギリス紳士のユーモア』講談社、2003年。

ジャン＝リュック・ジリボン『不気味な笑い：フロイトとベルクソン』筑摩書房、2010年。

田河水泡『滑稽の研究』講談社、2016年。

中山元『わたしたちはなぜ笑うのか』新曜社、2021年。

成川武夫『芭蕉とユーモア：諧謔性の哲学』玉川大学出版部、1999年。

マシュー・M・ハーレー他『ヒトはなぜ笑うのか』筑摩書房、2015年。

マイケル・ビリック『笑いと嘲り：ユーモアのダークサイド』新曜社、2011年。

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

配布資料の講読を予習として90分、講義ノートを用いて原典読解の理解を深める復習を90分行う。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	ポジティブ・ユーモアを考察する	山 川 仁	外 来 講 師
2	トマス・ホップズ：嘲り、笑いへの疑惑	山 川 仁	外 来 講 師
3	ジョン・ロック：ウィット、紳士的な笑い	山 川 仁	外 来 講 師
4	スペンサー：笑いの進化	山 川 仁	外 来 講 師
5	ベルクソン：ユーモア、滑稽、奇妙	山 川 仁	外 来 講 師
6	フロイト：ジョーク、ウィット、反逆、懲罰	山 川 仁	外 来 講 師
7	レトリックとしての笑い	山 川 仁	外 来 講 師
8	善を行う動機	山 川 仁	外 来 講 師
9	笑い和社会秩序	山 川 仁	外 来 講 師
10	笑いの倫理学：差別、バイアス、暴力	山 川 仁	外 来 講 師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 1 7 0	文学的探索	吹 田 映 子	1 学 年

- 開講時期 [1] 学期 [水・5] 時限 [C]  
[2] 学期 [火・1] 時限 [F]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 5 ] 名

○ねらい

作曲家・ピアニストの高橋悠治（1938-）のエッセイを読みます。高橋は演奏不可能とされた現代音楽の難曲を弾きこなす超絶的ピアニストとしてデビューし、1960年代はヨーロッパとアメリカでコンピュータプログラムによる作曲を研究、日本に戻ると世界各地の民衆抵抗歌を演奏する「水牛楽団」を結成して社会運動にもコミットした後、今現在も活発な作曲・演奏活動を続けています。彼の書く言葉の流れは主に音・演奏・音楽についての考察から発しつつ、身体と精神、個人と社会、時間と空間といった、人間がその中に閉じ込められている基本的図式をその発生状態にまで還して読者を開放してゆくような、比類ない力を帯びています。いくつかの文章を読むことで、その力を感じ取ることができればと思います。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

テキストを配布します。

○参考書

高橋悠治の本：『カフカ／夜の時間』（晶文社，1989=みすず書房，2011）

『音の静寂 静寂の音』（平凡社，2004）

『きっかけの音楽』（みすず書房，2008）

『カフカノート』（みすず書房，2011）

その他 ネット月刊誌『水牛』にて毎月エッセイを連載中（[https://suigy.com/yuji\\_takahashi/](https://suigy.com/yuji_takahashi/)）

○評価の方法

授業時の読解への参加、期末レポート

○履修上の注意

講師は音楽については無知です。音楽についてなにか専門的知識を得られる授業ではないので、悪しからず。

○フィードバックの方法

期末レポートにはコメントをお返しします。

○準備学修（予習・復習）

（予習）配布されたテキストを読んでくる。（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	テキストを読む	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
2	テキストを読む	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
3	テキストを読む	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
4	テキストを読む	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
5	テキストを読む	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
6	テキストを読む	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
7	テキストを読む	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
8	テキストを読む	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
9	テキストを読む	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
10	テキストを読む	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 1 7 1	ジェンダー文化論	吹 田 映 子	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [水・5] 時限 [C]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

性にも多様性があることを認め、性的マイノリティが生きやすい社会の実現を目指そうという風潮が高まってきています。LGBTQやジェンダー平等といった言葉に触れる機会も多いのではないのでしょうか。とはいえ、私たちの日常を振り返ってみると、男/女という区別やそれに基づく序列は相変わらず強固に存在し、あたかもそれが絶対的なものであるかのように意識させられる機会は少なくありません。この授業では、皆さんが日頃親しんでいるであろう文化事象を取り上げ、その中に織り込まれた性差にまつわるメッセージを読み解きます。「女はこうあるべき」「男とはこういうものである」といった固定観念（ジェンダー規範）は過去の産物ではなく、私たちは今なおそうしたメッセージに晒され続けているのです。この授業を通して、文化事象を批判的に分析する視座と高度な読解力を身につけましょう。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

自己決定の尊重と個人情報保護

○教科書

資料を配布します。

○参考書

加藤秀一『ジェンダー入門』朝日新聞社

若桑みどり『お姫様とジェンダー』ちくま新書

平野獅子『女ことばってなんなのかしら?』河出新書

レベッカ・ソルニット『説教したがる男たち』左右社

ペク・ソルフィ、ホン・スミン『魔法少女はなぜ世界を救えなかったのか?』晶文社

○評価の方法

出席、発言、提出物（期末レポート含む）

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

授業中に講評する。

○準備学修（予習・復習）

授業中に抱いた違和感を大切に、疑問点を明確にしておく（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	ジェンダーとは何か	吹 田 映 子	文 学
2	主人公はどんな人？ —「白雪姫」「シンデレラ」に描かれた女性像（1）	吹 田 映 子	文 学
3	敵はなぜいつも意地悪な継母なのか —「白雪姫」「シンデレラ」に描かれた女性像（2）	吹 田 映 子	文 学
4	ディズニー・プリンセスの変遷とフェミニズムの歴史 — 一家父長制的ハッピー・エンドからの脱却	吹 田 映 子	文 学
5	女に対する過剰な期待 — 「アナと雪の女王」がうっとしい？	吹 田 映 子	文 学
6	身近なものを分析してみよう	吹 田 映 子	文 学
7	ディズニーは男性像を描いたことがあるか	吹 田 映 子	文 学
8	まなざしの非対称性	吹 田 映 子	文 学
9	男装はOKで女装はNG？ — 「ムーラン」から考える	吹 田 映 子	文 学
10	女性像は金の生る木か — 資本主義とジェンダー	吹 田 映 子	文 学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1172	モダン・アート考	吹田映子	1学年

○開講時期 [2] 学期 [水・3] 時限 [1]

○授業形式 講義

○履修定員 [20] 名

○ねらい

19世紀後半から20世紀前半にかけて、西洋絵画は幅広い様式を生み出した。それ以前と大きく異なるのは、遠近法による三次元的な空間表現が後退し、キャンバスの平面性を露呈させるような表現が主流となったことだ。林檎は林檎であることをやめ、赤い色と円形に還元されるといったように、既存の現実に従属しない、新しい絵画表現の可能性が追究された。本講義ではこの大きな流れを確認しつつ、林立した「～主義」のそれぞれの特徴と、画家によっても大きく異なる表現の多様性を知り、そこで何が問われているかを考える。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

なし

○参考書

三浦篤『まなごしのレッスン 2 西洋近現代絵画』東京大学出版会

○評価の方法

議論への参加、発言内容、課題への取り組みを総合的に評価する。

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

授業中に講評する。

○準備学修（予習・復習）

授業中に触れてわからなかった語彙や気になる画家についてなど、各人の関心に沿って予習・復習をおこなう（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	リアリズム	吹田映子	文学
2	印象派	吹田映子	文学
3	ポスト印象派	吹田映子	文学
4	フォーヴィスム	吹田映子	文学
5	キュビスム	吹田映子	文学
6	未来派	吹田映子	文学
7	表現主義	吹田映子	文学
8	抽象	吹田映子	文学
9	シュルレアリスム	吹田映子	文学
10	まとめ	吹田映子	文学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1173	文学への誘い	吹田映子	1学年

- 開講時期 [1] 学期 [火・3] 時限 [A]  
[2] 学期 [火・2] 時限 [G]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 5 ] 名

○ねらい

20世紀のフランスの小説家アンドレ・ドテル (André Dhôtel, 1900-1991) の短編を読みます。ドテルは日本ではほとんど無名ですが、自国でも一部の熱心な読者に愛読されるだけで、批評家には無視あるいは困惑されていました。「何一つ理解できない」「何だこれは？ 何なんだこれは？ 頭を抱えてしまう」等々…。それはなんというか、読みながら唖然とする荒唐無稽な物語で、内容も語り方も常軌を逸した非現実的かつ非現代的な代物に見えます。たとえば、気まぐれな少年と彼を魔法使いと信じ込むおばさんが嘘のような偶然の連続する宝探しの冒険でアメリカまで出かけたり、「花は超自然的存在です」と言い張る哲学者が花の見ていない夢について延々ほら話を展開したり、木に変身した弟が地球の裏側をさまよう行方不明の姉を奇想天外な仕方で見つけたりします。近代以前のおとぎ話や伝説、神話も思わせるのですが、『ハリーポッター』『ゲド戦記』やRPGゲームのようないわゆるファンタジーともまた違っていています。近年研究もされるようになったとはいえいまだその謎が解かれてはいない不思議な作品群を前に、その一面なりと読解を試みたいと思います。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

日本語訳のテキストを配布します。

○参考書

図書館等で入手可能な翻訳をあげておきます。

アンドレ・ドテル「見えない村」(短篇、『現代フランス幻想小説』所収)、白水社、1970年

同『荒野の太陽』(長篇)天沢退二郎訳、福音館書店、1988年

同『夜明けの汽車 その他の物語』(短篇集)武藤剛史訳、舷灯社、2017年

同『魔法の森 その他の話』(児童短篇集)武藤剛史訳、舷灯社、2019年

○評価の方法

授業時の読解への参加、期末レポート

○履修上の注意

なし

○フィードバックの方法

期末レポートにはコメントをお返しします。

○準備学修(予習・復習)

(予習) 配布された作品を読んでくる。(3時間)

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	物語論：ストーリーとナレーション	鈴木俊弘	外来講師
2	「大使さま」(短篇)	鈴木俊弘	外来講師
3	続き	鈴木俊弘	外来講師
4	続き	鈴木俊弘	外来講師
5	「とっぴな事件」(短篇)	鈴木俊弘	外来講師
6	続き	鈴木俊弘	外来講師
7	続き	鈴木俊弘	外来講師
8	「荒地への眼差し」(短篇)	鈴木俊弘	外来講師
9	続き	鈴木俊弘	外来講師
10	続き	鈴木俊弘	外来講師

## 〔L12〕 自然系科目

## 自然系科目一覧

科目番号／授業科目		責任者	学期／曜／時限	授業形態	単 位	定 員	評 価
L1210	医学・医療における数学	奥 田	I・火・3	講 義	1	30	レポート
L1212	基礎数理遺伝学演習	奥 田	II・水・1	演 習	1	30	レポート
L1215	臨床医学と数学	奥 田	A・I・水・5 B・II・水・3	講 義	1	30	レポート
L1216	ゲノム医療がもたらすもの	奥 田	A・I・水・1 B・II・火・1	講 義	1	30	レポート
L1217	パソコン・IT（インターネット）で学ぶゲノム医療	奥 田	II・火・2	講 義	1	30	レポート
L1220-4	光科学の医学・生命科学への応用	佐藤文	II・木・2	講 義	1	20	出席・小テスト・態度
L1220-5	疾病関連タンパク質概論	山 本	II・火・2	講 義	1	20	レポート・出席・態度 他
L1241-1	発生メカニズム	佐藤滋	I・木・2	講 義	1	16	出席・態度・課題 他
L1242-3	「形」から学ぶヒトの生物学1	菊 地	I・木・3	講 義	1	30	出席・課題
L1242-4	「形」から学ぶヒトの生物学2	菊 地	I・水・1	講 義	1	30	出席・課題
L1243	生物多様性を考える	菊 地	A・II・火・2 B・II・水・3	講 義	1	30	出席・課題
L1245	系統発生学入門	菊 地	II・水・1	講 義	1	30	出席・課題
L1254-1	体育学演習1	板 井	A・I・火・3 B・II・火・1	演 習	1	12	レポート・態度 他
L1254-2	体育学演習2	板 井	A・I・木・3 B・II・木・1	演 習	1	24	レポート・態度 他
L1254-3	体育学演習3	板 井	II・水・1	演 習	1	12	レポート・態度 他
L1254-4	体育学演習4	板 井	II・水・3	演 習	1	12	レポート・態度 他
L1261-1	シミュレーション学習入門	宮 道	A・I・木・2 B・I・木・3 C・II・木・1 D・II・木・2	演 習	1	30	課題 他
L1262-1	医療における「学習」と「教育」	浅 田	A・I・木・2 B・II・水・3	講 義	1	20	出席・課題・レポート 他
L1262-2	ICT時代の情報活用力	浅 田	A・I・火・3 B・II・火・2	講 義	1	20	出席・課題・レポート 他
L1263	医療安全のための理論と実践	前 田	II・木・2	演 習	1	30	出席・レポート
L1270	医薬品研究の歴史	輿 水	A・I・水・1 B・I・水・5	講 義	1	30	課題・態度

# 総合教育科目『数学』科目ガイド

## 教育目標

- 1) 数学がその技術的側面において医学・医療にどの様にかかわり応用されているかを学ぶ。
- 2) 数学の思想的な面での医学に対する応用について理解し、数学的思考を導入することで、よりエビデンスに基づいた病態の診断・治療を行えることを学ぶ。
- 3) 大学病院だけでなく、保健所、診療所、一般病院、在宅において、自分の発想（考え）に基づいて、患者、患者の家族、同僚医師、コメディカル、行政職をはじめとする多くの関連職種の人々、地域の住民、さらに地域特性などの種々の要因を考慮しつつ、患者一人一人に対応した医療を構築していくためには、数学的思考過程が必要となることを学ぶ（数学者が自分の発想に基づいて様々な条件を設定し、さらに分析を加え理論体系を創ってゆくプロセスを例にして説明する）。
- 4) 「数式とその背後にある発想」を例にし、医学専門用語の背後にある病態生理を自分なりの言葉で理解し、説明できるようにしておくことの重要性を学ぶ。
- 5) ゲノム解析技術の進展により、従来の臓器縦割りの診療のみならず、ゲノム情報に基づいた臓器横断的な医療の展開が期待されている。ゲノム情報の知見の蓄積により、個々の患者それぞれに適切な医療の推進がすすむと考えられている（ゲノム医療）。さらに、インターネット（IT）、パソコン技術の著しい発展は、大学病院などの大規模施設と地域の診療所との情報量を差のないものにする予想される。このような状況をふまえ、パソコン・ITを用いた遺伝情報（ゲノム情報）の取得方法を学ぶとともにその理論的背景を解説する。さらに、今後、進展するであろうゲノム医療の「光」と「影」について共に議論を深めたいと考えている。
- 6) ベイズの定理の歴史的背景・基礎理論にふれ、臨床医学とベイズの定理のかかわりについて学ぶ。
- 7) 確率・統計学は、臨床医学・医学研究において、重要な位置を占めている。確率・統計学について基本的な概念を説明し、遺伝医学・ゲノム医療領域（数理遺伝学）を中心に確率・統計学がどのように応用されているか講義する。ゲノムの構造解析や高速ゲノム配列探索ツール（BLAST）の数学的基礎理論を学ぶとともに、パソコン・ITで実践（供覧）する。
- 8) 現在の臨床医学にとって必要不可欠であるCT・MRI・超音波診断などの画像診断について、画像を構成するための基礎となるフーリエ解析について説明するとともに、実際の超音波診断装置にふれる機会を提供したいと考えている。

## 科目の構成

- 1) 医学・医療における数学
- 2) パソコン・IT（インターネット）で学ぶゲノム医療
- 3) 基礎数理遺伝学演習
- 4) ゲノム医療がもたらすもの
- 5) 臨床医学と数学

## 備考

数学の予備知識の総括は基本的に「医学・医療における数学」でおこなうが他の時間においてもその都度説明する。新しく数式が必要な場合は、その時間内に数学的説明を加える。医学の専門用語についても分かりやすく説明する。

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 2 1 0	医学・医療における数学	奥 田 浩	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [火・3] 時限 [A]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

- 1) 医学・医療と数学とのかかわりを学び医学・医療における「数値」の重要性を理解する。
- 2) 自然数・整数・有理数・無理数・実数・複素数を次元という新たな視点で理解する。
- 3) 複素数の視点に立って、高校までの数学を展望する。
- 4) 連続・収束・微分・積分などが、どのような基礎概念（特に「不等式」の概念に注目して）に基づいて証明され、確立されてきたか歴史的背景をふまえて理解する。
- 5) 臨床医学にとって重要なベイズの定理を学ぶ。
- 6) 数学の発展をもたらした基礎概念が、現在の臨床医学の中にどのように生かされているかを理解する。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

プリント等を準備する。

○参考書

講義内で提示する。

○評価の方法

レポート

○履修上の注意

数学・臨床医学などの予備知識は時間内に丁寧に説明します。新しく数式が必要な場合は、その時間内に数学的説明を加えます。

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

ムードル上に掲載した資料と講義内で配布した資料の下調べをする（予習120分・復習60分）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	医学・医療と数学のかかわり/臨床医学・医学研究と「数値」について	奥 田 浩	数 学
2	複素数入門：数の概念の拡張と「次元」	奥 田 浩	数 学
3	代数学の基本定理と3次方程式の解の公式	奥 田 浩	数 学
4	「等式」から「不等式」へ	奥 田 浩	数 学
5	「不等式」による収束・極限の理解	奥 田 浩	数 学
6	実数の性質と連続（中間値の定理の証明）	奥 田 浩	数 学
7	微分・積分とはなにか（平均値の定理・テーラーの定理の証明）	奥 田 浩	数 学
8	「不等式」によるロピタルの定理の証明	奥 田 浩	数 学
9	ベイズの定理と臨床医学	奥 田 浩	数 学
10	臨床医学の中に生きている数学的基礎概念	奥 田 浩	数 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 2 1 2	基礎数理遺伝学演習	奥 田 浩	1 学 年

○開講時期 [2] 学期 [水・1] 時限 [H]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

- 1) (分子) 遺伝学の基礎知識・歴史と遺伝現象の本質を担っている減数分裂について学ぶ。
- 2) 臨床医学に必須である家系図作成の基礎を学習し、実際に家系図を作成する。
- 3) 様々なメンデル遺伝病、臨床医学にとって重要なベイズの定理を学ぶ。
- 4) 保因者について学ぶとともにベイズの定理を用いて保因者のリスクを計算する。
- 5) コンピューター・IT (インターネット) を用いた遺伝子探査と分子系統樹の作成を実際に行う。
- 6) 臨床遺伝学において遺伝カウンセリングをおこなう際の数学的基礎を学ぶ。
- 7) 相談者が遺伝病をきたす病因遺伝子を有していた場合、遺伝カウンセリングにおいて、相談者にどのように説明をしてゆけばよいのか議論・意見交換を行う。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

プリント等を準備する。

○参考書

演習内で提示する。

○評価の方法

レポート

○履修上の注意

高校の時に生物を履習していない人や数学の不得意な人にも理解できるような内容にする予定です。座学だけでなく、パソコン・インターネット (IT) を用いて視覚化し、学習しやすくする予定です。

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修 (予習・復習)

ムードル上に掲載した資料と演習内で配布した資料の下調べをする (予習120分・復習60分)。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	数理遺伝学の歴史・遺伝とはなにか	奥 田 浩	数 学
2	染色体・ゲノム・DNA・RNA・アミノ酸の基礎知識	奥 田 浩	数 学
3	減数分裂とゲノム多様性	奥 田 浩	数 学
4	確率・統計の基礎知識	奥 田 浩	数 学
5	家系図作成とメンデル遺伝病	奥 田 浩	数 学
6	家系図作成の演習とベイズの定理	奥 田 浩	数 学
7	保因者のリスク計算 1	奥 田 浩	数 学
8	保因者のリスク計算 2	奥 田 浩	数 学
9	遺伝カウンセリングの実践	奥 田 浩	数 学
10	パソコンによる遺伝情報の取得と分子系統樹の作成	奥 田 浩	数 学

科目番号	科目名	責任者	学年
L 1 2 1 5	臨床医学と数学	奥田 浩	1 学 年

- 開講時期 [1] 学期 [水・5] 時限 [C]  
[2] 学期 [水・3] 時限 [1]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

- 1) 数学が臨床医学（特に画像診断）に、どのようにかわり応用されているかを学ぶ。
- 2) 病気の診断における、超音波診断・CT・MRIなどの画像診断の数学的原理の理解の重要性を学ぶ。実際の超音波診断装置を体験する。
- 3) 画像を構築するための数学的基礎となるフーリエ解析について理解する。
- 4) ベイズの定理の歴史的・数学的背景を理解し、臨床医学において重要である病気の診断過程において、ベイズの定理が果たしている役割を学ぶ。
- 5) 臨床医学にとって重要なベイズの定理の応用例として、臨床疫学（感度・特異度・陽性的中率・陰性的中率）・臨床遺伝（遺伝カウンセリング）を題材として解説する。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

プリント等を準備する

○参考書

講義内で提示する

○評価の方法

レポート

○履修上の注意

数学（確率・統計・ベイズの定理）・基礎医学・臨床医学などの予備知識は時間内に丁寧に説明します。講義中に実際の超音波診断装置を供覧し体験してもらう予定です。

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

ムードル上に掲載した資料と講義内で配布した資料の下調べをする（予習120分・復習60分）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	臨床医学における画像診断	奥田 浩	数 学
2	画像の構築とフーリエ解析 1	奥田 浩	数 学
3	画像の構築とフーリエ解析 2	奥田 浩	数 学
4	CT・MRIの数学的基礎理論	奥田 浩	数 学
5	超音波診断法の数学的理論（超音波診断装置の供覧と体験）	奥田 浩	数 学
6	確率・統計の基礎	奥田 浩	数 学
7	ベイズの定理の歴史的背景と基礎理論	奥田 浩	数 学
8	臨床疫学とベイズの定理	奥田 浩	数 学
9	臨床遺伝とベイズの定理	奥田 浩	数 学
10	臨床診断過程とベイズの定理	奥田 浩	数 学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1216	ゲノム医療がもたらすもの	奥田 浩	1 学年

- 開講時期 [1] 学期 [水・1] 時限 [B]  
[2] 学期 [火・1] 時限 [F]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

- 1) 遺伝学の歴史・基礎知識を学ぶとともにゲノムの概念について理解する。
- 2) 数理遺伝モデルの構成のために重要である確率・確率変数・確率分布・2項分布について学ぶ。
- 3) 遺伝的変異（多様性）を理解するとともに、その同定法（PCR法・シーケンス法）について学ぶ。
- 4) パソコン・IT（インターネット）を用いた遺伝情報（ゲノム情報）の取得方法を学ぶ。
- 5) ゲノム医療（および癌ゲノム医療）について理解するとともに、ゲノム医療の「光」と「影」について学ぶ。
- 6) 保因者について学ぶとともに、ベイズの定理を用いて保因者のリスク（確率）を算出する。
- 7) ゲノム医療における遺伝カウンセリングの重要性を学ぶ。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

プリント等を準備する。

○参考書

講義内で提示する。

○評価の方法

レポート

○履修上の注意

次世代シーケンサーなどのゲノム解析技術の進展によりもたらされたゲノム情報（ゲノム情報の多様性）に基づく医療（ゲノム医療）について提示します。高校の時に生物を履習していない人や数学の不得意な人にも理解できるような内容にする予定です。

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

ムードル上に掲載した資料と講義内で配布した資料の下調べをする（予習120分・復習60分）。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	ゲノムの基礎知識	奥田 浩	数 学
2	遺伝（減数分裂）の基礎知識	奥田 浩	数 学
3	遺伝的変異（多様性）の同定法（PCR法など）	奥田 浩	数 学
4	数理遺伝モデルと2項分布	奥田 浩	数 学
5	確率とベイズの定理	奥田 浩	数 学
6	パソコン・ITを用いたゲノム情報の取得	奥田 浩	数 学
7	ゲノム医療とは何か	奥田 浩	数 学
8	癌ゲノム医療とは何か	奥田 浩	数 学
9	ゲノム医療の「光」と「影」を議論する	奥田 浩	数 学
10	ゲノム医療と遺伝カウンセリング	奥田 浩	数 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 2 1 7	パソコン・IT（インターネット） で学ぶゲノム医療	奥 田 浩	1 学 年

○開講時期 [2] 学期 [火・2] 時限 [G]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

- 1) 遺伝学の歴史・基礎知識を学ぶとともにゲノムの概念とゲノム医療について理解する。
- 2) パソコン・IT（インターネット）を用いた遺伝情報（ゲノム情報）の取得方法を学ぶ。
- 3) 世界3大遺伝情報バンク（NCBI（米国）・DDBJ（日本）・EMBL（欧州））にアクセスしゲノム情報等  
を取得する。
- 4) 世界3大遺伝情報バンクに共通の類似配列（ゲノム等）探査ツール（BLAST）について、理論・実践  
を学ぶ。
- 5) 地域医療におけるパソコン・IT（インターネット）による情報収集の重要性を学ぶ。
- 6) 進化距離の概念・理論を学び、パソコンにより分子系統樹（ウイルス・細菌・動植物等）を作成する。
- 7) パソコンによるゲノムの構造解析を実践するとともにその理論的背景を学ぶ。
- 8) ゲノム情報解析に必要な数理遺伝学（確率・遺伝統計・2項分布・ポアソン分布・正規分布等）を学ぶ。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

プリント等を準備する。

○参考書

講義内で提示する。

○評価の方法

レポート

○履修上の注意

パソコン・IT（インターネット）によるゲノム情報の収集・解析の方法とその重要性について提示します。  
高校の時に生物を履習していない人や数学の不得意な人にも理解できるような内容にする予定です。

○フィードバックの方法

学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

ムードル上に掲載した資料と講義内で配布した資料の下調べをする（予習120分・復習60分）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	ゲノムと遺伝学の基礎知識 1	奥 田 浩	数 学
2	ゲノムと遺伝学の基礎知識 2	奥 田 浩	数 学
3	確率と数理遺伝モデル	奥 田 浩	数 学
4	パソコン・IT（インターネット）によるゲノム情報の登録と収集	奥 田 浩	数 学
5	世界3大遺伝情報バンク（NCBI・DDBJ・EMBL）へのアクセスと情報収集	奥 田 浩	数 学
6	類似配列（ゲノム等）探査ツール（BLAST）の理論と実践	奥 田 浩	数 学
7	進化距離（遺伝距離）の理論について	奥 田 浩	数 学
8	分子系統樹の基礎理論とパソコンによる分子系統樹の作成	奥 田 浩	数 学
9	ゲノム構造の数理解析理論とパソコンによるゲノムの構造解析の実践	奥 田 浩	数 学
10	地域医療におけるパソコン・ITによる情報収集の重要性	奥 田 浩	数 学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1220-4	光科学の医学・生命科学への応用	佐藤文菜	1 学年

○開講時期 [2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 講義

○履修定員 [20] 名

○ねらい

医学・生命科学の諸分野には、多数の光科学的現象が関わっており、それに付随した技術が治療や診断、及び研究に利用されている。本講義では、生体の光に対する応答、生体分子と光の相互作用、光学的計測の基礎等を学び、診療と医学研究に関わる光利用の原理を広く理解することを目的とする。ここで光とは、紫外光、可視光、赤外光、X線、 $\gamma$ 線などである。一部、光には該当しないが、電子線や粒子線も合わせて紹介する。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

必要に応じて資料配布

○参考書

医歯系の物理学（東京教学社）、放射線治療物理学（文光堂）、タンパク質のX線結晶解析法（J・ドレント著、シュプリンガー）、他、講義中に紹介する。

○評価の方法

講義後の小問題、出席、受講態度

○履修上の注意

板書も併用するため、ノートかメモを取ってください。

○フィードバックの方法

各小問題の解法と正解は、次の回の講義で解説する。

○準備学修（予習・復習）

参考書内の関連項目を読む（予習、復習合わせて180分程度）適切な参考書が無い場合は、他の方法を用いて下調べなどを行う。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	はじめに ～光とは～	佐藤文菜	生物物理学
2	光の方程式（電磁波の方程式を導く）	佐藤文菜	生物物理学
3	紫外・可視・赤外光の医学利用	佐藤文菜	生物物理学
4	レーザー光の基礎	佐藤文菜	生物物理学
5	レーザー光の医学利用	佐藤文菜	生物物理学
6	X線・ $\gamma$ 線の基礎と医学利用	佐藤文菜	生物物理学
7	放射線の基礎と医学利用	佐藤文菜	生物物理学
8	光科学を用いた生命科学研究紹介 1	佐藤文菜	生物物理学
9	光科学を用いた生命科学研究紹介 2	佐藤文菜	生物物理学
10	まとめ	佐藤文菜	生物物理学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1220-5	疾病関連タンパク質概論	山本直樹	1 学年

○開講時期 [2] 学期 [火・2] 時限 [G]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

遺伝子翻訳の産物であるタンパク質は生命活動の中心的な役割を果たしています。従って、疾患の発生原理を理解して臨床応用につなげるためには、関連するタンパク質の機能や構造についての知識が不可欠です。本講義では、がん、白血病、HIV、アルツハイマー病などの疾患、またCOVID-19などに関連した話題を取り上げ、タンパク質異常と疾患の関係性をできるだけやさしく解説します。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

必要に応じて資料を配布します。

○参考書

分子細胞生物学 第7版 石浦 章一ら 訳 東京化学同人  
 ワインバーグ がんの生物学 武藤 誠・青木 正博 訳 南江堂  
 カラー図解 免疫学の基本がわかる事典 鈴木 隆二 西東社  
 病気がみえる vol.5 血液 メディックメディア  
 病気がみえる vol.7 脳 メディックメディア  
 カラーイラストで学ぶ 集中講義 病理学 清水 道生・内藤 善哉 編集 メジカルビュー社  
 ハリソン内科学 第5版 福井 次矢・黒川 清 監修 メディカル・サイエンス・インターナショナル

○評価の方法

各講義の最後にレポートを提出してもらいます。その成績に出席率および受講態度を合わせて総合的に判断します。

○履修上の注意

1学期の復習も兼ねて、生命現象のセントラルドグマなど基本的な部分から解説する予定です。タンパク質の構造や機能異常がどのように疾患に関連しているか、興味があれば受講を検討してみてください。

○フィードバックの方法

講義ごとの質問やコメントに対して、できるだけ回答します。

○準備学修 (予習・復習)

講義前にmoodle上で講義資料をアップロードするので、目を通して予習することを推奨します。また、講義後に理解が不足していると感じた部分については、参考書等を用いて復習してください。(180分)

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	タンパク質の基本的な話	山本直樹	生物物理学
2	がん発症の分子論 1	山本直樹	生物物理学
3	がん発症の分子論 2	山本直樹	生物物理学
4	遺伝子変異が起こる仕組み 1	山本直樹	生物物理学
5	遺伝子変異が起こる仕組み 2	山本直樹	生物物理学
6	白血病	山本直樹	生物物理学
7	免疫概論	山本直樹	生物物理学
8	免疫関連疾患	山本直樹	生物物理学
9	アミロイドーシスと神経変性疾患	山本直樹	生物物理学
10	治療法の現在と未来	山本直樹	生物物理学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1241-1	発生メカニズム	佐 藤 滋	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 16 ] 名

○ねらい

最近、受精卵を経ずにヒトやマウス胚に似た「胚モデル」を作製できるようになりました。ですが、私たちの体を作り出す「発生」についてはまだ謎が多く残されています。本科目では、発生のしたたかさやしなやかさに目を向け、考え、理解を深めることを目的とします。心臓が拍動するニワトリ胚、様々な大きさのマウスの胚や脳、発生の過程で死に除去される細胞、色素で染色した胚を顕微鏡で観察します。器官形成が進む胚の大きさや質感、種間での違い、遺伝子発現の特異性を実感してください。第一線で活躍する研究者から最先端の話題や研究生生活について直接話を聞く機会も設けます。発生学、先天異常、癌や老化について学び、再生医療について考えるためにも有用です。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

毎回資料を配布します。

○参考書

阿形清和・高橋淑子監訳「ギルバート発生生物学」(MEDSci)  
 ジェイミー・A・ディヴィス著、橋明美訳「人体はこうしてつくられる」(紀伊國屋書店)  
 リアム・ドリュー著、梅田智世訳「わたしは哺乳類です」(インターシフト)  
 安田峯男・山田重人訳「ラングマン人体発生学 第11版」(MEDSci)  
 東京大学生命科学教科書編集委員会編「現代生命科学 第3版」(羊土社)

○評価の方法

課題シートを配布し、基礎的な問題に答えてもらったり、授業で紹介した概念等を自分の言葉でまとめてもらったり、スケッチを描いてもらいます。出席、課題シート、授業への参加姿勢を総合的に評価します。

○履修上の注意

顕微鏡を使った観察も行うため、出席を重視します。

○フィードバックの方法

Moodle上で模範解答を示します。採点し、コメントを記入した課題シートを返却します。また、追加の質問等にはMoodle上で回答します。

○準備学修(予習・復習)

予習(90分):参考書「人体はこうしてつくられる」または「わたしは哺乳類です」を読む。  
 復習(90分):講義の内容で理解が不十分だと感じた部分について参考書を読んで復習する。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	体の作り方を学ぶための基礎知識	佐 藤 滋	循環病態・代謝学
2	多様な細胞の作り方	佐 藤 滋	循環病態・代謝学
3	ニワトリ胚の観察	佐 藤 滋	循環病態・代謝学
4	体節を利用した体の作り方	佐 藤 滋	循環病態・代謝学
5	マウス胚の観察	高 橋 将 文	解 剖 学
6	マウスの脳の観察	高 橋 将 文	解 剖 学
7	細胞死の観察と手足の作り方	佐 藤 滋	循環病態・代謝学
8	局所ルールによる体の作り方	佐 藤 滋	循環病態・代謝学
9	人類冬眠計画	砂 川 玄 志 郎	外 来 講 師
10	人体の修復と再生	佐 藤 滋	循環病態・代謝学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1242-3	「形」から学ぶヒトの生物学1	菊 地 元 史	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [木・3] 時限 [E]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

自分自身の体の中にある臓器の「形」や大きさをどの程度イメージできるだろうか。生物のもつ「形」を観察し、また、「形」から機能を考える科学的手法を形態学という。生物の「形」は、その一つひとつが意味をもっている。ここでは、ヒトの体の外と中とを俯瞰し、人体の成り立ち（すなわち構造と機能）をイメージできるようになることを目標とする。あまり専門的な用語等にはこだわらず、医学の入り口に立った皆さんに相応しい内容としたい。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

プリントを配布する。

○参考書

授業の中で紹介する。

○評価の方法

出席および授業時間内での課題

○履修上の注意

抽選となった場合、「形」から学ぶヒトの生物学2（1学期 [木・3]）と併せて希望する者を優先する。

○フィードバックの方法

提出された課題に対して総評をする。

○準備学修（予習・復習）

授業で提示する資料を用いて、各自の興味を基づいた発展学習をする（3時間相当）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	人体のあらまし	菊 地 元 史	自 然 史 学
2	からだをつくる細胞・組織	菊 地 元 史	自 然 史 学
3	栄養の摂取 I 消化管	菊 地 元 史	自 然 史 学
4	〃 II 肝胆膵	菊 地 元 史	自 然 史 学
5	呼 吸	菊 地 元 史	自 然 史 学
6	体液と循環 I 循環器	菊 地 元 史	自 然 史 学
7	〃 II 血 液	菊 地 元 史	自 然 史 学
8	体液の調節と排泄 I 腎臓・排尿路	菊 地 元 史	自 然 史 学
9	〃 II 体液の調節	菊 地 元 史	自 然 史 学
10	まとめ	菊 地 元 史	自 然 史 学

科目番号	科目名	責任者	学年
L1242-4	「形」から学ぶヒトの生物学2	菊地元史	1学年

○開講時期 [1] 学期 [水・1] 時限 [B]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

自分自身の体の中にある臓器の「形」や大きさをどの程度イメージできるだろうか。生物のもつ「形」を観察し、また、「形」から機能を考える科学的手法を形態学という。生物の「形」は、その一つひとつが意味をもっている。ここでは、ヒトの体の外と中とを俯瞰し、人体の成り立ち（すなわち構造と機能）をイメージできるようになることを目標とする。あまり専門的な用語等にはこだわらず、医学の入り口に立った皆さんに相応しい内容としたい。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

プリントを配布する。

○参考書

授業の中で紹介する。

○評価の方法

出席および授業時間内での課題

○履修上の注意

抽選となった場合、「形」から学ぶヒトの生物学1（1学期 [水・1]）と併せて希望する者を優先する。

○フィードバックの方法

提出された課題に対して総評をする。

○準備学修（予習・復習）

授業で提示する資料を用いて、各自の興味を基づいた発展学習をする（3時間相当）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	からだの支持と運動Ⅰ 骨格	菊地元史	自然史学
2	からだの支持と運動Ⅰ 筋	菊地元史	自然史学
3	内部環境の調節 内分泌・自律神経	菊地元史	自然史学
4	情報の受容と処理Ⅰ 神経の概論・中枢神経	菊地元史	自然史学
5	Ⅱ 感覚器	菊地元史	自然史学
6	からだを守るしくみⅠ 皮膚・体温調節	菊地元史	自然史学
7	Ⅱ 免疫	菊地元史	自然史学
8	生殖、発生、老化Ⅰ 生殖器	菊地元史	自然史学
9	Ⅱ 発生・成長・老化	菊地元史	自然史学
10	まとめ	菊地元史	自然史学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 2 4 3	生物多様性を考える	菊 地 元 史	1 学 年

- 開講時期 [2] 学期 [火・2] 時限 [G]  
[2] 学期 [水・3] 時限 [I]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

40億年とも言われる長い歴史の中で、生物は変異を重ねつつ命を継ぐことによって次第にその多様性を増してきた。その結果として、今の豊かな生物相は存在する。別の見方をすれば、私たちヒトを含め現在みられる生命の一つひとつは、原始の生命から途切れることなく受け継がれてきたものなのである。一方で、種の絶滅の速度が分化の速度を遥かに凌ぐようになってしまった現実も見つめなければならない。この授業では、生物の多様性がどのようにしてできてきたのか、現在どのように成り立っているのかを科学的に提示する。本講義の修了時には、生物多様性がどうして大切なのかという問いに各自の考えをもってほしい。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

プリントを配布する。

○参考書

授業の中で紹介する。

○評価の方法

出席および授業時間内での課題

○履修上の注意

特になし

○フィードバックの方法

提出された課題に対して総評をする。

○準備学修（予習・復習）

授業で提示する資料を用いて、各自の興味を基づいた発展学習をする（3時間相当）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	序 論	菊 地 元 史	自 然 史 学
2	いろいろな生物 その1	菊 地 元 史	自 然 史 学
3	いろいろな生物 その2	菊 地 元 史	自 然 史 学
4	いろいろな生物 その3	菊 地 元 史	自 然 史 学
5	多様性を整理する方法	菊 地 元 史	自 然 史 学
6	生命の歴史と多様性	菊 地 元 史	自 然 史 学
7	多様性が生まれる原理	菊 地 元 史	自 然 史 学
8	生物間の相互作用	菊 地 元 史	自 然 史 学
9	多様性を守る	菊 地 元 史	自 然 史 学
10	まとめ	菊 地 元 史	自 然 史 学

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L 1 2 4 5	系統発生学入門	菊 地 元 史	1 学 年

○開講時期 [2] 学期 [水・1] 時限 [H]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

我々の身体は、原始の生命に始まり、40億年とされる長い歴史をかけて少しずつ変化を重ねて現在の形に至った。その過程（系統発生）に目を向けることによって、「ヒト」についての理解もまた驚くほど深まるだろう。例えば、どうして呼吸器と消化器は、咽頭で交差する「不都合な」構造になっているのだろうか。また、どうして聴覚と平衡覚を内耳が司るのだろうか。本科目では、これらの疑問に答える系統発生学という概念を身につけることを目標とする。学んだことを基として、病気が何故あるのかという問題を考えてみて欲しい。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

プリントを配布する。

○参考書

授業の中で紹介する。

○評価の方法

出席および課題

○履修上の注意

上記の授業項目は受講者の興味に合わせて適宜変更する。受講に条件はないが、「L1243 生物多様性を考える」とは重複する部分が多い。併せて選択する場合、この点を承知しておくこと。また、受講希望者が定員を超える場合、「L1243 生物多様性を考える」を受講しない者を優先する。

○フィードバックの方法

提出された課題に対して総評をする。

○準備学修（予習・復習）

授業で提示する資料を用いて、各自の興味を基づいた発展学習をする（3時間相当）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	生命とは何だろう	菊 地 元 史	自 然 史 学
2	ヒトへの40億年の道のり 1	菊 地 元 史	自 然 史 学
3	ヒトへの40億年の道のり 2	菊 地 元 史	自 然 史 学
4	器官系の系統発生 1（感覚器）	菊 地 元 史	自 然 史 学
5	器官系の系統発生 2（呼吸器）	菊 地 元 史	自 然 史 学
6	器官系の系統発生 3（循環器・泌尿器）	菊 地 元 史	自 然 史 学
7	器官系の系統発生 4（消化器）	菊 地 元 史	自 然 史 学
8	器官系の系統発生 5（神経・運動器）	菊 地 元 史	自 然 史 学
9	器官系の系統発生 6（性とは）	菊 地 元 史	自 然 史 学
10	まとめ	菊 地 元 史	自 然 史 学

# 総合教育科目『保健体育』科目ガイド

## ○教育目標

運動は「からだ」をより良く理解するために大切な身体の活動です。医師になろうとしている皆さんには、まず「からだ」に興味を持ち、「からだの声」に耳を傾ける力を養う必要があると考えます。

「からだの声」は「いのちの声」に直結していると考えます。

また気分転換やストレスの発散、学友と交流を深める場として、さらにはより良い人格形成を促す場としても体育は格好の科目であるといえましょう。

単に丈夫で体力があるとか、運動やスポーツが得意であれば「それで善い」ということはありません。部活で好成績を収めたばかりに天狗になり了見が狭く（運動が得意でない人を馬鹿にするように）なってはいませんか。逆にスポーツが苦手なばかりに、運動から得られる喜びに気づいていないことはありませんか。とくに自治医大生にとっての体育では、身体の構造や動きを理解し動作の特性を冷静に分析できる能力を養っていく必要があると考えます。才能やカンだけに頼らない運動能力を身につけたいということです。

一方、複雑な思考やストレスを忘れてスカッとすることも運動の効用です。運動・スポーツが「できる」という主観と、「何故できるのか」「どうしたらできるようになるのか」といった客観の間をバランスよく行き来できる思考に加え、QOL向上のために運動を利用していく能力が必要であると思うのです。

そのためには「からだの声」に耳を傾け「からだで考える」ことができる力を身につけることが大切になります。そのうえで、スポーツがより上手くできるようになったり、運動することの喜びを感じることが出来るようになってほしいと願っています。

## ○科目の解説

分科名	開講時期	主な内容
体育学演習1	1・2学期：火曜日	「トレーニング」を教材とする。自己流のトレーニングは効果が低いか危険を伴うことがある。正しい体のさばき方を身につけることが大切である。
体育学演習2	1・2学期：木曜日	「硬式テニス」を教材とする。テニスは生涯体育として相応しい種目の一つである。ゲームを楽しむことのできる基礎を身につける。
体育学演習3	2学期：水曜日	「ゴルフ」を教材とする。ゴルフは生涯体育として相応しい種目の一つである。スウィングの基礎を身につける。
体育学演習4	2学期：水曜日	様々なスポーツを実施する中で運動に対する認識を深める。「ゆるいスポーツ」も大切な運動である。また、授業でなければやってみることのないスポーツにも挑戦する。

**【1学期】**

時限	火曜日	水曜日	木曜日
1時限			
2時限			
3時限	L1254-1 A 【体育学演習1】	L2301A 【総合体育演習A】(必修)	L1254-2 A 【体育学演習2】
4時限		L2301B 【総合体育演習B】(必修)	
5時限			

**【2学期】**

時限	火曜日	水曜日	木曜日
1時限	L1254-1B 【体育学演習1】	L1254-3 【体育学演習3】	L1254-2 B 【体育学演習2】
2時限			
3時限		L1254-4 【体育学演習4】	
4時限			
5時限			

科目番号	科目名	責任者	学年
L1254-1	体育学演習1	板井美浩	1学年

- 開講時期 [1] 学期〔火・3〕時限〔A〕  
[2] 学期〔火・1〕時限〔F〕

○授業形式 演習

○履修定員 [ 12 ] 名

○ねらい

「レジスタンス・トレーニング」を教材として身体に関する考察を深める。バーベルやダンベルといったフリーウェイトや種々のトレーニング機器、あるいは器具を用いない自重トレーニングの正しい方法を理解し、また身体の構造を意識して安全にトレーニングを行っていくことのできる基礎的能力を身につける。経験者においては、行ってきたトレーニングの正誤およびトレーニングの意義について認識を新たにし、発展的なトレーニングを実施することのできる能力を養う。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

自己評価と研鑽

○教科書

特に指定しない。資料プリントを配布する。

○参考書

特に指定しない。

○評価の方法

「パワークリーン」動作の習熟度およびレポート。態度評価を加味する。

○履修上の注意

- ATLAS ARENA（トレーニングルーム）で実施する。屋内運動靴、運動着は各自用意すること。
- 履修希望者が2名に満たないときは開講を見合わせる場合がある。

○フィードバックの方法

- 学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

- レジスタンストレーニングについて、テキストや動画で学習する（予習30分、復習30分）。
- 自主トレーニングを実施する（120分/週）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	導入 施設・器具使用上の注意	板井美浩	保外 健来 体講 育師
2	自重・バランス器具と身体意識	板井美浩	保外 健来 体講 育師
3	トレーニングマシンと身体意識	板井美浩	保外 健来 体講 育師
4	フリーウェイトと身体意識	板井美浩	保外 健来 体講 育師
5	統合的身体操法のトレーニング（パワークリーン） その1	板井美浩	保外 健来 体講 育師
6	その2	板井美浩	保外 健来 体講 育師
7	その3	板井美浩	保外 健来 体講 育師
8	その4	板井美浩	保外 健来 体講 育師
9	その5	板井美浩	保外 健来 体講 育師
10	まとめ パワークリーン最大挙上重量測定 レポート作成	板井美浩	保外 健来 体講 育師

科目番号	科目名	責任者	学年
L1254-2	体育学演習2	板井美浩	1学年

- 開講時期 [1] 学期〔木・3〕時限〔E〕  
[2] 学期〔木・1〕時限〔J〕

○授業形式 演習

○履修定員 [ 24 ] 名

○ねらい

「硬式テニス」を教材として身体に関する考察を深める。テニスは道具（ラケット）を介在して道具（ボール）を打つという身体操作が必要である。初心者は予想と乖離したボールの挙動に驚き、さらにテニスは対人スポーツであることから相手の打ち返したボールに対応することができず、しばしば向上の意欲を失ってしまうことがある。この授業では、ラケットやボール扱いについて挫折することなく乗り越えられる課題から始めてテニスに身体を慣らし、ゲームをすることの楽しみを味わえるようになってほしい。一方、熟練の経験者においては、自身の身体感覚を相手に伝える訓練と、身体に染みついた動きの癖と向き合い、新たな身体のさばき方を模索してほしい。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

自己評価と研鑽

○教科書

特に指定しない。

○参考書

特に指定しない。

○評価の方法

身体のさばき方に対する理解と習熟度およびレポート。態度評価を加味する。

○履修上の注意

- テニスコート（オムニコート）あるいはATLAS ARENA（メインアリーナ）で実施する。
- 屋外・屋内用運動靴、運動着は各自用意すること。その他、授業で使用する用具は概ね大学で用意するが、私物のラケットを使用してもよい。

○フィードバックの方法

- 学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

- テニスに関するテキストや動画で学習する（予習30分、復習30分）。
- ラケットとボールを用いて自主練習をする（120分／週）。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	導入 ラケット・ボールの特性	板井美浩	保外 健康 体講 育師
2	ボール慣れ ミニゲーム	板井美浩	保外 健康 体講 育師
3	ストローク ミニゲーム	板井美浩	保外 健康 体講 育師
4	ショートラリー ポイントの数え方	板井美浩	保外 健康 体講 育師
5	サーブ 2バウンドゲームその1	板井美浩	保外 健康 体講 育師
6	ロングラリー その2	板井美浩	保外 健康 体講 育師
7	球出し ストローク その3	板井美浩	保外 健康 体講 育師
8	球出し ボレー その4	板井美浩	保外 健康 体講 育師
9	サーブ ゲーム	板井美浩	保外 健康 体講 育師
10	まとめ ゲーム レポート作成	板井美浩	保外 健康 体講 育師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1254-3	体育学演習3	板井美浩	1学年

○開講時期 [2] 学期 [水・1] 時限 [H]

○授業形式 演習

○履修定員 [12] 名

○ねらい

「ゴルフ」を教材として身体に関する考察を深める。ゴルフは三世代にわたる年齢層でも対等に楽しむことができる稀なスポーツである。この授業を通して生涯体育を実践するための基礎的手段を身につけてほしい。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

自己評価と研鑽

○教科書

特に指定しない。

○参考書

特に指定しない。

○評価の方法

身体のさばき方に対する理解と習熟度およびレポート。態度評価を加味する。

○履修上の注意

●初回は、ATLAS ARENA（メインアリーナ）で実施する。

●2回目以降は、授業項目の内容や天候によりATLAS ARENA（メインアリーナ）あるいはグラウンドで実施する。

●屋内・屋外用運動靴、運動着は各自用意すること。その他、授業で使用する用具は概ね大学で用意するが、私物のクラブを使用してもよい。

○フィードバックの方法

●学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

●ゴルフに関するテキストや動画で学習する（予習30分、復習30分）。

●スイングのイメージトレーニングを、身体を動かしながら実施する（120分/週）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	導入 ルール・マナー 用具の説明	板井美浩	保健体育
2	ミドルアイアン ハーフスイング	板井美浩	保健体育
3	ミドルアイアン フルスイング	板井美浩	保健体育
4	ミドルアイアン フルスイング	板井美浩	保健体育
5	ドライバー ハーフ～フルスイング	板井美浩	保健体育
6	ショートアイアン ハーフ～フルスイング	板井美浩	保健体育
7	アプローチ 転がす	板井美浩	保健体育
8	アプローチ 上げてとめる	板井美浩	保健体育
9	パター	板井美浩	保健体育
10	まとめ ショートゲーム レポート作成	板井美浩	保健体育

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1254-4	体育学演習4	板井美浩	1学年

○開講時期 [2] 学期 [水・3] 時限 [1]

○授業形式 演習

○履修定員 [12] 名

○ねらい

様々なスポーツ種目を体験することで身体に関する考察を深める。授業で実践しなければ一生やることがないかも知れないスポーツを体験してみる。激しく汗をかくことのない「ゆるいスポーツ」の奥深さに気づく。この授業を通して、将来、健康教室等の指導をすることになったとき思い出すことができるようなヒントを見出してほしい。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

特に指定しない。

○参考書

特に指定しない。

○評価の方法

様々なスポーツに対する受講態度と理解度およびレポート。態度評価を加味する。

○履修上の注意

●初回は、ATLAS ARENA（メイン・アリーナ）で実施する。

●屋外・屋内用運動靴、運動着は各自用意すること。その他、授業で使用する用具は概ね大学で用意するが、自転車は私物を使用してもよい。

○フィードバックの方法

●学生に講評する。

○準備学修（予習・復習）

●授業項目の実施種目に関するテキストや動画で学習する（予習30分、復習30分）。

●授業で体験した種目を通じて表出する自己の振舞いと、他者との関係を反省する（120分/週）。

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	導入 キッズテニス	板井美浩	保健体育
2	水泳・着衣水泳	板井美浩	保健体育
3	サイクリング（下野薬師寺跡周辺）	板井美浩	保健体育
4	サイクリング（下野国分寺跡周辺）	板井美浩	保健体育
5	グラウンドゴルフ	板井美浩	保健体育
6	グラウンドゴルフ	板井美浩	保健体育
7	三角ベースボール	板井美浩	保健体育
8	三角ベースボール	板井美浩	保健体育
9	陸上競技（クラウチングスタート）	板井美浩	保健体育
10	陸上競技（棒高跳）	板井美浩	保健体育

科目番号	科目名	責任者	学年
L1261-1	シミュレーション学習入門	宮道亮輔	1 学年

- 開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]  
 [1] 学期 [木・3] 時限 [E]  
 [2] 学期 [木・1] 時限 [J]  
 [2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

様々な手技の経験（経験から知識・技術や態度を修得すること）を通して、経験から学習する方法やお互いに教えあうことの重要性/有効性などを実感してもらいます。医学生として習得する必要がある手技やシミュレーション教育（学習）の手法に関する知識を事前学習してもらい、当日は医療用シミュレータを利用して実践的な演習を行う予定です。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

なし（必要に応じて資料を配付）

○参考書

日本医学教育学会教材開発 SP小委員会編『シミュレーション医学教育入門』（篠原出版新社）  
 鈴木 克明, 美馬 のゆり『学習設計マニュアル「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン』（北大路書房）

○評価の方法

- ・最終課題が提出された人のみ評価を行います
- ・各授業中に提示する課題（10点 × 6回）
- ・スキルチェック（10点 × 4回）

○履修上の注意

手技を行うため、動きやすい服装で来てください

○フィードバックの方法

模範解答を掲載する

○準備学修（予習・復習）

手技の注意点などについて事前に学習する（予習90分）行った手技についてグループでディスカッションする（復習90分）

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	ガイダンス：シミュレーション医学教育の必要性・シミュレーションセンター見学	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
2	シミュレータ体験 1-1	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
3	シミュレータ体験 1-2	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
4	シミュレータ体験 2	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
5	シミュレータ体験 3	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
6	シミュレータ体験 4	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
7	シミュレータ体験 5	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
8	シミュレータ体験 6	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
9	総合練習 1	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター
10	総合練習 2	宮道亮輔	メデイカルシミュレーションセンター

科目番号	科目名	責任者	学年
L1262-1	医療における「学習」と「教育」	浅田義和	1 学年

- 開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]  
[2] 学期 [水・3] 時限 [I]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

医師という立場は生涯、新しい知識やスキルを学び続ける「学習者」であり、同時に学生や後輩、さらには患者や市民への指導を行う「教育者」でもあります。一方、この「学習」や「教育」そのものについて学ぶ機会はほとんどありません。本科目では、入学直後の時期に「学習」と「教育」を再考し、生涯を通じて活用できる能力の習得を目指します。今後の主体的な学びを進めていく礎としてもらえれば幸いです。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

鈴木克明・美馬のゆり（編著）. 学習設計マニュアル:「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン. 北大路書房. 2018

○参考書

特になし

○評価の方法

出席+省察（20点分）、課題（40点分）、最終レポート（40点分）：以下の観点で評価します。

【目標行動1】学習や教育に関する基本概念について、用語の意味や具体例を回答できる

【目標行動2】医療教育における学習・教育の知見の活用を、具体例とともに説明できる

【目標行動3】本科目での学びを実際に活用していくための計画をたてることのできる

○履修上の注意

科目内容に関する詳細相談などは yasada@jichi.ac.jp までメールにて問い合わせること。

○フィードバックの方法

課題締め切り後にMoodle上での講評・解説を実施する。また、希望する学生には個別でのフィードバックを加える。

○準備学修（予習・復習）

1) 配布資料やテキストを読み込む（予習30分・復習30分程度）

2) Moodleで提示された課題を実施する（予習60分・復習60分程度）

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	ガイダンス：学習と教育をとらえ直す	浅田義和	医学教育センター
2	ARCSモデル：学習意欲を高める方略	浅田義和	医学教育センター
3	学習目標：学びのゴール設定	浅田義和	医学教育センター
4	評価方法：学習過程と達成度の評価	浅田義和	医学教育センター
5	教育方法：種々の教育実践方法	浅田義和	医学教育センター
6	ICT・AI等を活用した教育実践	浅田義和	医学教育センター
7	学習分析：教育データの利活用	浅田義和	医学教育センター
8	教育全体の評価と改善	浅田義和	医学教育センター
9	医療者教育と科学的な教え方・学び方	浅田義和	医学教育センター
10	これから求められる学びの主体性	浅田義和	医学教育センター

科目番号	科目名	責任者	学年
L1262-2	ICT時代の情報活用力	浅田義和	1学年

- 開講時期 [1] 学期 [火・3] 時限 [A]  
[2] 学期 [火・2] 時限 [G]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

ICT (Information and Communication Technology) 時代や人工知能時代といった表現に代表されるように、様々な技術の応用・活用がなされています。医学の専門家（医師）を目指すみなさんにとっても、利用者としてこのような技術に触れる機会が増えてきます。この科目では、事例を通じて「これからの時代、医療者に求められる情報リテラシー、情報活用力とは何だろうか」を考えていきます。個別のツールの使い方にとどまらず、ICTや人工知能、さらには今後誕生してくる様々な技術を正しく活用していくための基盤となる考え方を身につけていってください。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

保本正芳. はじめの第一歩 基礎からはじめるデータサイエンス. noa出版 (2022)

○参考書

特になし

○評価の方法

出席+省察 (20点分)、課題 (40点分)、最終レポート (40点分) : 以下の観点で評価します。

【目標行動1】 ICTやAI等の情報技術に関し、基本概念や用語の意味を説明できる

【目標行動2】 医療分野 (診療、教育、研究問わず) におけるICT活用方法を具体例とともに説明できる

【目標行動3】 医療者に求められる情報リテラシーについて、意見を述べるができる

○履修上の注意

特になし。科目内容に関する詳細相談などは yasada@jichi.ac.jp までメールすること。

○フィードバックの方法

課題締め切り後にMoodle上での解説・講評を行う。また、希望する学生には追加での個別フィードバックを実施する。

○準備学修 (予習・復習)

1) 配布またはMoodleで提示された資料の確認 (予習45分・復習45分程度)

2) Moodle上の課題を実施 (予習30分・復習60分程度)

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	医療者に求められるICTリテラシー	浅田義和	医学教育センター
2	情報の「正しさ」・「伝え方」	浅田義和	医学教育センター
3	「データサイエンス」の考え方	浅田義和	医学教育センター
4	データの可視化 (1) 概要	浅田義和	医学教育センター
5	データの可視化 (2) 利用演習	浅田義和	医学教育センター
6	AI・生成AI (1) 概要	浅田義和	医学教育センター
7	AI・生成AI (2) 利用演習	浅田義和	医学教育センター
8	プログラミング (1) 導入	浅田義和	医学教育センター
9	プログラミング (2) 事例演習	浅田義和	医学教育センター
10	全体のまとめ	浅田義和	医学教育センター

科目番号	科目名	責任者	学年
L1263	医療安全のための理論と実践	前田佳孝	1学年

○開講時期 [2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

医学知識が豊富で高い技術を持つ優れた医師でも、人間である以上、ヒューマンエラーを起こす。エラーは事故に繋がり、健康になるために来院した患者を傷付け、命を奪う可能性すらある。エラーは「気を付けよう」といった精神論、場当たりの対策では無くせず、その発生メカニズムや人間特性などを理解した上で、エラーを減らす対策、エラーを事故に繋げない対策を講じる必要がある。本科目の目標は、ヒューマンエラー防止のための基礎的な理論・方法を学び、それを日常生活を含む、様々な場で習慣的に実践できる能力を身に付けることである。これらはできる限り早期から習慣付けることが重要であり、本科目が長い医師人生において医療安全を実践するための素地となることを期待する。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

特になし

○参考書

安全人間工学の理論と技術 ヒューマンエラーの防止と現場力の向上 丸善出版 小松原明哲

○評価の方法

- ・出席点 (55点)：グループワークの成果、参加態度を総合評価
- ・最終レポート (45点)

○履修上の注意

授業構成：講義 (10分) → グループワーク (60分)

※毎回、様々なテーマに関する安全上の課題発見～対策立案をグループで行います。授業時間のほとんどをグループワークに費やし、社会人基礎力 (主体性、課題発見力、創造力、チームで働く力など) を身につけることも狙いとしています。

○フィードバックの方法

毎回のグループワークの成果については、授業内で講評します。

○準備学修 (予習・復習)

- ・授業までに予習用資料を読み、小テストに解答してください (予習90分)。
- ・同資料を使って、授業の復習をしてください (復習90分)。

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	ガイダンス：ヒューマンエラーの発生メカニズム	前田佳孝	メディカルシミュレーションセンター
2	人間特性とヒューマンエラー：人間の限界の体験	前田佳孝	メディカルシミュレーションセンター
3	現場改善：大学内の安全巡視体験	前田佳孝	メディカルシミュレーションセンター
4	ユーザビリティ：医療機器の使いやすさの評価練習	前田佳孝	メディカルシミュレーションセンター
5	マニュアル：良いマニュアルの作成練習	前田佳孝	メディカルシミュレーションセンター
6	コミュニケーション：指示の出し方／受け方	前田佳孝	メディカルシミュレーションセンター
7	チームワーク：チームメンバーとの合意形成	前田佳孝	メディカルシミュレーションセンター
8	事故調査・分析Ⅰ：VTAの練習	前田佳孝	メディカルシミュレーションセンター
9	事故調査・分析Ⅱ：連関図の練習	前田佳孝	メディカルシミュレーションセンター
10	事故の未然防止：危険予知トレーニング	前田佳孝	メディカルシミュレーションセンター

科目番号	科目名	責任者	学年
L1270	医薬品研究の歴史	輿水崇鏡	1学年

- 開講時期 [1] 学期 [水・1] 時限 [B]  
[1] 学期 [水・5] 時限 [C]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 30 ] 名

○ねらい

- 1) 医科学への入口として、医薬品がどのように発見され、医学に応用されるようになったかについて、基礎的な事項を学習する。
- 2) 過去に問題を解決した発想を学び、今後に役立てる。
- 3) 科学的探究の歴史から、研究方法の多様性を学ぶ。
- 4) 生体と薬の基礎を学び、2年次の薬理学に役立てる。
- 5) 医学研究の素晴らしさに触れる。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

講義中に該当項目の印刷物を配布する

○参考書

- 1) 山崎幹夫：歴史の中の化合物—薬と医療の歩みをたどる—（東京化学同人）2013年

○評価の方法

指定する課題に答えるとともに、授業への積極的な参加、態度評価を加味する。

○履修上の注意

配布するテキストは和文だけでなく、専門用語の解説を加えながら英文も学ぶ。

○フィードバックの方法

授業の中で解説する

○準備学修（予習・復習）

生命科学の基礎知識についてテキスト資料を理解する。（予習90分、復習90分）

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	薬の研究100年史概説	輿水崇鏡	分子薬理学
2	神経伝達	輿水崇鏡	分子薬理学
3	受容体という発想	輿水崇鏡	分子薬理学
4	化学合成の工夫と苦労	輿水崇鏡	分子薬理学
5	筋肉が働く仕組みと薬	輿水崇鏡	分子薬理学
6	感染症との戦いから学ぶ	輿水崇鏡	分子薬理学
7	成功と工夫	輿水崇鏡	分子薬理学
8	ミラクルドラッグ	輿水崇鏡	分子薬理学
9	作業仮説から薬まで	輿水崇鏡	分子薬理学
10	新しい分子標的を探す	輿水崇鏡	分子薬理学

## 〔L13〕 外国語系科目

## 外国語系科目一覧

科目番号／授業科目	責任者	学期／曜／時限	授業形態	単位	定員	評 価
L1315-7 World Countries and Cultures	R.Dilenschneider	Ⅱ・木・1	演 習	1	12	出席・態度・試験 他
L1316-7 Critical Thinking	R.Dilenschneider	Ⅰ・木・2	演 習	1	12	出席・態度・試験 他
L1316-15 Music and Lyrics	R.Dilenschneider	Ⅰ・火・3 Ⅱ・火・2	講 義	1	12	出席・態度・試験 他
L1316-18 Creative Compositions	R.Dilenschneider	Ⅱ・木・2	演 習	1	12	出席・態度・課題・試験 他
L1316-19 Healthtalk	R.Dilenschneider	Ⅰ・水・1	演 習	1	12	出席・課題 他
L1316-20 Readings & Discussions (Society and Wellness)	R.Dilenschneider	Ⅰ・水・5	演 習	1	12	出席・態度・試験 他
L1316-21 Readings & Discussions (Science & History)	R.Dilenschneider	Ⅱ・火・1	演 習	1	12	出席・態度・試験 他
L1317-2 Cultural Tendencies of Nihon in English 英語で日本文化	A.J.Lebowitz	A・Ⅰ・火・3 B・Ⅱ・火・2	演 習	1	15	出席・態度・課題・レポート 他
L1317-5 Medical Ethics Topics English Discussion 臨床倫理英語 ディスカッション	A.J.Lebowitz	A・Ⅰ・木・2 B・Ⅱ・木・1	演 習	1	15	出席・態度・課題・小テスト・レポート 他
L1317-6 Intro to Research Paper Reading 論文読入門	A.J.Lebowitz	A・Ⅰ・水・5 B・Ⅱ・水・1	演 習	1	15	出席・態度・課題 他
L1317-7 Medical History Topics English Discussion 医学史英語ディスカッション	A.J.Lebowitz	A・Ⅰ・水・1 B・Ⅱ・火・1	演 習	1	15	出席・態度・課題・小テスト・レポート 他
L1318 英語音声学入門～正しい発声を学ぼう～	A.J.Lebowitz	A・Ⅰ・木・2 B・Ⅱ・木・2	演 習	1	10	出席・テスト
L1320-3 はじめてのドイツ語	小 野	Ⅰ・水・1	講 義	1	20	試験
L1320-4 ドイツ語初級	小 野	Ⅱ・水・1	講 義	1	20	試験
L1350-7 フランス語文法Ⅰ	吹 田	A・Ⅰ・木・2 B・Ⅰ・木・3	講 義	1	7	出席・課題
L1350-8 フランス語文法Ⅱ	吹 田	A・Ⅱ・水・1 B・Ⅱ・水・3	講 義	1	7	出席・課題
L1350-9 フランス語を読む	吹 田	Ⅱ・木・2	講 義	1	5	態度
L1350-10 フランス語で歌う	吹 田	Ⅱ・木・1	講 義	1	10	態度
L1350-11 フランス語会話Ⅰ	吹 田	Ⅰ・火・3	講 義	1	12	試験
L1350-12 フランス語会話Ⅱ	吹 田	A・Ⅱ・火・1 B・Ⅱ・火・2	講 義	1	6	試験

## 総合教育科目『英語』選択科目ガイド

英語科目は、他者との共感的なコミュニケーション能力の一環として身につける訓練をすると共に、英語を通して医学に関する問題や社会問題、異文化コミュニケーション及び世界情勢などを考える機会を提供します。

実践的なコミュニケーション能力の養成と共に、将来、英語の医学論文等を読めるように読解力を養うことを主眼としています。具体的には、医師としても必要な論理的な思考力や問題解決能力を培い、英語文献の読解能力や英語で論理的に表現する力を養います。また、社会に生きる人間を相手にする職業上必要な素養として、人間に対する理解を深めると共に、社会、倫理や異文化への問題意識を高め、多角的な視点で物事を見るために議論も行います。

英語科目は必修として1年時「総合英語演習」、2年時「臨床英語」の他に、12コース（各1単位）の選択科目があります。

入学試験の高得点を支えた「英語学力」からコミュニケーション手段となる「英語能力」を身につけるためには、自分で努力することが不可欠です。受け身の態度で授業に出ているだけでは到底修得できませんので、積極的な授業参加と課題学習を期待します。

科目番号	科目名	責任者	学年
L1315-7	World Countries and Cultures	Dilenschneider	1 学年

○開講時期 [2] 学期 [木・1] 時限 [J]

○授業形式 演習

○履修定員 [12] 名

○ねらい

The development of the Internet with websites such as Facebook, Skype, YouTube and iTunes has made the world smaller than ever before. As a result, students will likely be communicating with people from different countries and cultures, either in or outside Japan, after they graduate. Therefore, in order to understand people from different cultures, the purpose of this course will provide students the opportunity to learn about eight countries in four continents around the world through the context of English. We will use materials provided by the instructor as well as the World Adventures textbook.

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

World Adventures by Scott Berlin and Megumi Kobayashi

○参考書

None

○評価の方法

Attendance + Attitude 34%, Presentation 33%, Final Exam 33%

○履修上の注意

Understanding and appreciation of Asian and African cultures.

○フィードバックの方法

Comments on assignments and presentations.

○準備学修 (予習・復習)

Materials provided by instructor and final exam. (180 minutes)

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	Course Introduction	Dilenschneider	E n g l i s h
2	Asia	Dilenschneider	E n g l i s h
3	Asia	Dilenschneider	E n g l i s h
4	Africa	Dilenschneider	E n g l i s h
5	Africa	Dilenschneider	E n g l i s h
6	South America	Dilenschneider	E n g l i s h
7	South America	Dilenschneider	E n g l i s h
8	Europe	Dilenschneider	E n g l i s h
9	Europe	Dilenschneider	E n g l i s h
10	Final Exam	Dilenschneider	E n g l i s h

科目番号	科目名	責任者	学年
L1316-7	Critical Thinking	Dilenschneider	1 学年

○開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]

○授業形式 演習

○履修定員 [12] 名

○ねらい

This course is designed to help students think critically and initiate discussions regarding a variety of topics. Therefore, students who enroll in this course should feel comfortable expressing their opinions as much of the content which engage students in class discussions. In addition, the instructor will speak in English and students will be encouraged to practice their English reading and writing, skills with other students.

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

Think Smart - Critical Thinking in Critical Times by Michael Hood

○参考書

None

○評価の方法

Attendance + Attitude 34%, Weekly Homework 33%, Final Exam 33%

○履修上の注意

Develop critical thinking skills concerning a variety of issues.

○フィードバックの方法

Comments on assignments.

○準備学修 (予習・復習)

Materials from instructor and final exam. (180 minutes)

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	Course Introduction	Dilenschneider	E n g l i s h
2	Study Abroad	Dilenschneider	E n g l i s h
3	Immigration	Dilenschneider	E n g l i s h
4	Women in the Workplace	Dilenschneider	E n g l i s h
5	Etiquette in the Digital Age	Dilenschneider	E n g l i s h
6	American Military Bases in Japan	Dilenschneider	E n g l i s h
7	Taxes	Dilenschneider	E n g l i s h
8	Living Together Before Marriage	Dilenschneider	E n g l i s h
9	Animal Rights	Dilenschneider	E n g l i s h
10	Final Exam	Dilenschneider	E n g l i s h

科目番号	科目名	責任者	学年
L1316-15	Music and Lyrics	Dilenschneider	1 学年

- 開講時期 [1] 学期 [火・3] 時限 [A]  
[2] 学期 [火・2] 時限 [G]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 12 ] 名

○ねらい

Music is the bridge that helps connect people around the world. To understand the cultural and historical influence of modern music and to help establish connections with patients and medical professionals from around the world, this course will provide students with the opportunity to learn about the music and lyrics from pop songs and musicians from the past and the present. We will use materials provided by the instructor. In addition, the instructor will speak in English and students will be encouraged to practice their English reading, writing, listening, speaking and singing skills with other students.

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

Materials provided by the instructor.

○参考書

None

○評価の方法

Attendance + Attitude 34%, Presentations 33%, Final Exam 33%

○履修上の注意

Students should have communication skills and an enthusiasm for popular music. The songs and musicians studied in the first (spring) term may vary from those studied in the second (autumn) term.

○フィードバックの方法

Comments on assignments and presentations

○準備学修 (予習・復習)

Materials from the instructor. (180 minutes)

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	Course Introduction	Dilenschneider	E n g l i s h
2	Past-The Beatles (Present-Maroon 5)	Dilenschneider	E n g l i s h
3	Past-Ben E. King (Present-Bruno Mars)	Dilenschneider	E n g l i s h
4	Past-Earth, Wind and Fire (Present-Foo Fighters)	Dilenschneider	E n g l i s h
5	Past-The Turtles (Present-Beyonce)	Dilenschneider	E n g l i s h
6	Past-The Monkees (Present-Justin Bieber)	Dilenschneider	E n g l i s h
7	Past-The Carpenters (Present-Lady Gaga)	Dilenschneider	E n g l i s h
8	Past-John Denver (Present-Ed Sheeran)	Dilenschneider	E n g l i s h
9	Past-James Taylor (Present-Taylor Swift)	Dilenschneider	E n g l i s h
10	Final Exam	Dilenschneider	E n g l i s h

科目番号	科目名	責任者	学年
L1316-18	Creative Compositions	Dilenschneider	1 学年

○開講時期 [2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 12 ] 名

○ねらい

The purpose of this course is to teach student to logically express themselves in writing. Students will learn to create, organize and compose compositions concerning issues and topics related to their backgrounds and interests using a variety of different formats and styles to summarize ideas, identify preferences and express persuasive ideas.

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

Materials provided by the instructor

○参考書

None

○評価の方法

Attendance + Attitude 34%, Weekly Homework 33%, Final Papers 33%

○履修上の注意

Gain and understanding of how to write English composition using different formats.

○フィードバックの方法

Comments on assignments.

○準備学修 (予習・復習)

Material provided by the instructor (180 minutes)

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	Course Introduction & Essay-Intros	Dilenschneider	E n g l i s h
2	Composition I - Background	Dilenschneider	E n g l i s h
3	Composition I - Background	Dilenschneider	E n g l i s h
4	Composition II - Summaries	Dilenschneider	E n g l i s h
5	Composition II - Summaries	Dilenschneider	E n g l i s h
6	Composition III - Preferences	Dilenschneider	E n g l i s h
7	Composition III - Preferences	Dilenschneider	E n g l i s h
8	Composition IV - Persuasive	Dilenschneider	E n g l i s h
9	Composition IV - Persuasive	Dilenschneider	E n g l i s h
10	Final Compositions Due	Dilenschneider	E n g l i s h

科目番号	科目名	責任者	学年
L1316-19	Healthtalk	Dilenschneider	1 学年

○開講時期 [1] 学期 [水・1] 時限 [B]

○授業形式 演習

○履修定員 [12] 名

○ねらい

This course will provide students with the opportunity to read, discuss and learn about a variety of health topics present in modern society. Language skills that will be used in this course include, reading, listening, fact finding, vocabulary, pair conversations and group discussions. We will use materials provided by the instructor as well as the Healthtalk (Health Awareness & English Conversation) textbook. The instructor will speak in English and students will be encouraged to practice their English reading, writing, listening and speaking skills with other students.

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

Healthtalk (Health Awareness & English Conversation) by Bert McBean

○参考書

None

○評価の方法

Attendance, class participation and the completion of weekly assignments will be the most important points for this class. To engage in stimulating conversations, students will be asked to share their experiences and opinions. In addition to the textbook, students may be provided with additional materials and exercises from the instructor to enhance their learning. Attendance + Attitude 34%, Presentations 33%, Final Exam 33%

○履修上の注意

Students should have and interests in a variety of health topics and good English communication skills.

○フィードバックの方法

Materials from the instructor.

○準備学修 (予習・復習)

Materials from instructor and final exam.

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	Course Introduction	Dilenschneider	E n g l i s h
2	Smoking	Dilenschneider	E n g l i s h
3	Environment	Dilenschneider	E n g l i s h
4	Exercise	Dilenschneider	E n g l i s h
5	Nutrition	Dilenschneider	E n g l i s h
6	Alcohol	Dilenschneider	E n g l i s h
7	Obesity	Dilenschneider	E n g l i s h
8	AIDS	Dilenschneider	E n g l i s h
9	Cancer	Dilenschneider	E n g l i s h
10	Final Exam	Dilenschneider	E n g l i s h

科目番号	科目名	責任者	学年
L1316-20	Readings & Discussions (Society and Wellness)	Dilenschneider	1 学年

○開講時期 [1] 学期 [水・5] 時限 [C]

○授業形式 演習

○履修定員 [12] 名

○ねらい

This course will provide students with the opportunity to read and discuss topics related to issues about society and wellness. Students will be challenged to read critically and encouraged to share their thoughts and opinions. We will use the course textbook and materials provided by the instructor. The instructor will communicate in English to foster students' reading, writing, listening and speaking skills.

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

"Reading for Today: Concepts (Fourth Edition) by Lorraine C. Smith and Nancy Nici Mare"

○参考書

None

○評価の方法

"Attendance, completion of in-class materials, participation, presentations and the final exam will be the most important points for this course. Supplement reading materials appropriate for the course may be provided by the instructor."

○履修上の注意

None

○フィードバックの方法

Comments on assignments.

○準備学修 (予習・復習)

Materials provided by instructor and final exam. (180 minutes)

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	Course Introduction	Dilenschneider	E n g l i s h
2	Society	Dilenschneider	E n g l i s h
3	Society	Dilenschneider	E n g l i s h
4	Society	Dilenschneider	E n g l i s h
5	Society	Dilenschneider	E n g l i s h
6	Wellness	Dilenschneider	E n g l i s h
7	Wellness	Dilenschneider	E n g l i s h
8	Wellness	Dilenschneider	E n g l i s h
9	Wellness	Dilenschneider	E n g l i s h
10	Final Exam	Dilenschneider	E n g l i s h

科目番号	科目名	責任者	学年
L1316-21	Readings & Discussions (Science & History)	Dilenschneider	1 学 年

○開講時期 [2] 学期 [火・1] 時限 [F]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 12 ] 名

○ねらい

This course will provide students with the opportunity to read and discuss topics related to issues about science and history. Students will be challenged to read critically and encouraged to share their thoughts and opinions. We will use the course textbook and materials provided by the instructor. The instructor will communicate in English to foster students' reading, writing, listening and speaking skills.

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

Materials provided by the instructor.

○参考書

None

○評価の方法

Attendance + Attitude 34%, Presentations 33%, Final Exam 33%

○履修上の注意

Develop reading skills for different types of English passages.

○フィードバックの方法

Comments on assignments.

○準備学修 (予習・復習)

Handouts. (180 minutes)

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	Course Introduction	Dilenschneider	E n g l i s h
2	Science	Dilenschneider	E n g l i s h
3	Science	Dilenschneider	E n g l i s h
4	Science	Dilenschneider	E n g l i s h
5	Science	Dilenschneider	E n g l i s h
6	History	Dilenschneider	E n g l i s h
7	History	Dilenschneider	E n g l i s h
8	History	Dilenschneider	E n g l i s h
9	History	Dilenschneider	E n g l i s h
10	Final Exam	Dilenschneider	E n g l i s h

科目番号	科目名	責任者	学年
L1317-2	Cultural Tendencies of Nihon in English 英語で日本文化	Lebowitz	1 学年

- 開講時期 [1] 学期 [火・3] 時限 [A]  
[2] 学期 [火・2] 時限 [G]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

This class examines prominent cultural tendencies in this country as explained in English. Using self-reflection, students will discuss personal experiences with these concepts. Connections will be made with community medicine and patient communication.

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

None

○参考書

None

○評価の方法

Attendance + Attitude 34%; Weekly Homework, Final Project 33%; Report 33%

○履修上の注意

特になし。

○フィードバックの方法

授業中のコメント、テスト・レポート採点

○準備学修（予習・復習）

予習（配布資料）（180分）

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	Major Religious Traditions in Nihon	Adam Lebowitz	E n g l i s h
2	Origins of Ethnicity: Jōmon and Yayoi	Adam Lebowitz	E n g l i s h
3	Kami and Festivals	Adam Lebowitz	E n g l i s h
4	Social Harmony	Adam Lebowitz	E n g l i s h
5	Food Culture: Fish vs Meat	Adam Lebowitz	E n g l i s h
6	Ichirō	Adam Lebowitz	E n g l i s h
7	Little Traditions	Adam Lebowitz	E n g l i s h
8	Disasters	Adam Lebowitz	E n g l i s h
9	「生き残り」"Left Behind with Life"	Adam Lebowitz	E n g l i s h
10	Review & Summary	Adam Lebowitz	E n g l i s h

科目番号	科目名	責任者	学年
L1317-5	Medical Ethics Topics English Discussion 臨床倫理英語ディスカッション	Lebowitz	1 学年

- 開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]  
[2] 学期 [木・1] 時限 [J]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

English discussion is a necessary skill for developing professional relations with international colleagues. In this class, we will practice discussion by responding to questions and providing opinions concerning ethical issues in medicine. Class focus is on asking and answering questions, and learning topic-related vocabulary.

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

倫理的行動と社会規範の順守

○教科書

None

○参考書

None

○評価の方法

Attendance + Attitude 34%; Weekly Homework, Short Vocabulary Tests 33%; Report 33%

○履修上の注意

特になし

○フィードバックの方法

授業中のコメント、テスト・レポート採点

○準備学修（予習・復習）

予習（配布資料）（180分）

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	Course Introductions	Adam Lebowitz	E n g l i s h
2	Informed Consent	Adam Lebowitz	E n g l i s h
3	Keeping Promises	Adam Lebowitz	E n g l i s h
4	Surrogates	Adam Lebowitz	E n g l i s h
5	Surgery	Adam Lebowitz	E n g l i s h
6	Organ Transplantation	Adam Lebowitz	E n g l i s h
7	Pediatrics	Adam Lebowitz	E n g l i s h
8	Public Health	Adam Lebowitz	E n g l i s h
9	Gifts	Adam Lebowitz	E n g l i s h
10	Final Discussion	Adam Lebowitz	E n g l i s h

科目番号	科目名	責任者	学年
L1317-6	Intro to Research Paper Reading 論文読入門	Lebowitz	1 学年

- 開講時期 [1] 学期 [水・5] 時限 [C]  
[2] 学期 [水・1] 時限 [H]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

This course introduces basic elements of English research papers (RPs). We will examine RPs and analyze their elements, such as: Title, Abstract, Introduction, Results, and Discussion. The specific function of these elements in communication, and their connection to the general medical field will be discussed.

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師に必要な教養と医学的知識

○教科書

None

○参考書

None

○評価の方法

Attendance + Attitude 34%, Weekly Homework 33%, Final Project 33%

○履修上の注意

特になし

○フィードバックの方法

課題の採点・コメント、授業中のコメント

○準備学修（予習・復習）

予習（配布資料）（180分）

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	Outline of RP Writing, Titles I	Adam Lebowitz	E n g l i s h
2	Titles II, Abstracts I	Adam Lebowitz	E n g l i s h
3	Abstracts II	Adam Lebowitz	E n g l i s h
4	Introductions I: Establish Territory	Adam Lebowitz	E n g l i s h
5	Introductions II: Establish Niche	Adam Lebowitz	E n g l i s h
6	Introductions III: Occupy Niche	Adam Lebowitz	E n g l i s h
7	Results	Adam Lebowitz	E n g l i s h
8	Discussions I: Opening	Adam Lebowitz	E n g l i s h
9	Discussions II: Limitations	Adam Lebowitz	E n g l i s h
10	Discussions III: Future Directions	Adam Lebowitz	E n g l i s h

科目番号	科目名	責任者	学年
L1317-7	Medical History Topics English Discussion 医学史英語ディスカッション	Lebowitz	1 学年

- 開講時期 [1] 学期 [水・1] 時限 [B]  
[2] 学期 [火・1] 時限 [F]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 15 ] 名

○ねらい

English discussion is a necessary skill for developing professional relations with international colleagues. In this class, we will practice discussion by responding to questions and providing opinions concerning historical issues in medicine. Class focus is on asking and answering questions, and learning topic-related vocabulary.

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

医師になるための自覚

○教科書

None

○参考書

None

○評価の方法

Attendance + Attitude 34%, Weekly Homework 33%, Short Vocabulary Tests & Report 33%

○履修上の注意

None

○フィードバックの方法

授業中のコメント、テスト・レポート採点

○準備学修（予習・復習）

予習（配布資料）(180分)

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	Introduction	Adam Lebowitz	E n g l i s h
2	History of Anatomy	Adam Lebowitz	E n g l i s h
3	History of Pharmacology	Adam Lebowitz	E n g l i s h
4	History of Medical Education	Adam Lebowitz	E n g l i s h
5	History of Epidemic Diseases	Adam Lebowitz	E n g l i s h
6	History of Ideas about Blood	Adam Lebowitz	E n g l i s h
7	History of Medical Technology	Adam Lebowitz	E n g l i s h
8	History of Surgery	Adam Lebowitz	E n g l i s h
9	History of Women and Medicine	Adam Lebowitz	E n g l i s h
10	History of Pediatrics	Adam Lebowitz	E n g l i s h

科目番号	科目名	責任者	学年
L1318	英語音声学入門 ～正しい発声を学ぼう～	Lebowitz	1 学年

- 開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]  
[2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 演習

○履修定員 [ 10 ] 名

○ねらい

本来はコミュニケーション手段としての英語であるが、高校までの学習は読解中心にならざるを得ず、英語を聞き取り話す練習が不足している学生も多くいるであろう。英語の4技能のうちlistening comprehensionならびにspeakingの基礎となる発音とリズムを集中的に学習し、英語運用能力を向上させることを本講座の目標とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

自己評価と研鑽

○教科書

特に指定せず、随時資料を配布する。

○参考書

英語音声学入門 松坂ヒロシ著 研究社

○評価の方法

授業の出席およびテスト

○履修上の注意

特になし

○フィードバックの方法

授業中のコメント、テストの採点

○準備学修（予習・復習）

予習（配布資料）(180分)

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	イントロダクション	清 水 素 子	外 来 講 師
2	母音1	清 水 素 子	外 来 講 師
3	母音2	清 水 素 子	外 来 講 師
4	母音3	清 水 素 子	外 来 講 師
5	母音4	清 水 素 子	外 来 講 師
6	子音1	清 水 素 子	外 来 講 師
7	子音2	清 水 素 子	外 来 講 師
8	子音3	清 水 素 子	外 来 講 師
9	子音4	清 水 素 子	外 来 講 師
10	テスト	清 水 素 子	外 来 講 師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1320-3	はじめてのドイツ語	小野純一	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [水・1] 時限 [B]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

ドイツ語の初歩を学びます。簡単な文法・単語を駆使した日常会話を目指し、次のステップに進むための文法の重要項目も身につけます。ドイツ語はヨーロッパの主要言語であるだけでなく、人類の活動にとっても重要な言語の一つです。政治・経済だけでなく、文学・哲学・科学など人類文化にもきわめて重要な貢献の数々を残しています。また芸術、とくに音楽や絵画において、創作においても歴史を知る上でも研究にとっても、ドイツ語は最も重要なツールの一つです。ドイツ語を窓口にしてヨーロッパやその他の地域に関心に向け、知的な広さや深みを実現できる言語的な基礎を提供します。本講義は「ドイツ語初級」を履修せずとも単独で単位認定可能とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

永井達夫『ランゲスクンデ初級ドイツ語クラス』白水社、2025年。

○参考書

『独和大辞典コンパクト版』小学館

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

事前の知識がまったくない状態で受講可能。

○フィードバックの方法

試験の結果につて、講評を示し、模範解答等を掲載します。

○準備学修（予習・復習）

予習として、学習予定の課の単語の意味を辞書で調べ、ノートに整理してきてください。また、教科書をあらかじめ音読してきてください。(90分)

復習として、授業中に板書された内容をノートに体系的に整理してきてください。また、教科書を再度、音読してきてください。(90分)

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	子音と母音の発音	中山純一	外 来 講 師
2	名詞、定冠詞、不定冠詞 1	中山純一	外 来 講 師
3	名詞、定冠詞、不定冠詞 2	中山純一	外 来 講 師
4	不規則動詞、命令形、名詞複数形 1	中山純一	外 来 講 師
5	不規則動詞、命令形、名詞複数形 2	中山純一	外 来 講 師
6	定冠詞類、不定冠詞類、否定文 1	中山純一	外 来 講 師
7	定冠詞類、不定冠詞類、否定文 2	中山純一	外 来 講 師
8	人称代名詞、再帰代名詞、非人称 1	中山純一	外 来 講 師
9	人称代名詞、再帰代名詞、非人称 2	中山純一	外 来 講 師
10	前置詞、接続詞 1	中山純一	外 来 講 師

科目番号	科目名	責任者	学年
L1320-4	ドイツ語初級	小野純一	1学年

○開講時期 [2] 学期 [水・1] 時限 [H]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 20 ] 名

○ねらい

ドイツ語の初歩を学びます。簡単な文法・単語を駆使した日常会話を目指し、次のステップに進むための文法の重要項目も身につけます。ドイツ語はヨーロッパの主要言語であるだけでなく、人類の活動にとっても重要な言語の一つです。政治・経済だけでなく、文学・哲学・科学など人類文化にもきわめて重要な貢献の数々を残しています。また芸術、とくに音楽や絵画において、創作においても歴史を知る上でも研究にとっても、ドイツ語は最も重要なツールの一つです。ドイツ語を窓口にしてヨーロッパやその他の地域に関心に向け、知的な広さや深みを実現できる言語的な基礎を提供します。本講義単独の受講でも単位認定可能であるが、受講にあたっては「はじめてのドイツ語」の履修に準ずる学力（入門程度の文法知識）を前提とする。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

永井達夫『ランデスクンデ初級ドイツ語クラス』白水社、2025年。

○参考書

『独和大辞典コンパクト版』小学館

○評価の方法

期末試験

○履修上の注意

本講義単独の受講でも単位認定可能であるが、受講にあたっては「はじめてのドイツ語」の履修に準ずる学力（入門程度の文法知識）を前提とする。

○フィードバックの方法

試験の結果につて、講評を示し、模範解答等を掲載します。

○準備学修（予習・復習）

予習として、学習予定の課の単語の意味を辞書で調べ、ノートに整理してきてください。また、教科書をあらかじめ音読してきてください。(90分)

復習として、授業中に板書された内容をノートに体系的に整理してきてください。また、教科書を再度、音読してきてください。(90分)

○授業内容、授業項目

回数	授業項目	担当者	所属
1	話法の助動詞	中山純一	外来講師
2	分離動詞、非分離動詞	中山純一	外来講師
3	過去形	中山純一	外来講師
4	形容詞と副詞の比較級	中山純一	外来講師
5	現在完了形	中山純一	外来講師
6	未来形	中山純一	外来講師
7	形容詞の格変化、序数	中山純一	外来講師
8	受動文、zu不定詞	中山純一	外来講師
9	定関係代名詞	中山純一	外来講師
10	接続法	中山純一	外来講師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1350-7	フランス語文法 I	吹 田 映 子	1 学 年

- 開講時期 [1] 学期 [木・2] 時限 [D]  
[1] 学期 [木・3] 時限 [E]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 7 ] 名

○ねらい

フランス語入門の授業です。フランス語の語彙と文法は英語と大半が同じなのでその点学習しやすいですが、英語と違う部分に加え新たな文法事項も出てきます。2学期の「フランス語文法Ⅱ」と合わせてフランス語検定5級程度までの学習を目標にしています。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

倉方健作『ミニマル フランス語文法 改訂版』朝日出版社、2024年、2420円

○参考書

仏和辞典(『プチ・ロワイヤル仏和辞典』旺文社、等)

○評価の方法

出席と毎回の課題提出。

○履修上の注意

- ・語学習得にはどうしてもある程度の時間をかける必要があります。課題を通じての復習を毎週続けて下さい。
- ・この授業は文法のシステムの学習が主になります。より実用的な会話については「フランス語会話Ⅰ・Ⅱ」を合わせて履修ください。

○フィードバックの方法

課題は直して返却します。

○準備学修(予習・復習)

(復習) 課題を書き写し、音声を聴きとり、解答を書き、くり返し音読する。(3時間)

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	Leçon-1 : 名詞の性と数/冠詞/指示代名詞ce	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
2	続き	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
3	Leçon-2 : 主語人称代名詞/動詞être/所有形容詞	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
4	続き	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
5	Leçon-3 : 動詞avoir/否定文/疑問文	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
6	続き	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
7	Leçon-4 : 形容詞/指示形容詞	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
8	続き	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
9	Leçon-5 : 第一群規則動詞/第二群規則動詞	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
10	続き	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1350-8	フランス語文法Ⅱ	吹田映子	1学年

- 開講時期 [2] 学期 [水・1] 時限 [H]  
[2] 学期 [水・3] 時限 [I]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 7 ] 名

○ねらい

1学期から引き続き、目安としてフランス語検定5級程度までの学習を目標にします。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

倉方健作『ミニマル フランス語文法 改訂版』朝日出版社、2024年、2420円

○参考書

仏和辞典（『プチ・ロワイヤル仏和辞典』旺文社、等）。

○評価の方法

出席と毎回の課題提出。

○履修上の注意

- ・1学期に「フランス語文法Ⅰ」を履修したか、それと同程度の知識がすでにあることが前提です。
- ・語学習得にはどうしてもある程度の時間をかける必要があります。課題を通じての復習を毎週続けて下さい。
- ・この授業は文法のシステムの学習が主になります。より実用的な会話については「フランス語会話Ⅰ・Ⅱ」を合わせて履修ください。

○フィードバックの方法

課題は直して返却します。

○準備学修（予習・復習）

（復習）課題を書き写し、音声を聴きとり、解答を書き、くり返し音読する。（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	Leçon-6：代名動詞/疑問代名詞	鈴木俊弘	外来講師
2	続き	鈴木俊弘	外来講師
3	Leçon-7：動詞aller, venir/近接未来・近接過去/命令法	鈴木俊弘	外来講師
4	続き	鈴木俊弘	外来講師
5	Leçon-8：疑問副詞/疑問形容詞	鈴木俊弘	外来講師
6	続き	鈴木俊弘	外来講師
7	Leçon-9：非人称構文/強勢形人称代名詞	鈴木俊弘	外来講師
8	続き	鈴木俊弘	外来講師
9	Leçon-10：目的語人称代名詞/中性代名詞	鈴木俊弘	外来講師
10	続き	鈴木俊弘	外来講師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1350-9	フランス語を読む	吹田映子	1 学 年

○開講時期 [2] 学期 [木・2] 時限 [K]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 5 ] 名

○ねらい

フランス語の短い文章の読解をおこないます。会話の場合はパターンを基にした条件反射的な対応が要求されますが、読むことはそれと逆に、時間をかけた高度に知的・感性的な（ゆえに断然面白い）経験である、といえるでしょう。辞書を引き、文法知識と照らし合わせて文構造を把握し、文の連鎖から生じる文脈の圏内で意味を思い巡らすこととなります。授業ではこの読解のプロセスを意識的にたどります。仏語入門の段階では、ごく易しい文章であっても知らない語彙と文法事項の連続であることは避けられませんが、それでも教科書の空疎な例文をこえたフランス語を知りたい方、ぜひ挑戦してみてください。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

テキストを配布します。受講者の要望があればできるだけそれに沿うようなジャンルとタイプの文章にしたいと思います。

○参考書

仏和辞典（『プチ・ロワイヤル仏和辞典』旺文社、等）

○評価の方法

授業時の読解作業への辛抱強い傾注。

○履修上の注意

- ・1学期に「フランス語文法Ⅰ」を履修したか、それと同等の知識があることが前提です。
- ・読むことが好きな人、英語の長文読解が得意な人などは、より取り組みやすいかと思います。

○フィードバックの方法

分からない点については、一文毎に丁寧に理解へのプロセスをたどります。

○準備学修（予習・復習）

（予習）分かる範囲で、語彙を調べてテキストを読む予習をして下さい。何が分からないのかを大ざっぱにでもつかめたらOKです。（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	テキスト読解	鈴木俊弘	外来講師
2	テキスト読解	鈴木俊弘	外来講師
3	テキスト読解	鈴木俊弘	外来講師
4	テキスト読解	鈴木俊弘	外来講師
5	テキスト読解	鈴木俊弘	外来講師
6	テキスト読解	鈴木俊弘	外来講師
7	テキスト読解	鈴木俊弘	外来講師
8	テキスト読解	鈴木俊弘	外来講師
9	テキスト読解	鈴木俊弘	外来講師
10	テキスト読解	鈴木俊弘	外来講師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1350-10	フランス語で歌う	吹 田 映 子	1 学 年

○開講時期 [2] 学期 [木・1] 時限 [J]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 10 ] 名

○ねらい

フランス語のポップやシャンソンをみなさんに歌ってもらいます。詩の朗読・暗唱はフランスの学校では言語教育の一環になっていますが、私たちは現代のla chanson popによってフランス語の中にすべりこんでみましょう。未修の語彙と文法事項はたくさん出てきますが、歌はその障害を軽くすり抜けさせてくれるはず。フランス語圏のポップミュージックはどういうわけか日本ではほとんど紹介されていませんから、あちらの文化に足を踏み入れるよいチャンスにもなれば幸いです。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

テキストを配布します。

○参考書

候補曲として、昨年度取り上げたものその他をいくつか挙げておきます。

《Sensation》, Jean-Louis Aubert (youtube.com/watch?v=JH0GBvZhMkA&amp;t=57s)

《Depuis que les bals sont fermés》, Cathy Renoir (youtube.com/watch?v=VOX-dmYDUZ8)

《Ce n'est pas notre monde》, Moby&amp;Nicola Sirkis (youtube.com/watch?v=R8UFlz1pLYA)

《Les Champs-Élysées》, Joe Dassin (youtube.com/watch?v=tDWelLvYyYU)

《Nos célébrations》, Indochine (youtube.com/watch?v=HjNS2p\_ZxHY)

《Sur mon épaule》, Les Cowboys fringants (youtube.com/watch?v=XaUdyuOfwa4)

○評価の方法

- ・上手下手は関係ありません。授業に出る以上は憚りなく大声で歌うこと！
- ・最終回にはどれか一曲を1人で歌ってもらう予定です。

○履修上の注意

- ・1学期に「フランス語文法Ⅰ」を履修したか、それと同程度の知識がすでにあることが前提です。
- ・フランス語の授業であって、歌唱法・発声法のそれではありません。講師は音楽のど素人にすぎず、カラオケが得意でもないのでお間違えないよう。

○フィードバックの方法

他の授業ではおろそかになりがちな発音について、要望があればアドバイスできるようにします。

○準備学修（予習・復習）

（復習）対象曲を繰り返し聴き、メロディによってうまく口と舌が動くようになるまで口ずさんでください。（3時間）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	歌Ⅰ：日本語訳と文法解説	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
2	歌う	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
3	歌う	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
4	歌Ⅱ：日本語訳と文法解説	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
5	歌う	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
6	歌う	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
7	歌Ⅲ：日本語訳と文法解説	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
8	歌う	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
9	歌う	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師
10	一人で歌う	鈴 木 俊 弘	外 来 講 師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1350-11	フランス語会話 I	吹 田 映 子	1 学 年

○開講時期 [1] 学期 [火・3] 時限 [A]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 12 ] 名

○ねらい

主な目標は、フランス語での簡単な会話ができるようになることです。学生は、実際の場面を想定した対話から構文を学習し、ロールプレイやインタラクティブなディスカッションによる練習を通じて、言語の習熟度を高めます。内容は「フランス語文法 I」の学習項目に対応しているため、そこで学んだ理論的な知識を具体的に応用することができます。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

資料を配布します。

○参考書

仏和辞典(『プチ・ロワイヤル仏和辞典』旺文社、等)

○評価の方法

学習した構文を使えるかどうか、簡単な対話を通して確かめます(複数回)。

○履修上の注意

重要なのはコミュニケーションを試みることです。伝われば、間違っても構いません。「フランス語文法 I」と併せて履修することで学習効果が高まります(単独の履修でも差支えありません)。

○フィードバックの方法

授業中の練習では、発音や理解を妨げる主な間違いを訂正します。

○準備学修(予習・復習)

(復習) 配布資料を読み、わからない単語があれば調べ、繰り返し音読する(180分)

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	挨拶と自己紹介	マイエル ギヨム	外 来 講 師
2	挨拶と自己紹介	マイエル ギヨム	外 来 講 師
3	レストランやカフェで注文	マイエル ギヨム	外 来 講 師
4	レストランやカフェで注文	マイエル ギヨム	外 来 講 師
5	物と人の描写	マイエル ギヨム	外 来 講 師
6	物と人の描写	マイエル ギヨム	外 来 講 師
7	Avoir動詞の表現と否定形	マイエル ギヨム	外 来 講 師
8	Avoir動詞の表現と否定形	マイエル ギヨム	外 来 講 師
9	疑問形と趣味	マイエル ギヨム	外 来 講 師
10	疑問形と趣味	マイエル ギヨム	外 来 講 師

科目番号	科 目 名	責 任 者	学 年
L1350-12	フランス語会話Ⅱ	吹 田 映 子	1 学 年

- 開講時期 [2] 学期 [火・1] 時限 [F]  
[2] 学期 [火・2] 時限 [G]

○授業形式 講義

○履修定員 [ 6 ] 名

○ねらい

主な目標は、フランス語での簡単な会話ができるようになることです。学生は、実際の場面を想定した対話から構文を学習し、ロールプレイやインタラクティブなディスカッションによる練習を通じて、言語の習熟度を高めます。内容は「フランス語文法Ⅱ」の学習項目に対応しているため、そこで学んだ理論的な知識を具体的に応用することができます。

○総合教育対応ディプロマ・ポリシー

他者への理解

○教科書

資料を配布します。

○参考書

仏和辞典（『プチ・ロワイヤル仏和辞典』旺文社、等）

○評価の方法

学習した構文を使えるかどうか、簡単な対話を通して確かめます（複数回）。

○履修上の注意

原則として、「フランス語会話Ⅰ」の履修者または同程度の学習経験がある者を対象とします。「フランス語文法Ⅱ」と併せて履修することで学習効果が高まります（単独の履修でも差支えありません）。重要なのはコミュニケーションを試みることです。伝われば、間違っても構いません。

○フィードバックの方法

授業中の練習では、発音や理解を妨げる主な間違いを訂正します。

○準備学修（予習・復習）

（復習）配布資料を読み、わからない単語があれば調べ、繰り返し音読する（180分）

○授業内容、授業項目

回数	授 業 項 目	担 当 者	所 属
1	日常生活	マイエル ギヨム	外 来 講 師
2	日常生活	マイエル ギヨム	外 来 講 師
3	Pouvoirとvouloirの表現	マイエル ギヨム	外 来 講 師
4	Pouvoirとvouloirの表現	マイエル ギヨム	外 来 講 師
5	旅と未来形	マイエル ギヨム	外 来 講 師
6	旅と未来形	マイエル ギヨム	外 来 講 師
7	疑問形と趣味	マイエル ギヨム	外 来 講 師
8	疑問形と趣味	マイエル ギヨム	外 来 講 師
9	複合過去	マイエル ギヨム	外 来 講 師
10	複合過去	マイエル ギヨム	外 来 講 師

編	集	教	務	委	員	会		
編集責任者		教	務	委	員	長		
編集担当者		総	合	教	育	部	会	長
		学	事	課	教	務	係	